

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・夏まつり以降の来街者は緩やかに減少するものの、食と農業に関するイベントが予定されている月であることに加えて、前年から秋口にかけて当地を訪れる観光客が微増傾向にあることから、該当月においては飲食、土産などが売上が伸ばすとともに、他の業種においても好影響が生じる。
		商店街（代表者）	・夏から秋にかけて商品も多くなるため、消費活動が活発になることが見込まれる。
		百貨店（販売促進担当）	・セールに投入する商材の強化を計画しており、セール以降の販売量の増加が期待できる。
		スーパー（店長）	・天候に左右される面があるが、猛暑が予想されているため、季節商材の指標が例年よりも上向くことが期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・8月まで予約が入っているホテルがあるなど、外国人などの観光客が増えているとの話があるため、今後については期待している。
		家電量販店（経営者）	・リオオリンピックの効果でテレビなどのAV機器の販売が伸びることが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・近々、フルモデルチェンジの新型車が出てくる予定がされている。営業に力を入れている面もあるが、購入客がそれなりに見込めるため、盛り返すことが期待でき、今よりは良くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・団体旅行のマイナストレンドに対して、個人旅行が増加傾向にある。計画に対する人員、室数は減少するとみられるが、客単価の上昇により売上は確保できる。
		旅行代理店（従業員）	・夏場の観光繁忙期を迎えて、航空便の座席供給量が増加してくるため、利用客も増えることになる。ただ、今年は7月に参議院選挙があることや、英国のEU離脱問題の影響による景気の不透明感などにより、前年の利用客数を維持できるか懸念している。
		旅行代理店（従業員）	・円高に転じることで、長らく低迷していた海外旅行の復調が見込まれる。まだ良くなると言い切れる状況にはないが、今後を期待したい。
		旅行代理店（従業員）	・円高になり、夏の海外旅行の間際受注が増えることが期待できる。
		タクシー運転手	・現時点で販売量が前年比横ばいの状況であり、そこにこれまでの宣伝の効果が表れてくることで、夏に向けて景気が良くなることを期待できる。
		観光名所（従業員）	・北海道新幹線開業の効果により、東北、北関東からの国内客の入込が目立ち始めている。国内客は客単価も高くなることから、これまでの外国人観光客主体の構成よりも売上が増加することが期待できる。一方、国際線の定期路線が運休したことから、外国人観光客の入込は減少するとみられるが、全体としてはややプラスとなることを見込まれる。
		美容室（経営者）	・例年どおりの状況であれば、業界的に繁忙期を迎えるため、やや良くなる。
変わらない		商店街（代表者）	・世の中全体に変化が生じるとは思うが、ある程度時間がたたないと状況がみえてこない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・北海道にも、零細企業にも現政権の経済対策の効果が表れてくるだろうという期待の声が大きかったが、今回の英国のEU離脱問題による零細企業への影響を心配する声も経済界から上がっている。経済界の集会も異常な雰囲気となっている。当社の6月の売上は前年から8%の減少であった。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・季節的に売上が増えてくる時期であるため、6月よりも売上は良くなるが、そうした季節要因を除くと、基調は現在とあまり変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・参議院選挙、英国のEU離脱問題などの影響により、客の意識が買い控えに向かうことになる。特に世界経済にかかわるところでは、米国の大手金融機関の破たんの際に高額商材の購入者を中心に客の様子見が続いたことから、影響が懸念される。
		百貨店（担当者）	・改善の兆しがみられないため、今後も変わらない。
		スーパー（店長）	・これまでどおり、特売の商品を中心にした買物が目立つため、今後も変わらない。
		スーパー（役員）	・天候、気温が例年並みになってきているが、参議院選挙が7月10日となっているため、売上に影響が生じる。可処分所得の減少などの状況を踏まえると、今後は現状維持で推移する。
		スーパー（役員）	・前年はプレミアム付き商品券が発行されたため、この時期から消費が伸びてきたが、今年はその分の伸びが期待できないため、お盆商戦を中心に影響が生じることになる。
		コンビニ（エリア担当）	・菓子、飲料水、ビールなど、価格に左右される商材は低価格を打ち出さない限り、回復してこない。保存の効かない生鮮品はある程度維持できているが、これまでの傾向から、デフレ状態が続いており、景気は悪いまま変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も悪い状況が続く。天候次第の面はあるが、秋のさんま漁が始まるまでは沿岸部も厳しい状況が続く。また、競合店の出店も相次いで予定されており、全体的な回復は厳しい状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	・先行きは不透明であり、今後、景気が良くなることは考えにくい。ただ、劇的に悪くなる要素もない。これまでと同じように徐々に悪くなっていく。
		衣料品専門店（経営者）	・売上は今後も前年比横ばいで推移する。ガソリン価格が段々と上昇してきているなどのマイナス材料もあるが、消費者は安価な商材よりも満足ゆく付加価値の高い適正価格の商材を選ぶ傾向がみられることから、今後も全体的な傾向は変わらない。また、夏の観光客の動向にも期待している。
		衣料品専門店（店長）	・ここ数か月、客の様子が変わらないため、今後も変わらないまま推移する。
		家電量販店（店員）	・マンションにエアコンを取り付けるオーナーが前年よりも増えていることから、今後も引き続き期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・特殊要因の多い軽自動車を除けば、新車登録台数は自社及び市場全体とも前年の水準を上回っていることから、今後もこの堅調な傾向が続く。
		乗用車販売店（経営者）	・新商材の投入もなく、景気の動向をみても変わる要素が見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・希望が持てるような明るい材料もないため、今後も変わらない。
		自動車備品販売店（店長）	・前年は8月から冬タイヤの販売が始まったが、今年も競合店も7月から冬タイヤの販売を始めることが予定されている。こうしたなかで、消費税増税の再延期により、今期の購入に向けた追い風がなくなったため、今後も変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・急速な円高により石油製品の価格が下落することが懸念される。
		高級レストラン（スタッフ）	・英国のEU離脱問題の影響による国内の株安や更なる円高傾向などがきっかけとなり、ヨーロッパ産高級食材の流通不安やアジア圏からの観光客の減少などが懸念され、北海道観光や飲食業に悪影響が出てこないか心配である。また、十勝地方などの道東の天候不順により農作物の生育が遅れることの影響も心配される。
		タクシー運転手	・観光客は増えているものの、タクシーの利用増加にはつながっていない。タクシーの利用は天候に左右されるため、これから暖かくなってくると利用客の増加は期待できない。
		タクシー運転手	・ここにきて外国人観光客の予約が前年割れとなっている。一方で、国内旅行客の予約が前年より増えており、全体としては変わらない。
		タクシー運転手	・観光客の入込により数字は変化するとみられるが、劇的な数値の変化までは望めない。
		タクシー運転手	・夏場を迎えて観光客の入込が上向いてくるとみられるが、季節的な要因であり、全体としては変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・新商材などの発売に左右されるため、商材のラインアップによっては現状と変わらないとみられる。ただ、ヒット商品が出てくれば、販売量が伸びることになる。
		観光名所（職員）	・外国人観光客の爆買いに落ち着きが見られ、今後、景気の底上げとして、国内消費の拡大、賃上げなどが求められるが、英国のEU離脱問題などの影響により引き続き国内経済の不安定な状態が続くことになる。
		美容室（経営者）	・来客数及び客単価ともにほぼ安定しているため、今後も大きな変動はない。
		住宅販売会社（経営者）	・飲食店やホテルなどの観光業は引き続き好調に推移するが、その好調さが小売や建築、住宅などの業界に結び付くか分からない。まだ皆が慎重であるため、景気が良くなるまでまだまだ時間がかかることになる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題について悪影響が生じるとする暗い報道が多いため、客が守りに入ることを心配している。
		商店街（代表者）	・今のところ、経営者として良い要素はかなり少ないとみている。賃金の引上げが求められる社会情勢のなかで、売上が前年より2割程度かそれよりも低いことから、今後も苦戦することになる。
		商店街（代表者）	・北海道を訪れる外国人観光客は人数も減っているが、高額商材を中心に1人当たりの購入金額も大幅に減少しており、高額商材や家電を扱っている店では売上が前年比50%となっている店も出てきた。観光関連業種では、今後の円高や株価の下落の影響をまともに受けるため、不安におびえている状況にある。
		百貨店（売場主任）	・長期予報によると、6月の天候不順に引き続き、7～8月は雨が多いとみられるため、7月から始まる夏のセールsの動向がみえてこない。また、参議院選挙の影響が出てくるとも懸念される。そのため、夏のボーナス含めて財布のひもが固くなっている状況は今後も変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・外国人観光客を含めた来客数の減少から抜け出せない状態が続いており、今後、急速に回復するとは考えにくい。
		百貨店（役員）	・従業員の実質賃金が上がってこないことから、今後についてはやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・円高基調や株安不安など、英国のEU離脱問題が招いた経済の混乱により、企業の設備投資の手控えや実質賃金の目減りなどが懸念されるため、今後、客の財布のひもがますます固くなる。
		スーパー（店長）	・婦人服や紳士服、子供衣料のトレンドが変わらず、前年割れの状況が続いているため、今後についてはやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・高単価商材の動きが悪いことから、節約志向が高まっているとみられ、中元ギフトも低価格にシフトすることになる。また、英国のEU離脱問題の影響がどうなるのか、先行きが不透明なこともマイナス要因である。
		スーパー（企画担当）	・英国のEU離脱問題による世界的な金融経済ショックが国内の細々とした部分に影響を与えるのではないかという報道が出始めており、消費者心理を冷やすことにならないか、当面動向を注視する必要がある。
		コンビニ（オーナー）	・本部が過度な出店競争を助長することになれば、客と働き手の奪い合いが起こり、既存店の売上が下がることになる。人手不足も更に厳しくなり、経営できなくなるオーナー店が増加することになる。
		衣料品専門店（店長）	・円高、株安による不透明感が前面に出ており、経営者層の需要が多いオーダー服の不振が更に悪化することが懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・消費税増税の再延期以降、需要が一服傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	・株価の下落など、悪いニュースが多いため、今後、客の消費意欲が低下することになる。
		その他専門店[造花]（店長）	・消費税増税の再延期により将来の不安感が増しているため、今後についてはやや悪くなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・英国のEU離脱問題による先行きへの不安要素が景気に響いてくることになる。
		旅行代理店（従業員）	・先行受注件数などの動きから、今後についてはやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・参議院選挙が7月に行われるが、政権の行く末が予測できない。また、英国のEU離脱問題による今後の為替や株価への影響が読めない。
		通信会社（企画担当）	・初期費用と一定期間の通信サービス利用費の総額での大規模な値下げ合戦が始まっており、今後の収益の悪化が懸念される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・予約状況などから、前年並みの売上を達成できない見通しとなっている。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の再延期により、駆け込み需要がなくなっている。また、マイナス金利の効果も薄れてきている。さらに、株価の下落によるマインドの低迷なども見込まれるため、今後は分譲マンションに対する購買意欲が低下してくるようになる。
悪くなる	スナック（経営者）	・熊本地震の影響で客足が少しずつ悪くなっているなか、参議院選挙の影響が重なるため、これからも景気が悪くなる。	
	観光型ホテル（役員）	・英国のEU離脱問題による急激な円高の進行や国内外株式会社市場の低迷などにより、外国人観光客について今後の団体客の集客減は避けられない。また、国内客についても参議院選挙やリオオリンピックを控えて、観光客の動きが鈍く、予約が伸びてこない。	
	タクシー運転手	・英国のEU離脱問題に伴う日本企業の方針転換は避けられないため、国内景気に及ぼす影響が甚大になることが見込まれ、今後の景気は悪くなる。	
企業 動向 関連 (北海道)	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（従業員）	・円高により輸入している原材料を安く仕入れることができるようになる。
		建設業（経営者）	・工事が最盛期を迎え始め、人、物、機械などの稼働率が上がることになる。公共工事の発注が前倒しだった分、秋枯れの心配があるが、早期に大型の補正予算が組まれることが期待できる。
		建設業（従業員）	・工事費が100億円を超える複数の大型建築工事が着工又は本格稼働する予定があるため、今後についてはやや良くなる。ただ、労務者不足が出始めることが懸念される。
	変わらない	その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	・4～5月のマイナス分はまだ埋まらないが、客先の鉄骨加工量がこれからピークを迎えるため、消耗品や機械工具の販売に期待が持てる。
		食料品製造業（従業員）	・前年より売上が数%下がった状態でしばらく推移することが見込まれる。
		輸送業（営業担当）	・道内では長雨が続いていることで、飼料用の一番草の刈取りができない状況にある。栄養素が多い現在の牧草が取れないのは酪農家に取って痛手であるため、今後への影響が懸念される。
		司法書士	・国の経済政策に大きな変化がない限り、今後も変わらず低調に推移する。
		コピーサービス業（従業員）	・客先が慎重になっている状況のなかで、車関連の会社からの受注が増えてきている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・業種により景況感に温度差があるため、全体として現状と変わらないまま推移する。
やや悪くなる	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・公共工事が前倒し発注されているため、これまでの前年並みの状況から、参議院選挙後は前年割れの状況に転じることになる。	
	家具製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題、熊本地震、天候不順など、悪材料がそろっているため、今後についてはやや悪くなる。参議院選挙も需要を押し下げる要素になる。	
	輸送業（支店長）	・既存のスポット工事案件の輸送は8月で終了するものが重なっており、秋口以降に決まっている物件もまだ少ない。荷主の説明からは今後の苦戦が見込まれる。	
		通信業（営業担当）	・現時点では販売量などの定量面から、景況感に一定の改善が確認できているが、この先については英国のEU離脱問題の影響がどの程度になるか判断が難しく、企業活動も慎重になることが見込まれる。そのため、これからしばらく先の景況感はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（従業員）	・英国のEU離脱問題が道内景気を下押しするとみられる。道内の英国向け貿易額は少なく、この点からの影響はさほど生じないと見込まれるが、円高、株安といった金融資本市場の変動が各方面に与える影響は大きく、道内景気への悪影響が懸念される。
		司法書士	・都市部では賃金の上昇が報道されているが、地方ではその恩恵を受けるようなベースアップの話は少ない。今後についても景気回復の気配がないため、景気は低調なまま悪化することになる。
		司法書士	・英国のEU離脱問題に伴う世界的リスクが円高、株安を招き、景気回復を更に先延ばしにすることが見込まれるなど、今後に向けての好材料がない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注案件が確定しづらい状況にある。新年度になってから、発注者が様子見をしている雰囲気があり、小出しの発注が増えている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連 (北海道)	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・有効求人数の増加から有効求人倍率が1.0倍となっており、12か月連続で1.0倍超えの高水準が続いている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・企業の業績が緩やかに回復していることから、当面、求人数は増加傾向で推移するとみられるが、採用のミスマッチが発生しているため、就職者が今後増えるのかまでは見通せない。当社で受託した39歳までの若年者の就職支援事業への応募が前年よりも増加しているなど、相変わらず一部の若年者に就職困難者がいる状況もうかがえる。さらに、こうした就職困難者が就職できずに高齢化することを考えると、今後の消費行動にも影響が出かねず、不安を感じる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・地方における労働力人口の高齢化と若年労働力の不足が求人動向にも表れてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・前月の前年比は横ばいだったものの、6月は減少傾向に転じている。今後もこうしたトレンドが続くことになる。
		職業安定所（職員）	・現時点でははっきりといえないが、円高の要因が英国のEU離脱問題によるものであれば、観光に悪い影響が生じることが懸念される。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・多くの業種で求人件数が前年実績を下回っており、増加する気配がないことから、今後についてはやや悪くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・参議院選挙や英国のEU離脱問題など、先行きの不安定さで求人意欲が更に低下することが懸念される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・地元百貨店の閉店など、今後に向けて明るい兆しが無い。
		職業安定所（職員）	・新規求人の直近3か月の動向を前年と比較すると、全体で2.9%の減少となっており、なかでも求人数の多い、専門的技術的職業と事務的職業で10%以上の減少となっている。最も求人数が多く、増加傾向にあったサービス業ではかろうじて2%の増加となったが、これまでけん引役であった介護サービス業で2.8%の減少となるなど、増加傾向のピークが過ぎていることがうかがえ、今後は減少傾向が続くことになる。
職業安定所（職員）		・今後について、大量の雇用変動が生じることで求職者の増加が見込まれることから、雇用動向のみならず、家計や企業にも影響が生じることが懸念される。	
	悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・英国のEU離脱問題について、国内の大手企業がどう反応するのか、関連の子会社や孫会社にどのような影響が出てくるのかが不透明なことから、今まで積極的に新卒採用を進めている企業であっても採用を手控えることが懸念される。
	悪くなる	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	良くなる	乗用車販売店（経営者）	・軽自動車の販売再開や新型車イベントが予定されており、新車販売においても増加を見込んでいる。
		タクシー運転手	・駅前大型商業施設がオープンするため、景気が良くなることを期待している。また、人が集まれば地域全体が潤っていくのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや良くなる	商店街（代表者）	・ボーナスやお中元のシーズンを迎えて、全体的に希望が持てる時期となる。ただし、そのような状態でもなかには苦戦する店もあり、今後の大きな課題となっている。
		商店街（代表者）	・北海道新幹線が開業し、今後は観光客が増加する季節となる。特に飲食業、宿泊業を中心に、少しずつではあるが伸びていくと期待している。
		スーパー（店長）	・売上の前年比が上昇傾向にあるため、今後もう少し良くなっていくとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・平年よりも気温が高い予報のため、冷たいものを中心に消費が活発化することを期待している。
		コンビニ（店長）	・競合店による影響はあるが、前年と比べても単価が上がっている。夏場の最盛期ということもあり、売上、利益共に期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・7月から軽自動車販売が再開されるため、多少は良くなるとみている。
		高級レストラン（支配人）	・周辺地域で夏祭りなどのイベントが始まるため、インパウンドなどの観光客を見込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・来客数は前年並みに戻ってきているが、値上げをした分、売上の前年比がやや良くなるのではないかと期待している。
		一般レストラン（経営者）	・選挙も終わりボーナスの時期になり、景気はやや良くなると期待している。また、梅雨が明けて気候も良くなるため、来客数の前年比も良くなるとみている。
		観光型ホテル（経営者）	・ここ3か月の前年比はマイナスであったが、夏休みの予約状況はやや良くなっている。
		観光名所（職員）	・夏休みは初開催となるイベントも用意しているため、天候に恵まれることを期待している。
		競艇場（職員）	・今の状況からは現状維持が精一杯であり、売上や来客数の増加は見込めない。ただし、7月に大きなイベントがあるため、多少は売上の増加を期待している。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・原材料や消耗品価格の低下につながるため、円高の動きは好材料である。
		住宅販売会社（経営者）	・10月以降まで住宅の受注を確保できている。
	変わらない	商店街（代表者）	・良くなる要素が見当たらない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・7月の参議院選挙が終了しても、景気は急には良くならない。しばらくは現在の悪い状態が続くとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今年は客の動向が読みづらく、先行きの不透明な状態が続いている。
		百貨店（総務担当）	・周囲の人達の給与が変わらず、賞与も増えていない。消費意欲が低下しており、買いたいという気持ちにならないため、景気も上向かない。
		百貨店（企画担当）	・来客数の前年比が減少している。この状況が改善される兆しが無い場合、現状のペースで推移するとみている。
		百貨店（営業担当）	・売上にかかわるような大きな要因がなく、基調に変化はない。ただし、駅前に大型商業施設がオープンするため、7月は人の流れが変わるとみている。そのため、街全体の景気が上向く可能性はある。
		百貨店（営業担当）	・個人所得が変わらないため、今後も節約志向が続くとみている。
		百貨店（買付担当）	・クリアランスに入り、セール品中心の商品展開をしているが、客は吟味して購入している。全体的にこのような傾向が強くなっていくのではないかとみている。
		百貨店（売場担当）	・欲しいものを購入する手段として、ネットや量販店など客の選択肢が幅広く拡大している。百貨店で買わなければならないものはないため、百貨店離れ、顧客流出も少なくない。今後は客の誘導の仕方が課題となっている。
		スーパー（経営者）	・選挙の時期は消費の動きが鈍る傾向にある。7月もこれまで同様の消費動向になるとみているが、今年は日曜日が1日多いため前年よりは良くなるのではないかとみている。また、英国のEU離脱問題による、円高株安、輸出量減少などのマイナスの影響を懸念しているが、その影響が地方の消費に及ぶには時間がかかるため、現在の消費推移に変化はないとみている。
		スーパー（営業担当）	・消費税増税の再延期が決定したが、現状ではそのことが直接景気に影響しているとは考えにくい。また、この先の景気が良くなるような施策も見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・客単価や買上点数は前年並みで推移しているものの、客単価の減少傾向に変化はない。この先も売上の回復は見込めない状況が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・人口が減少しているなか、3か月先も客単価が上がらないまま横ばいで推移していくのではないかと。天候次第ではあるものの、この先もなかなか厳しい状態が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・気温の上昇に左右されるが、今のところは例年並みに推移するとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・英国のEU離脱問題など大きな不安要因はあるが、すぐには日々の生活に影響は出ないとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数が増加しない限り、景気の先行きが良くなる見込みはない。
		コンビニ（店長）	・季節的に期待したい気持ちはあるが、良い材料が見当たらない。前年の数字を維持できれば御の字の状況である。
		衣料品専門店（経営者）	・猛暑の予報が出ているため、毎年8月から展開している秋物の動きは非常に厳しくなると見込んでいる。また、単価の下落が心配されており、売上も厳しくなるとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・選挙の時期はいつものことながら商品の動きが悪くなる。今回は月末と月初めが重なり最悪の結果になりそうである。
		衣料品専門店（経営者）	・先行きの景気が良くなるような要因は見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・震災特需で膨れ上がったマーケットは縮小傾向にあるが、ここ数か月様子からは、底を打ちつつあるように見える。まだまだ予断を許さない状況ではあるものの、先行きに大きな変化はないとみている。
		衣料品専門店（店長）	・セール前の顧客動向から、セールの始まる7月以降は来客数が伸びることが予想されるが、客単価の動きは不透明である。
		衣料品専門店（店長）	・景況感が良くない影響からか、客の買物に対する姿勢が月を追うごとに慎重になっている。
		衣料品専門店（総務担当）	・客の様子をみても景気が上向くとは考えにくいと、現在の状況が続くとみている。
		家電量販店（店長）	・世界情勢が不安定であり、景気対策も不発である。
		家電量販店（店長）	・猛暑によるエアコン需要に期待をしているが、天候次第である。
		家電量販店（従業員）	・来客数が少ない状況は今後も変わらないとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・大手自動車メーカーの燃費不正問題以降、当社の軽自動車の販売量は多少上向き状態である。
		乗用車販売店（従業員）	・客の様子からも、急に景気が良くなるとは考えにくい。
		乗用車販売店（店長）	・7～8月は、あまり販売量に変化のない時期である。
		住関連専門店（経営者）	・3か月先はお盆が終わるので仏具類の需要が落ち込むのではないかと。景気は通常の状態となるが、売上はお盆からの反動減が多少あるとみている。
		住関連専門店（経営者）	・急激な円高により外国人観光客が減少するとみている、売上の期待ができない。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・長期予報では雨が多く気温も上がらない模様であり、ヒット商品も見当たらない。客の購買意欲を刺激するようきつかけが欲しい。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・需要の低下、仕入価格高騰に伴う収益の落ち込みなどの状況に変化はなく、今後も景気の回復が望めない状態が続くとみている。
		高級レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題もあり、景気は不安定になるとみている。そのため7月以降の景気がどうなるのか判断できない。
		高級レストラン（支配人）	・来客数、客単価、予約状況の動きから、景気は上向きになると見込んでいるが、英国のEU離脱問題の影響によっては、景気が悪くなるのではないかと危惧している。
		一般レストラン（経営者）	・株価やGDPなど、経済状況が好転するような材料が見当たらないため、このままの状態が続くのではないかと。現に予約もなかなか入っていない状況である。
		一般レストラン（経営者）	・これからのシーズン、観光客や地元住民は圧倒的に海のエリアに向かってしまうため、内陸である当地域の景気は現在よりも落ち込むとみている。
		観光型旅館（経営者）	・消費税増税の再延期が決定したが、経済の不安定なニュースが多く、消費者の財布のひもは緩んでいない。この先の景気が上向くとは考えにくい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（店長）	・参議院選挙、英国のEU離脱問題などマイナス的な話題が多く、出控える傾向にある。また、大きく景況感が良くなるような要因も見当たらない。
		旅行代理店（従業員）	・海外の情勢不安が依然として継続しており、この先も旅行を控える動きが続くとみている。
		タクシー運転手	・参議院選挙の影響で夜の乗客がずいぶん減っている。
		タクシー運転手	・アベノミクスとは、からっぽの箱からものを出してみせるマジックのようなものである。庶民は不安が多く、安心できるようなものは何も無い。このようなことで将来の景気が良くなるとは考えにくい。
		通信会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題は、今後を大きく左右するとみている。米国の大手金融機関の破たん並みの影響があるのではないかと。また、消費や雇用の拡大への見通しがまだ立っていないため、今後2～3か月は景気が上向きにはならないのではないかと。
		通信会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題や参議院選挙が景気に与える影響は無いとみている。
		通信会社（営業担当）	・景気が好転するような材料に乏しく、当分はこのままで推移するとみている。
		通信会社（営業担当）	・通信事業各社は低価格競争に突入しているが、商品の信用性や客に寄り添ったサービスを継続することで、他社への移行や解約防止は防げるとみている。ただし、消費者は新しいものへの支出は控える傾向にあり、新規顧客の開拓は微増のまま推移すると見込んでおり、大きな増加は期待できない。
		観光名所（職員）	・予約状況は変わらないがフリー客が順調であるため、現状のまま横ばいで推移するとみている。
		遊園地（経営者）	・夏休みを間近に控えているが、今年は猛暑の予報が出ており、更にオリンピックも開催される。このことから、自宅での観戦などが増加して、外出する機会は減少傾向となるのではないかとみている。
		美容室（経営者）	・状況はあまり変わらないとみている。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・後半の落ち込みがかなり激しかった前年と同様の軌跡をなぞるように今年も推移している。このことから、先行きはかなり悪くなるのではないかと危惧している。
		商店街（代表者）	・人々は不安慣れをしているのか、少々のことでは驚かなくなっている。政府の対応に妙な信頼感があるのか、インフレにでもならない限り人々は右往左往しないのではないかと。
		商店街（代表者）	・参議院選挙による飲食店などの売上減少、英国のEU離脱問題による円高、株安、それに伴う消費意欲の減退により、景気はやや悪くなるのではないかと。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・英国のEU離脱問題、参議院選後の景気予測、地方創生の問題などが絡み合い、地方の景気は非常に厳しさを増している。今後政府による何らかのてこ入れが必要である。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数が悪化したままの状態が3か月間も続くなど、東日本大震災後にはなかったことである。大手金融機関の破たんの時も、それ以前から原因不明のまま業績が振るわない月が続いていた。何か経済の基礎的な部分に変調をきたしているのではないかと。
		百貨店（売場主任）	・必要なものや気に入ったものを購入する場合でも、客は価格、機能をしっかり吟味しており、流行を追うことをしなくなってきた。購買行動がさらに慎重さを増してきていると実感している。
		百貨店（経営者）	・お中元商品の立ち上がりが鈍く、サマーセールスタートも分散しているため、大きな期待はできない。また、国政選挙にプラスして、英国のEU離脱問題のニュース発表後は円高株安などへの不安もあり、今後の消費減退に大きく影響するものと危惧している。
		スーパー（経営者）	・夏のボーナスが少し減る見込みであり、円高傾向のため雇用も減速しそうである。
		スーパー（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響による、円高、株安がしばらく続くとみている。また、猛暑が予想されているがまだ梅雨明けまでには期間があることから、天候頼みによる景気の好転は期待できない。
		スーパー（営業担当）	・円高、株安など、英国のEU離脱問題の影響がどこまで拡大するのか予測がつかないが、これらのことが景気に対して大きなマイナス要因になるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・英国のEU離脱問題により、先行きは不透明である。
		家電量販店（店長）	・消費者は将来に対して不安を抱いており、財布のひもを緩める様子はみられない。そのため、必要なものや買換え需要に関しては堅調であるが、必需品以外の商品の単価が伸び悩んでいる。猛暑の予報があるためエアコンの売上は増加を見込んでいるが、オリンピック需要の高まりがみられないため、今後が不安である。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・参議院選挙に突入したということもあるが、英国のEU離脱問題の影響を不安に思う人が多く、景況がどう動くのか非常に心配している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・日本だけではなく世界の経済状況がめまぐるしく変化している。この先は繁忙期となるが、参議院選挙も実施されており、更にニュースでネガティブな情報ばかり流される状況では、消費者の購買意欲が高まらない。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・猛暑となっても制服にはあまり影響はない。むしろ、Tシャツやポロシャツのような簡易型の制服になるのではないかと危惧している。また、在庫の状況によっては、欲しいときに商品が無いということもあるため、見通しとしてはあまり良くない状況である。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・英国のEU離脱問題など世界経済の混乱の影響で、為替や原油価格の相場の変動が見込まれ、販売価格や収益が不安定な状態になるのではないかと危惧している。また、夏の需要期も、オリンピック開催の影響により外出が減るのではないかとみている。
		一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題により円高がどれほど加速するのか。また、その影響で製造業の客がどのくらい苦しむのかによって、当店もある程度の影響が表れるとみている。そのため、先行きははや悪くなるのではないかとみている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・円高の影響を懸念している。
		観光型旅館（スタッフ）	・前年の7月はふるさと旅行券などの助成があり、その効果は数千万円の売上に表れている。また、今後は九州復興応援が始まるため、ツアー構成や販売の偏りが懸念されている。一時的なものではあるだろうが、状況はあまり良くないとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・県外からの客を呼び込めるような大きなイベントがなく、宿泊客はどうしても六魂祭などに流れてしまう。また、7月からは別の地域でデスティネーションキャンペーンが始まるため、更に客の流れはそちらへ向いてしまう。この先2か月は、様々な旗振りをしながら客の呼び込みに努めなくてはならない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・法人の宴会予約、利用件数共に前年を下回っており、来月以降の予約件数も前年を下回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況に変化がなく、フリー客も少しずつ減少傾向にある。このような状況が好転するとは考えにくい。
		旅行代理店（経営者）	・9月の連休の並びが前年より良くないため、9月の売上が伸び悩むとみている。また、英国のEU離脱問題によって経済の見通しが不透明となり、株価が安くなっていることもマイナスに働くのではないかとみている。
		テーマパーク（職員）	・予約数がかかり下回っている。さらに、売上においても単価が下がっている。
		遊園地（経営者）	・前年の9月は5連休であったため、今年は前年を下回ることには織り込み済みである。しかし、英国のEU離脱問題や、株価、為替の影響の広がりを懸念している。
		美容室（経営者）	・来客数の前年比が急激に落ち込んできている。さらに、これから為替関係の影響が色濃く出てくるのではないかと懸念している。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・今後の供給につながる受付が増えていない。
	悪くなる	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・前年の7月にプレミアム付商品券が発行されているため、今年の7～8月の売上は前年を上回ることが非常に難しい。かなりの苦戦を強いられるのではないかとみている。
		スーパー（経営者）	・消費税増税の再延期、参議院選挙、英国のEU離脱問題が尾を引くのではないかと。客のマインドも冷え切っており、円高や株安などの影響も絡んでいるため、回復するには当分かなりそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・近隣に競合店がオープンしており、お盆商戦、秋彼岸など、大きな影響を受けるとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱問題に対する政府の対応次第で、先行きは大きく変わるとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱に伴う円高株安の影響により、先行きは悪くなるとみている。
		住関連専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題が大きく報道されている。その影響はまだわからないが、当社の受注活動としてはあまり良くない環境になっていくのではないかと。また、受注残も乏しい状態である。
企業 動向 関連 (東北)	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・8月から新事業を行うので、若干は忙しくなるとみている。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・早生種のももが例年よりも2日早く出荷されている。最盛期は8月上旬の見通しであり、旧盆前の収穫で販売単価の上昇が期待できる。
		食料品製造業（経営者）	・為替や株式市場をみると、先行きに不安感がある。
		食料品製造業（営業担当）	・この先、景気が好転する要素が見当たらない。
		木材木製品製造業（経営者）	・住宅部材の需給バランスが悪い状態が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・中小企業においては、小規模になればなるほど人材の確保が難しく、受注量を増やすことができていない。そのため、現状維持が精一杯となっている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体業界の需給バランスが悪く、市場価格が上がる目途がたっていない。特にパソコン市場が停滞しており、モバイル市場頼みであるものの、飽和状態となっている。
		建設業（経営者）	・受注している工事は小口であり、大口工事の受注は無い。景気は一進一退である。
		建設業（従業員）	・復興関連の公共工事の件、特に中間貯蔵関連で多数の工事件が見込まれている。
		建設業（企画担当）	・工事受注額は当初の見込み通りであり、年度内は現状のままで推移するとみている。
		輸送業（経営者）	・当地区においても海外取引のある荷主が多くいるが、すぐには大きな変化はないとみている。
		通信業（営業担当）	・予断を許さない状況であり、今後も継続して顧客に対するきめ細やかな働きかけを行っていく必要がある。
		通信業（営業担当）	・政治の影響が景気回復に寄与するとは考えにくい。
		金融業（営業担当）	・海外の不安定な状況の影響で、景気の停滞が続くとみている。
		広告代理店（経営者）	・国内外の社会情勢にネガティブな変化が起きている。反面、オリンピックなどの好材料もあるため、2～3か月後の受注量は前年と変わらないと見込んでいる。
		司法書士	・法務局における、不動産の登記申請件数は前年並みであり、大きな増減は見込めない。
		公認会計士	・建設業は当面、現状維持が続くとみている。また、小売業、サービス業も大きく業績が悪化するような要因は見当たらない。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・震災の影響は今でもあるが、それ以上に景気の停滞感が長引いていることが要因である。景気が良くなるような要素が無いため、中小企業のなかでも小規模企業、零細企業にとっては大きな打撃となっている。このような状況がしばらく続くのではないかと。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響の波が押し寄せてくることを懸念している。情報が錯綜しており、素人では判断が付かないため怖い。
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・ラニーニャ現象による猛暑が予想されている。そのため、米、その他の作物への高温障害の悪影響を懸念している。	
	食料品製造業（経営者）	・7月の参議院選挙が終わるまでは、旅行や出張などの人の動きや、贈答やお中元などの物流は動かないとみている。	
	食料品製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題に伴う景気の不透明感から急激な円高となっている。その影響を受けて、輸出企業を中心とした企業収益が悪化することを懸念している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・円高傾向の改善が進んでいない。また英国のEU離脱問題により為替、株価の状況が不安定であり、先行きが不透明である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		金融業（広報担当）	・英国のEU離脱問題による影響を懸念している。	
		広告業協会（役員）	・来月は駅前に大型商業施設がオープンするが、近隣商業施設のマスメディアによる対抗は無い模様である。むしろバーゲンシーズンであり、そちらのほうに力を入れている。そのため、7月中旬以降は引き合いも少なく、6月より悪化する可能性がある。	
		広告代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題により為替、株式の相場が不安定なため、広告費の抑え込みが増すのではないかと危惧している。	
		コピーサービス業（従業員）	・英国のEU離脱問題の影響がどのように表れるか予想がつかない。しばらくは様子見となるため景気が上向くとは考えにくい。	
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・英国のEU離脱問題に端を発した国内の為替市場、株式市場の乱高下によって、先行きに対する不透明さが増している。そのため、消費意欲は弱含みとなるのではないかとみている。	
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	・円高の影響が表れるとみている。	
		金属工業協同組合（職員）	・先行きへの不透明感が漂っており、依然として景気の足踏み状態が続いている。	
		悪くなる	繊維工業（経営者）	・個人消費が低迷している。また、世界情勢も悪い状態である。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・英国のEU離脱問題による株価下落、さらに、英国に進出している日本企業への影響が大きいとみている。企業と消費者の心理が冷え込んで景気は悪くなるとみている。	
		輸送業（従業員）	・英国のEU離脱問題の影響を懸念している。	
経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題がもたらす悪影響のインパクトが大きい。			
雇用 関連 (東北)	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・選挙関連の仕事のため、マスコミ2社から大口の注文を受けている。また、引当率が改善したことで、2～3か月先の景気はやや良くなる見込みである。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・当地域だけみれば、駅前に大型商業施設がオープンしており、駅前の活性化と相まって七夕時期には景気が少し上向きになるとみている。ただし、政局の安定と国際政治の安定が前提であると言わざるを得ない。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・今年の大学4年生は、前年と比べても早い時期に内定が出ており、既に多くの学生が内定を獲得している。売手市場は今後も継続していくとみている。	
		人材派遣会社（社員）	・人材確保で後れを取っている地元の中小企業においては、人材の観点からも大きな伸長が期待し難い状態である。	
		人材派遣会社（社員）	・直近までは企業状況が良く、採用計画の増加などのアクションを取る企業が多かったため、今までどおりに採用が行われていく可能性はある。しかし、今後は英国のEU離脱問題の影響が日本にも波及してくることを考慮すると、2～3か月先の状況は不明瞭である。	
		職業安定所（職員）	・特に景気を左右するような要因は見当たらない。	
		職業安定所（職員）	・先行きに大きな変化はないとみている。	
		職業安定所（職員）	・業種による人手不足、人手余りの状態は、今後もしばらくは継続する見込みである。また、求人においても、非正規求人が全体の約半数を占める状態が続くとみている。	
		職業安定所（職員）	・事業所からは、新たな工場の建設や保育園などの施設を新設するという話が出ている。しかし、まだ先の話であり、それに伴う求人もまだないため、この2～3か月では大きな変化は見込めない。	
		職業安定所（職員）	・求人の状態は小さな増減を繰り返しつつ、高止まり傾向にある。また、現在のところ企業の大規模な創業及び大規模な人員整理の情報はない。新規求職者数についても同様に小さな増減を繰り返しており、近い将来に景気が大きく動く印象はない。ただし、海外の諸事情を注視する必要がある。	
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は6か月連続で低下しているものの、前年よりは上回っているため、先行きが悪くなるとまではいえない。	
		職業安定所（職員）	・前月同様に人手不足の業種はあるものの、円高や消費税増税の再延期などの影響を含めて先行きの不透明感が強く、現状維持とする企業が多く見受けられている。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・各労働関係の法律変更に伴い、収益の減少が見込まれている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		アウトソーシング企業（社員）	・民間毛自治体も全体的に仕事量が減少している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・人手不足や円高のほか、復興需要の縮小などの懸念材料がある。
		民間職業紹介機関（職員）	・英国のEU離脱問題、参議院選挙、円高などにより先行きを見通すことが難しい。特に良い材料も見当たらない。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題に伴う円高により、採用にかかる費用が圧縮されることを危惧している。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・天河ドラマ館は年間入場者目標を50万人に設定していたが、6月後半で40万人を突破し、過去の記録を塗り替える勢いである。
		コンビニ（経営者）	・夏の暑さに期待している。従来のパターンからいって、必ず伸びるであろうと期待を込めている。
		コンビニ（経営者）	・今後夏に向かって、地域でのイベント等により更に来客数が増え、販売量も増加する。
		コンビニ（経営者）	・ソフトドリンク、アイスクリームの販売量増加が見込めるので、景気が良くなる。
		スナック（経営者）	・このまま良くなることを期待している。徐々にではあるが、着実に改善してきているので大丈夫だろう。
		観光型旅館（経営者）	・熊本地震報道が減ったことにより、旅行需要の回復が見込まれる。前年は夏にふるさと旅行券の発売がなく、周りの県に客を取られていた分の需要が戻ってくる。
		都市型ホテル（副支配人）	・7～8月はスポーツ団体を中心に2食付の予約が好調である。夏休み期間に入るので、ファミリー客を中心に個人旅行予約を積極的に伸ばしていきたい。
	やや良くなる	衣料品専門店（統括）	・梅雨明け間近だが、これから七夕、花火、納涼祭などいろいろなお祭りがある。それにかけて客が買物に動いてくれれば、停滞気味の景気も上向いてくると期待している。
		家電量販店（店長）	・天候次第ではエアコンや冷蔵庫に期待が持てる。またリオデジャネイロオリンピックによる映像関連商品が伸びれば、全体として2けたの伸びが期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・県外客の動きも良く、客単価も悪くないが、仕入原価が多少気になるところである。
		観光型ホテル（経営者）	・8月は1年の中でトップシーズンであるため、やや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会等の受注件数は前年と比べて若干減少傾向だが、高単価ならびに大型宴会案件の引き合いがある。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行業にとって夏季繁忙期を迎えるため、販売量の増加が期待できる。
		美容室（経営者）	・これから夏に向かい気温が上がるにつれ、長い髪が敬遠され短くする人が増えてくる。客単価は上がらないが来客数は増加する。
	変わらない	商店街（代表者）	・良くなってもらいたいと常に願っているが、この先に購買意欲をそそるような物は何も見えてきていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・参議院選挙や社会情勢の変化が落ち着くまでは、回復の見込みはない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑予想が当たったとしても季節商材、猛暑に絡む商品の動きをつかむことは難しい。必要であれば購入する消費者の購買意欲は、生活に余裕が出ない限り望めない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方では景気の良さがなかなか感じられず、特に消費がこれから伸びるとは思えない。
		百貨店（営業担当）	・夏物衣料品のセールが次月より本格化するが、今までの流れを勘案すると、あまり期待できない。お中元商戦も下火なことから、今後2～3か月も変わらない。
		百貨店（店長）	・来客数は変わらない。
		スーパー（商品部担当）	・客単価、買上点数などから、客の購買意欲に大きな変化はない。
		スーパー（副店長）	・世界情勢は不安定だが、地方経済にそれほど影響があるとは思えない。消費税増税が再延期されたことにより、しばらくは現状が続くのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・客の財布のひもは固く、なかなか客単価が上がらないため、今と変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・5月に駐車場を10台分拡張したので、夏に向けて売上増を期待していたが、英国のEU離脱問題に伴う株価下落、円高に関する盛んなテレビ報道が、客の不安をますますかき立てているのではないかと心配になる。
		コンビニ（店長）	・なんとか現状が続いてくれれば良い。
		コンビニ（店長）	・近所に大型店ができたが、思ったより影響が少なかった。今後もそれほど悪くなることはないと思うし、良くなる条件もあまりないので、特別変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・話題性のある新型車の予定もなく、参議院選挙後の景気対策に期待したい。
		乗用車販売店（販売担当）	・車の販売と同時に車検や整備もやっている。以前は、車が売れないときでも車検、点検、サービスの売上があったが、ここ2～3か月はそちらも落ちている。オイルサービスや景品進呈などいろいろな施策をやっているが、全然手ごたえがない状況がずっと続いているので、将来的にも今と変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・4～5月に6月ごろまでの車検を先食いしたためか、6月に入り、車検や板金塗装関係の入庫が極端に減っている。販売は、中古車がそこそこ出ているものの、新車の輸入車については全く話が出ない。今後良くなる要素も見つからないので、このまま悪い状態が続く。
		乗用車販売店（管理担当）	・夏のボーナスへの期待はあるが、節約志向が強く、消費低迷が続く。
		自動車備品販売店（経営者）	・身の回りで人口が減っていると感じる。工場誘致や行政施設の建設予定もあまりない。人もあまり動かず、身の回りに活気がない。何か決定的な施策などがあると良い。消費税増税の再延期は客ともども非常にほっとしている。まずは我々が頑張らなくてはならないが、インパクトのある子育て支援などがあると良い。
		一般レストラン（経営者）	・国内外の動きを見ても、消費者の気持ち上昇するような要因は全く見当たらない。ましてや2～3か月先では変わりようがない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これから先景気が良くなるとは思えない。地方の中小企業は四苦八苦しつつも、模索しながら一生懸命やっている。
		都市型ホテル（営業担当）	・現在は少し悪い状況だが、一時的なものであり、今よりさらに悪くなるとはあまり考えられない。客の仕事の動向によって変動することもあると思うが、ベースとなる客の需要は変わらないので、現在と変わらない。
		タクシー運転手	・今が悪いので、これ以上悪くなると仕事にならなくなる。
		タクシー運転手	・県内中心市内、繁華街の同業者はだいが苦勞しているようだが、我々山間部のタクシー業者はほぼ前年比100%を達成できそうである。
		通信会社（営業担当）	・世界情勢の動きが読めないため、停滞が続く。
		観光名所（職員）	・普段は春で一旦落ち着くインバウンド客が今年は減らない。その分国内観光客の減少までカバーできるかはつかめない。
		ゴルフ場（支配人）	・梅雨明けとなり、夏の涼しさを売るコースなので、予約は以前より順調に推移している。
		その他サービス[貸切バス]（経営者）	・今年は地元古社の式年祭があるため動きが悪い。
		その他サービス[立体駐車場]（従業員）	・選挙を控え、依然として身の回り品の買い回りが多く、客の消費傾向は、さほど変わらない。
		その他サービス[イベント企画]（職員）	・国内外共に情勢は不安定で、先行きも不透明である。
		設計事務所（所長）	・3か月ほど予算を達成しており良い方向に向かってはいるが、夏場は集客が難しいので、現状維持が精一杯である。
		住宅販売会社（従業員）	・同じ地域の同業者の会議でも、来客数の減少を懸念する声がある。
		住宅販売会社（経営者）	・デフレが止まったような感じもするが、現実はい物件しか動きがなく、そのうえ交渉で必ず値引きをさせられてしまうため、まだ景気が上向きとはいえない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・地方都市は大手企業がなく下請企業が多い。工場関係者によると、大手は景気が良いが、末端の下請企業は以前よりも景気が悪いようで、小売業にもそれが響いている。
		一般小売店[衣料]（経営者）	・7月は参議院選挙があるので、あまり良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔乳業〕 (経営者)	・景気後退の要因はあるが、回復の要因はない。
		百貨店(販売促進担当)	・英国のEU離脱問題など、経済の先行き不透明感が消費マインドを大きく低下させる。円高、株安の長期化が予想され、消費低迷が継続する。
		百貨店(副店長)	・英国のEU離脱問題、国内政治や経済の先行き不安、天災や凶悪犯罪の発生など、消費マインドを低下させるような話題しかない。
		スーパー(総務担当)	・前年よりも数値が下がっているうえ、社会不安をあおる英国のEU離脱問題が客の心理を刺激し、価格に敏感になりそうである。
		スーパー(統括)	・英国のEU離脱問題に伴う急激な株安、円高で、先行きの不安がより鮮明になったことで、消費マインドの低迷による来客数、買上点数の減少は避けられない。
		乗用車販売店(経営者)	・お盆の時期は受注が落ち込む。
		乗用車販売店(経営者)	・自動車産業の盛んな当地方ではあるが、メーカーや一次下請では巨額の設備投資や内部留保を実行していても、その下まではお金が降りてこない。トリクルダウン現象は起きておらず、先行きが心配である。
		乗用車販売店(営業担当)	・小規模販売修理業者がこの先も営業を継続するには、さらに規模を小さくするか、業種転換を考えなければならない時が迫っているような気がする。
		住関連専門店(経営者)	・国民投票による英国のEU離脱問題で、世界的に景気は悪くなると報道されており、消費マインドが冷え込んでいる。
		住関連専門店(店長)	・円高、株安に流れている。長期的には、東京オリンピックに向けて上昇すると思うが、向こう1～2年は踊り場になる。
		その他専門店〔燃料〕 (従業員)	・例年この時期は販売量が減少する。前年比で毎月減少しており、今後も続く見込みである。
		一般レストラン(経営者)	・株価の下落幅や英国のEU離脱問題など、世界情勢がいろいろ変化している。日本もその影響を受けるため、今後の経済状況も不安定となり、あまり良くなる方向には行かない。
		一般レストラン(経営者)	・消費者は消費税増税の再延期による社会保障改善の不透明化、英国のEU離脱問題による世界経済の先行き不透明化などにより、とりあえず支出を抑えようとするのではないが。
		スナック(経営者)	・選挙がある月は毎回売上等が落ちるので、悪くなる。
		旅行代理店(従業員)	・英国のEU離脱問題が気になる。
		旅行代理店(副支店長)	・海外旅行だけでなく、国内でも地震や天候不安などが懸念される。為替が不安定で、今後の先行きに不安が残るためか、企業は社内旅行や研修等を控えているようであり、個人消費も見通しが暗い。秋の行楽シーズンでは、インバウンドが強すぎて日本人旅行客の予約等に大きく影響を及ぼすため、国内需要が冷え込む懸念がある。
		タクシー(経営者)	・全体的に動きが悪いので、この先も悪くなる。
		タクシー(役員)	・一部の製造業やそれに関することだけが良く、今後の不安から安定が望めない。
		通信会社(経営者)	・地方では人口減少が進んでいるので、先行き不安は払しょくできない。
		通信会社(経営者)	・景気の先行きが見通せないためか、客からの問い合わせは少なく、関心も薄いため、厳しい。
		テーマパーク(職員)	・参議院選や都知事選が行われることや、円高の影響から、観光客の動きが鈍くなる。
		遊園地(職員)	・英国のEU離脱問題の影響を受け、インバウンド観光客の流れが変わりそうである。
		ゴルフ場(総務部長)	・7～8月の入場者数は、予約状況から見て厳しい状況である。
		競輪場(職員)	・全国発売の特別競輪の売上が最低記録を更新している。
		美容室(経営者)	・このところ客の話に都知事問題を含む政治の話が多く出ている。決して景気は良くないのに、大企業と中小企業を一緒にして判断されたくない等の声もある。地方の景気はすっかり冷え込んでおり、借金がないだけ良しとしたいとの判断をする人もいる。景気の先行きが不透明な間は設備投資など考えられない。現状維持でやっとなのである。
		その他サービス〔自動車整備業〕(経営者)	・英国のEU離脱問題がどのように日本経済に影響するのかが、先行きが不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	設計事務所（経営者）	・新しい仕事依頼はほとんどなく、社員数に見合う仕事量がない。
		住宅販売会社（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴い、不安定な状態が続くことが見込まれ、住宅購入の決断が鈍る要因になる。
		商店街（代表者）	・夏の気温が高く推移すると見られているので、消費動向に懸念がある。
		百貨店（店長）	・円高、株価下落、また外部環境も悪く、今まで売上が悪くても高額商品はある程度売れていたが、このところ高額商品も売れず、ムードは非常に悪い。
		スーパー（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響により世界経済の先行き不透明感が増し、消費減退ダメージが大きくなる。
		衣料品専門店（販売担当）	・年金が出てボーナスが出ても客がさっぱり来ない。こちらからもセールやDM、電話作戦など、あらゆる手を尽くしているが、来店してもらえない。今までにないほど悪いので、夏場を乗り切るのには相当困難を要するというのが実感である。
		家電量販店（営業担当）	・オリンピック需要が全くなく、映像関連商材の動きはないが、エアコン等の季節商材の動きは良い。
		スナック（経営者）	・良くなる要素が全然見つからない。英国のEU離脱問題に端を発する米国大手金融機関の破たん以来の円高、株安は、日本にも大きな影響があるような気がする。ますます財布のひもが固くなるのではないかと。参議院選挙もあり、恐らくお盆過ぎまでは良くならない。
		旅行代理店（所長）	・政治不信に加えて、英国のEU離脱問題等による不安感から、消費が鈍化する。
		通信会社（経営者）	・良くなる兆しが見えない。
		通信会社（経営者）	・英国のEU離脱問題により世界経済は減速し、円高、株安は短期では収まらない。
		通信会社（店長）	・退職者の補充が追いつかず、求人のための経費支出がかさんでいる。
設計事務所（所長）	・7月1日公告予定物件は一昨年仕込んだもので、ようやく内示が出たものである。これからは思いやられる。		
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米への輸出が増加しているため、良くなる。
		その他製造業[環境機器]（経営者）	・当社の太陽光発電所の増設が大幅に進んでいる。
	やや良くなる	その他サービス業[情報サービス]（経営者）	・引き合い、受注量から推測して、収益の改善が図られる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏休みの出張イベントが増加する時期なので期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・厳しい状況に変わりはない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・やっと微減傾向が止まったところで、英国のEU離脱問題により激震が走っている。この結果がどのような影響を与えるのか、いまだ情報は全く入っていないが、受注量が好転するとは考えにくい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件が何件か立ち上がる予定であるが、従来の仕事を埋めるまでには至らない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新製品や新規の受注がないので状況としては厳しいが、受注話が出てきたので、水平飛行かあるいは少し上昇する可能性がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・なかなか安定した仕事が見つからず、不安定な状態が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・良くない状況が続くなか、英国のEU離脱問題による景気悪化の増大が非常に心配される。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・競争相手、取引先の様子等も、良い会社、悪い会社、いたって普通の会社といろいろあるので、この調子でいくとこの2～3か月先まではあまり変わらない。
		その他製造業[消防用品]（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
建設業（開発担当）		・今期の公共事業は前年比大幅減であるが、経済政策で公共事業を前倒しで実施することが決定されたので、今後に期待したい。当社も売上高が前年比95%だが、今後何とか前年並みの売上を計上したい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業担当）	・暑い夏になるという天候予測もあり、エアコン、扇風機、パーベキュー、レジャー用品、園芸用品等の物量がある程度増加する見込みだが、英国のEU離脱問題の影響により景気減速も考えられるため、前年並みとの予測を立てている。
		広告代理店（営業担当）	・夏場は宣伝、広告が減る時期なので、例年のように停滞すると思うが、現時点の受注状況としては、秋まで横ばいで推移しそうである。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・残業をすべて禁止する方針を決めた企業があると聞いている。
		経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題、東アジア情勢など国際情勢の不安定さ、世界経済の不透明さが国内経済に反映されているように、地域の動向から先を見通すことが難しい。企業の生産、販売活動及び個人消費など、用心しながらの進展となりそうである。
		司法書士	・地方は中央の景気の影響をすぐには受けないため、まだ少し続くと思うが、今中央で起きている混乱がいつどのような形で波及してくるのかは分からない。
		社会保険労務士	・派遣会社などで社会保険加入手続きが増加していたが、契約期間更新は厳しくなるかもしれない。
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・円高の影響で多少は原料価格が下がってきたが、英国のEU離脱問題で国内景気が悪くなり、消費がますます冷え込んでくる。
		食料品製造業（営業統括）	・英国のEU離脱問題により、急激な円高、株の急落等で予想外の事態が生じたため、輸入ワインの増加が考えられ、国産ワインにも大きな影響が懸念される。
		建設業（総務担当）	・良くなる要素が考えられない。予算が他に持って行かれていくという情報もある。
		通信業（経営者）	・景気が良くなりそうな要素がない。
		金融業（調査担当）	・消費税増税は延期されたものの、消費マインドの改善は見られず、個人消費刺激など政府の景気対策はあまり期待できない。
		金融業（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題の影響を受けて円高が進行しており、輸出関連業種などへの影響が懸念される。
不動産業（経営者）		・円滑にお金が回っておらず、消費が偏っているように見受けられる。	
不動産業（管理担当）		・来月から打ち切られる予定だった受託案件が、今後も継続することになったため、業務量の減少はなくなったが、契約見直しで金額を下げられたため、売上はやや減少する見込みである。	
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず毎月の資金繰りが大変である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の板金部門の受注が芳しくなく、その部門の人員を外注発注の部品組み立てに充てるとの情報が入ってきているため、当社の受注への影響が考えられる。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・今月香港で行われた国際宝飾展へ日本からも多くの宝飾企業が出展したが、中国の景気後退の影響、またアメリカ、ヨーロッパの景気も今一つであることから販売不振の企業が目立っている。国内景気低迷の中、海外輸出が宝飾業界の売上を支えていたが、輸出不振で業界全体に陰りが見えてきている。	
雇用関連 (北関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・暑くなり、コンビニの麺類製造派遣が増加する。
		職業安定所（職員）	・学卒の求人数が増加傾向にある。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・求人社数、求人者数共に増えているが、学生の希望する職種とは異なる。生産関係などの職種が増えていると感じるが、もう少し間接的な職種が増えれば、景気の上昇も実感できる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ボーナス支給によって衣料品や生鮮食料品等の購買力が増えていき、自動車やスマホ、ケータイ等も多少活気を取り戻すと思うが、製造業に関しては、在庫調整が行われる可能性もあり、生産の動きが鈍ってくる。円高にも左右される。
人材派遣会社（経営者）		・このところ仕事が忙しいからと頼まれたり、断られることはあまりないが、残業などが減り、売上が減少している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・県内主要観光地の宿泊施設の取引先が多いが、稼働率を見ると、前年よりも若干落ちているところと伸びているところがあり、平均するとほぼ横ばい状態である。数か月前から前年度と同じような数字で推移しているので、特に何か大きな出来事でもない限りはこのままで変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・選挙動向を見ても変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・例年これから季節的に大型小売店、サービス業などが忙しくなるので、パート、アルバイトの募集が特に多くなる。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向を示しているが、円高や中国経済の影響など不安要素も多くあるため、今後も変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含めた投資には消極的な姿勢もあり、様子見となっている。
やや悪くなる		人材派遣会社（支社長）	・3か月更新後は7～9月までの契約となる為、工場閉鎖など突発の事象がない限り、引き合い等の受注ペースはお盆明けまでは鈍化する。
		職業安定所（職員）	・円高の転換期を迎えている。好調な飲食、サービス関連業においても1社当たりの求人数が減ってきている。近月においては人員整理、または事業縮小等も見え始めていることから、景気は少し減退していくのではないかと。求職者数も例年通り減少傾向を続けている。求人倍率は今月も1.48と高倍率を保っているが、求職者の減少も一つの要因である。
	悪くなる	-	-

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・7月の夏祭りによる需要が相当高まるのではないかと期待している。例年と同じようにやれば、売上も間違いなく上がる。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・売上と利益の点からみて良くなる（東京都）。
		観光名所（職員）	・梅雨が明け夏休みに入ると、旅客が増えてくるため、2～3か月後は今月よりは良くなると期待している（東京都）。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・客は、高齢の年金受給者が多く、その中でも格差が広がっているように思う。国民年金だけの受給者は、生活が厳しいようで、価格を見て、壊れてからでないとなかなか買換ええない。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・猛暑予報を信じて、やや良くなる。売れ筋予測が前年見事に外れているので、6月から商品不足とされているものの、商品確保に頭が痛い。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・今年はお祭りやイベントも多そうである。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・個人向けの品ぞろえや外国人向けの商品構成を強化しているため、これからの2～3か月間に行われる近隣地域の夏のイベントにより、商品の動きに良い影響が出ると思っている（東京都）。
		百貨店（店長）	・景気の指標ともなるアパレルの動きが順調になってきている。
		スーパー（経営者）	・良くなるための準備をしている。
		コンビニ（経営者）	・季節的に暑くなるので、来客数もやや増える。ただ、世界的な経済不安により、消費購買力が落ちるのではないかと。
	コンビニ（経営者）	・ショッピングモールのテナントとして出店しているが、一時はかなりのテナントが撤退したが、最近はその半分くらいが新しいテナントで埋まってきている。また、今年の夏は猛暑になると予想されており、飲食料小売店にとってはありがたい気候である。	
	コンビニ（エリア担当）	・今年は猛暑が予想され、飲料やアイスクリームなどの季節商材の売上が上がることを期待している（東京都）。	
	家電量販店（統括）	・今年は猛暑の影響で、エアコンや冷蔵庫の需要が見込まれる。また、オリンピックイヤーということでテレビやブルーレイも売れるとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・英国のEU離脱問題も、数か月して世界経済にある程度落ち着きが出てくれば、少し良くなる。また、参議院選、都知事選と、物流については多少動くため、2～3か月後はやや良くなるのではないかと。あくまでも、東京都都オリンピック、東北復興によって景気の状態が良くなると考えるのは従来から変わらない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新店舗のオープンを抑えているため、期待している。
		旅行代理店（従業員）	・前年に比して進捗申込状況が良い。ただし、急激な円高、英国のEU離脱問題がどのように影響するかが懸念される（東京都）。
		通信会社（経営者）	・英国のEU離脱問題は、少しの間消費にマイナス影響を与えるだろうが、日本の景気にはさほど影響せず、ボーナスで消費が動き出すとみている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・リオデジャネイロオリンピックがあり、客はテレビ観戦をするので、ケーブルテレビサービスの契約が増えると思われている。また、営業担当を増員する見通しも立ち、トータルの契約件数も増加が予想される（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・テレビ視聴は、スマホ、タブレットを中心に多様なサービスが出そろっている。オリンピックに向けてより一層、自宅外での視聴が増え、それに伴って通信業界も活性化される。
		通信会社（経営企画担当）	・下期に向けて案件増の可能性はある（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・法人向けのソリューション設備投資は、現状と変わらないだろうが、個人向けの携帯電話販売は、夏季商戦を迎えて、新商品が投入されることを受け、やや良くなる（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・希望的観測である。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・近隣の大型商業施設が11月いっぱいまで閉店するため、閉店セールを打ってくると思われる。
		設計事務所（経営者）	・準備段階ではあるものの、次のプロジェクトの打ち合わせが始まっている。
		住宅販売会社（従業員）	・今月が悪かったため、2～3か月後の景気は例年並みに戻るだけで、今月よりやや良いということになる。例年以上に集客減をカバーするためのキャンペーン展開を行う予定であり、販売量をなんとか例年並みに持って行こうと考えている。
変わらない		商店街（代表者）	・客の来店が非常に少なくなっており、消費にかなり慎重な状況が続いている。先行きに対して不安感を持っているのではないかと。
		商店街（代表者）	・最近の天候は例年と違い、雨が降ったり、暑かったりという状態が続いているため、大変問題である。早く普通の状態に戻ることを望んでいる（東京都）。
		商店街（代表者）	・中型スーパーなどの容赦ない出店が止まらなければ、地元商店街は崩壊し、地方の駅前のようなドーナツ化現象に陥る可能性が強くなってきている（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・今年の夏も暑さが厳しい予報のため、来客数が減少してしまうのではないかと。ただし、大口の取引先が決まったので、多少は売上がカバーできるのではないかと考えている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・当店の努力も必要だと思うが、努力するにも来客数が本当に少なく、あまり経済が動いていないのではないかと。非常に残念だが、厳しい。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・政治の局面が不安定で、政治が落ち着かないと、明るい見通しは立たないような気がする（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・この先数か月の案件数もそれほど多くないが、少なくはない。競争が激しいために、ある程度件数が取れていても単価が下がってきている現状から、あまり変わらない。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・販売量も伸び悩み、給料も上がらずに現状維持で、夏の賞与も出そうにない（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・客の心理にプラスに働く要件が少なく、今後もしばらくは同様の傾向が続くとみている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・天候不順の影響もあり、婦人服をはじめとした衣料品全般で低調である。それに加えて、英国のEU離脱問題等の国際情勢による円高、株安もマイナスに働き、高額商品の買い控えがあり、個人消費は低迷しつつある。景気の先行きはやや不安である（東京都）。
		百貨店（店長）	・株価低迷や円高ドル安などの進行などの経済面で、先行きが明るくなるような材料はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（副店長）	・客の消費行動が、お中元商戦のピークや7月初旬からのセール等によって、どのように変化するのか注視が必要である。前年実績を上回ることを期待したいが、現状の様々な不確定要素がある経済情勢では、大きな伸びは期待できない。
		スーパー（販売担当）	・競合店との価格競争もあり、平均単価が下がる傾向にある。客は前年並みの点数を買っているものの、平均単価が下がっているため、客単価がなかなか前年まで届かない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（経営者）	・悪い状態がこのまま変わらない。これから先、英国のEU離脱問題等で、円高、株安で悪くなる可能性もあるが、当店は日々の食料品の購入なので、すぐには影響はないだろう。ただ、また3か月先くらいに競合店が出店するので、その時は悪くなるかと感じている。
		スーパー（店長）	・本来なら、3か月後の景気は良いと答えたいが、今の客の様子からすると、3か月後も現状のままで行くのではないが。いくら安く売っても、客は必要のない物は買ってくれない。若い世代、サラリーマン、年配の方いろいろな年齢層がいて、時間帯によって当然売れる商品も変わるが、安売りをしているからといって、買物がごに入れることはなく、本当に、今日必要な分を必要な数だけしか買ってくれないという状況なので、3か月後も変わらない（東京都）。
		スーパー（店長）	・少しでも安い物を求める傾向は変わらないため、しばらくは同様の状況が続く（東京都）。
		スーパー（店長）	・来客数、買上単価共に変化はなく、1品単価の下落が特徴である。客の購買商品の二極化が目立ち、販売商品が高額品、低価格品と大きく分かれる傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・近隣でマンション工事や建築現場がかなりあったが、それらの工事が終了したため、現在は悪く、来客数も減少している。
		コンビニ（経営者）	・消費税増税の再延期もあり、当分は客に変化がないと思われるが、プレミアム商品の売上に陰りが見え始めている。単価が多少低下し売上が減少し、景気は若干悪くなり始めていると感じる。
		コンビニ（経営者）	・英国のEU離脱問題で、大分円高になっている。小売業では円高は、従来どちらかと言うと、商品の仕入値が安くなり、販売価格も物によっては下がり、客が買いやすく、消費しやすい状況になると感じている。しかしながら、急激にここまで変わってくると、円高になり困る客も確実にいるため、何とも難しいが、変わらないと判断している。
		コンビニ（経営者）	・政治が不安定に感じられるため、先行きは不安である。ただ、この夏は猛暑と予想されており、コンビニ業界は天候で売上が大きく変わるため、暑い夏になれば景気も上向くのではないか。
		コンビニ（商品開発担当）	・客単価は落ち込んでいないものの、来客数が回復しない状況が続いており、今後もこの傾向は変わらないと予測する（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・夏物衣料時期の後半に入るが、メーカーが生産調整しているために売れ筋商品がすぐに品切れとなり、売上につながりにくくなっているうえに、7月からまだ売れない秋物を薦めてくる。客が欲しい時に欲しい商材の品ぞろえができなくなっている。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税は再延期となったが、先行き不安で購買力が良くなるとは、まだ思えない。
		家電量販店（店員）	・今後の物価の上昇や、客の様子見での購入判断などをみると変わらないのではないかと（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしているが、整備は順調に入っているものの、販売はあまり芳しくない。例年だと6～7月は夏季賞与が出るため、販売は良くなるはずだが、今月は5割減である。
		乗用車販売店（経営者）	・例年ならば、少ないながらもボーナス商戦のようなものもあったが、今年はそういった動きは一切感じられず、今後に期待できる材料もない。
		乗用車販売店（経営者）	・国内外でいろいろな課題があるものの、自動車販売量は現状維持できると思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・7～8月の夏休みに入ると、車よりもレジャーに掛ける予算を気にする客が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（渉外担当）	・サービス在庫は通常通りの推移だが、受注は良くない。
		乗用車販売店（総務担当）	・英国のEU離脱問題が、どのように客や企業に影響がでてくるのかわからない。
		住関連専門店（営業担当）	・消費税率引上げに伴う駆け込み需要を予測していたものの、再延期となり先の見通しを立てにくい状況だが、特段悪い材料があるわけでもないため、現状維持とみている（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・商品や人の動きが前月と変わらない。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・毎月のことだが、上向き要素がない（東京都）。
		高級レストラン（副支配人）	・法人関連の予約状況から変わらないと判断している（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・販売単価は現状維持の状態で、来客数、売上共に前年並みと考えている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・店頭売上は3か月後もあまり変わらない。ケータリング部門に、少し大きい注文が入っており、多少は続くと思うため、全体の売上は若干減ると思うが、大幅には変わらない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・マスコミなどの報道をみても、景気の良くなる要因はない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・夏季シーズンは、例年通り変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・参議院選もあるが、九州地方では熊本地震、豪雨災害等が頻発し、海外では自爆テロなども発生しており、なかなか厳しいのではないかと。
		旅行代理店（従業員）	・団体客は夏にあまり動きがなく、個人客の申込みあまり見込めない。
		タクシー運転手	・今は選挙がらみで、我々は様子を見ながら仕事をしているが、客も大分迷っているようで、動向がはっきりつかめない。
		タクシー運転手	・今年の夏はかなり暑い日が続くと聞いている。暑さしのごでワンメーターの客が増えると良いと思っている。ここ数か月、夜から深夜にかけてのタクシー利用が非常に少なく、しばらくはこの状態が続くそうである。
		タクシー（団体役員）	・参議院選、政界情勢、円高、株安等の外的要素が多く、判断が難しい。
		通信会社（営業担当）	・株価下落などの心理的な要因により、当面は消費意欲に大幅な回復は見込めない。
		通信会社（営業担当）	・今のところ大きな動きはみえないが、携帯電話について、安価なサービスを求める客層が増え始めている。
		通信会社（局長）	・リオデジャネイロオリンピックに期待したいところだが、今一つ客の盛り上がりは感じられず、そのまま夏が過ぎていくような雰囲気を感じる（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・英国のEU離脱問題による円高等の悪影響が徐々に表れて来そうな気はするが、夏季の景気もあり、相対的には変わらない（東京都）。
		ゴルフ場（企画担当）	・来場者予定数を上回っているものの、会員の来場比率が高く、収支状況では来場者数ほどの収益はない。
		ゴルフ場（支配人）	・月による客の増減はあまり感じない。経済的な面はもちろんだが、ゴルフ場のため自然環境に左右されやすい。客の中心は時間的に余裕のある方が多く、これも天候に左右されやすい原因となっている。
		パチンコ店（経営者）	・5月は伊勢志摩サミットの警備の関係で、新台の入替えがほとんどできなかった。それでも、それほど来客数は落ちていなかったため、今後も撤去機の問題などがあり厳しい状況ではあるが、期待を込めて現状維持、変わらないと回答している（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・経済が浮揚する要素がみえない。一部の大企業が潤っても社会全体に波及しているとは思えない。英国のEU離脱問題による経済的な影響も気になり、しばらくは我慢の日が続くそうである。
		設計事務所（所長）	・多少仕事量が増える見込みは立ってきたが、契約から入金までは立替えがあるため、このままの状態が続く（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
やや悪くなる		設計事務所（職員）	・6月に入り、設計プロポーザルなどの案件が増えた一方で、消費税増税再延期に伴う契約の先延ばしも出るなど、全体として大きな変化はない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場等の集客は前年比横ばいで、特に目立った動きはなく、マイナス金利によるローン金利のメリットだけでは受注が上向きには弱い感じである（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・資料請求など、新規資料が増えていない。熊本地震の影響で耐震工事があるかと思ったが、それほど反響はない。
		商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題は当地のような地方経済にまで影響するインパクトだと思う。円高、株高に支えられてきた大企業の業績が良くないと、当地のような少し高め年齢層を顧客としている街はかなりの影響を受けるため、先行きが不安である（東京都）。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・6月に入り、暑い日には深蒸し茶が美味しく感じるころ、消費税増税の再延期が個人消費にプラスになれば良いのではないかと。来客数、売上共に、減少が続いている。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・経済が不透明で、消費に向かない感じがする。
		百貨店（売場主任）	・英国のEU離脱問題で円高、株安が進行し、インバウンド消費を含め苦戦が強いられると予想する。
		百貨店（総務担当）	・選挙の影響や株価低迷などにより、先行き不透明な状態が続く。将来的には今以上に厳しい状況のまま推移するのではないかと。ただし、日常的な食料品などは、それほど落ち込んでいないため、食料品の集客を核として、他の売上に波及するような戦略が必要である。
		百貨店（総務担当）	・英国のEU離脱問題で、世界的な景気減速が懸念される。日本経済も、先行きの不透明感から半年程度は影響を受け、買い控えが起きると予想する。
		百貨店（広報担当）	・選挙の年は百貨店の売上は減少傾向となるが、7月には参議院選、都知事選が予定されている。また、国際的には英国のEU離脱問題により、英国首相の後継者問題に揺れるなど、世界景気への不安から購買心理の悪化が懸念される。実際、EU離脱が発表されてから円高、株安が進行しており、この傾向が継続すれば、百貨店の主要購買層である富裕層の購買心理の一層の悪化が予想される（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・客の心理的要素が強く購買に至らない状況が多い。この傾向は、今後さらに強くなる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・一般消費者の購買意欲が低下していることに加え、英国のEU離脱問題により、為替、株価に対する不透明さから、高所得者の購買変動が、全体に大きく影響を与える。今は円高、株安方向のため楽観はできない。参議院選後に都知事選もあり、体制が落ち着くまでは、先が見通せない状況である（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・今後の期待は、夏のボーナス支給によるサマークリアランスであるが、現状の購買行動から見るとメインターゲットである有職女性の節約意識が高いため、厳しい。また円相場、株価変動による富裕層の消費も鈍化が予想される（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題により、世界経済は混乱し、日本の株安、円高は当分続くと思われる。株安は富裕層の購買意欲を低下させる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・世界経済の先行きの不透明感が強まったことで円高、株安が進み、出口の見えない状況で、消費意欲の低下はさらに進む（東京都）。
		百貨店（管理担当）	・英国のEU離脱問題により、先行きに対する不安感から景気の停滞が予測される。
		スーパー（総務担当）	・英国のEU離脱問題や、それに伴う株価の下落、都知事問題も含めて、世の中はあまり活発な動きになっていないと感じる。実質賃金も上がっている実感があまり湧いてこないなかで、今後の生活のことを考えて、客の財布のひもは、ますます固くなっているような買物状況である。
		スーパー（仕入担当）	・英国のEU離脱問題により、円高、デフレ傾向になることが非常に懸念される。
		コンビニ（経営者）	・3か月後に急に景気が変わるということは考えられないが、天気に大きく左右されるため、天候がどうなるかがポイントである（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・販売量の減少があるため、やや悪くなる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・客の流れが悪くなっており、良い方向にはいかない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税の再延期が決まったにもかかわらず、客は消費に消極的であり、しばらく景気回復は期待できそうもない。
		衣料品専門店（経営者）	・直接の原因がどうか分からないが、英国のEU離脱問題のショックで日本の経済がどうなるのか、また、株安、円高で、いろいろな企業の方が、不安視しているようである。それによって買い控え等もあり、今は祭りシーズンなのだが、必要な物以外は買わないという風潮が見受けられる。
		衣料品専門店（統括）	・猛暑予報の影響により、スーツなどを中心とした重衣料の販売点数が減少すると考えている。
		衣料品専門店（営業担当）	・英国のEU離脱問題など世界情勢は悪くなるばかりで、そんな世の中で、買物などにお金を使わなくなってきている。
		住関連専門店（統括）	・景気が上向く状況ではなく、また、そのような政策等も見当たらない。まだ伸び悩みの状態が続くのではないか。
		その他専門店〔貴金属〕（経営企画担当）	・景気のプラス基調から、マイナス基調への潮目の変化が、日々の売上、客足などから把握できる。売上減少への対策を打たなければ、ずるずると悪い波に引き込まれる可能性を感じ、景気はやや悪くなる（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・世界的な先行き不安一色の報道に、購買意欲は低下すると思われる（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・今後、英国のEU離脱問題の影響がどう出るのか、よく分からない。世界経済が不安定になっている。
		高級レストラン（経営者）	・直接の原因は円高に起因する大企業の資産価値減少や貿易収支の下方修正、株価下落と収入減の恐れである。当店のような、生活必需品ではなくむしろ贅沢に分類される店は影響を受ける。ただし、当店の固定客の中心はハイミセスであり、食を扱っている強みで、服飾等に比べれば買い控えの影響は少ないと考えている。
		一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題は遅かれ早かれ、様々な影響を及ぼす（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・消費税増税が再延期になったが、さらに、英国のEU離脱問題で経済がどうなるのか分からず、先行きが見えないため、消費も冷え込む。今より一層不安である。
		一般レストラン（経営者）	・宴会需要はそれほど変わらず、客単価や客の1回に使う金額もあまり変わっていないが、極端に個人消費は冷え込んでいる。今後も、しばらくは様子見という感じで消費を控えるのではないかと（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題によるヨーロッパ経済の混乱とその後の低迷は避けられない。その結果、円高と低金利政策が長引けば長引くほど、輸出関連企業、金融、観光業を中心にボディーブローのように効き、いずれ深刻な状況を生み出すのではないかと。そういう意味では、半年～1年先は、3か月先よりさらに悲観的にならざるを得ない。
		一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題が響いている。株価や円高により、景気は変動するため、良くなるとは思わない。
		一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題に影響され、株価、円高など、不安な報道が出ているため、やや悪くなる（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・あまり明るい材料がない。店をやっているもそうだが、普通の生活でも食費だけではなくいろいろとお金がかかる。飲食店は余暇で使うものだから、なかなか悪い。ただ、それほど売上が落ちていないので、頑張っているということだと思いが、雰囲気として良い材料はない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・英国のEU離脱問題等、世界経済の動きが与える日本経済への影響はマイナス方向に働き、景気改善は考え難い（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・円高、株安は今後も続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・例年、選挙時期の動きは鈍くなるが、特に今回は、先の受注が少なく前年を下回っている。宿泊、レストラン利用は夏休みなどのプラス要素があるものの短期間であり、婚礼、宴会はオフシーズンで厳しい時期を迎えるため、現状、良くなる要素がなく、やや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題が気になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・英国のEU離脱問題で、経済状況が円高、株安等、悪化するため（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	・今月も厳しかったが、今後は英国のEU離脱問題の影響がどの程度出てくるかである。円高に向かえば、海外旅行は良いと思うものの、現状、海外旅行の売行きが悪いので、非常に危惧している。また、国内旅行は、九州の復興旅行などが始まるため、その点は少しプラスになると思うが、全体的には厳しいという見通しである（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・英国のEU離脱問題による、貿易、株価、為替等の不安のため、やや悪くなる（東京都）。
		タクシー運転手	・タクシー業界は選挙があると、深夜客が減るのが常だが、それにしても、深夜の客が減っている。今回の英国のEU離脱問題で、銀行の本店やコンサルタント会社の残業が増えるのではないかと期待していたが、今のところ全く増えていない。個別に客に話を聞くと、仕事は大変忙しくなっているということだが、残業をしていないようである（東京都）。
		通信会社（経営者）	・他社携帯電話を軸とした当社のインターネット解約は続くと考えられる。アフターサポート部隊による顧客訪問活動が防止策となるため、抑止には時間が必要である（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・円高、株安が大きくマイナスに影響し、消費の手控えは確実であるため、最低半年は販売減を覚悟しなければならない。
		通信会社（営業担当）	・景気向上につながる材料がない。むしろマイナス要因となる要素やイメージが支配している印象である。
		ゴルフ場（従業員）	・英国のEU離脱問題、アメリカ大統領選など、日本に限らず世界中の危機を感じる。世界、日本、地方自治、企業等々どのような組織においても、有能で良識あるトップリーダーが必要である。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・英国のEU離脱問題による、世界経済のショックが大きく出てしまったため、心理的な冷え込みから余暇への出費は、厳しくなる。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題が国内外の経済に悪影響を及ぼす時期だと思われる。インバウンドの減少や国内景気の減退が懸念される（東京都）。
		美容室（経営者）	・商店街が静かになってきているような気がする。
		その他サービス [学習塾]（経営者）	・小中学生の減少により、各塾とも体験期間を延ばすなど、生徒の取り合いになっている。また、価格もどんどん安くなっている。今後、景気が上向くとは期待できない。
		その他サービス [保険代理店]（経営者）	・客の世代交代に対応したいが、その手段をなかなか見い出せず、しばらくは売上が減少する。
		その他サービス [電力]（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴い、世界経済の停滞が懸念されている。そうなると新築マンションも減少し、一括受電による小売電力導入の減少が懸念される（東京都）。
		その他サービス [学習塾]（経営者）	・経済の先行きに対する不安が広がっていると感じる。
		設計事務所（所長）	・仕事量が激減しているので、これから先、仕事が増える状況を見極めることがなかなかできない。政府が手を打ってくれないと景気は上向いていかない。何しろ仕事がない。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の再延期や英国のEU離脱問題が、企業や富裕層の投資活動にどのような影響を与えるか不透明であり、今後は懸念される。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（経営者）	・このままでは、先の予測ができない。先行きが大変に不安である。
		その他住宅 [住宅資材]（営業）	・選挙や世界情勢を見て、様子見の客が多いと感じる。国内需要のみで考えると影響は少ないと楽観的に思う反面、実需に期待できないのが現状である（東京都）。
	悪くなる	一般小売店 [家具]（経営者）	・これから先の景気だが、英国のEU離脱問題というショッキングなニュースがあり、これから大分厳しくなるだろうと感じている（東京都）。
		一般小売店 [食料雑貨]（経営者）	・近郊で秋に大型ショッピングモールのオープンが予定されている。以前のような大規模小売店舗法が復活して欲しい。
		一般小売店 [家電]（経営者）	・英国のEU離脱問題で、混乱が続く。落ち着くまでに2～3か月はかかると考えられるため、しばらくの間は悪い（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・英国のEU離脱問題を受け、円高、株安などの消費マインドに悪影響を与える要因により、消費行動が更に鈍化すると予想される。
		百貨店（販売促進担当）	・英国のEU離脱問題に関連し、経済の先行きに不安を感じさせるマスコミ報道が多く、為替、株式相場の動きも、客の消費マインドにマイナスの作用をしている。お中元ギフトの動きも鈍く、7月のボーナス支給後の動きによっては、さらに悪くなる。
		百貨店（計画管理担当）	・英国のEU離脱問題により、円高、株価下落が将来への不安を与え、消費マインドが下がる。生活に直接影響するとは思えないことが、消費へ悪影響を及ぼしそうである（東京都）。
		百貨店（営業企画担当）	・英国のEU離脱問題による影響が未知数ではあるが、為替、株価が低迷し、不安定な状況が継続すれば個人消費に悪影響を及ぼすと考える（東京都）。
		スーパー（経営者）	・英国のEU離脱問題による日本株の下落、円高により悪くなる（東京都）。
		スーパー（営業担当）	・英国のEU離脱問題は、日本も含めた全世界に大きな影響を与える。当分の間、全世界的な景気の落ち込みは避けられない（東京都）。
		衣料品専門店（店長）	・収入が増えないため、若年層を中心に買い控えが顕著である。
		家電量販店（経営企画担当）	・節約志向が強まっているなか、今回の英国のEU離脱問題が日本国内の景気に直接影響を及ぼすことはないと考えられるが、円高、株価下落の悪影響があらわれ、国内景気、インバウンド需要に影響が及ぶ（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	・世界情勢も不安で、消費者の購買意欲がさらに低下するのではないかと。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・英国のEU離脱問題など悪いニュースの影響が心配である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・皆も同じだと思うが 英国のEU離脱問題が世界や日本の経済状況の悪化を招くと思われる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・現政権でなくても、今と変わらない政治を行い、20～30代の収入が増えないようでは、結婚もしなくなり、日本はどんどん先細りになっていく。政治家には、必要な政策にきちんとお金をかけて欲しい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・英国のEU離脱問題で、円高の影響もあり、観光業界としては外国のインバウンド来客数が減るのではないかと懸念している。全体の株価も下がってくるため、ホテル自体の景気も非常に心配になってくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・円高や金融不安が国内外のレジャー需要に及ぼす影響を懸念する（東京都）。
		都市型ホテル（総務担当）	・EU等の経済状況悪化やテロの拡大、円高等の外的要因により、景気の悪化が懸念される。
		タクシー運転手	・6月23～24日に実施された、英国の国民投票によるEU離脱問題で、今後の世界や日本の経済がどうなっていくの心配である。輸出産業で成り立ち、アベノミクスで円安を誘導する政策を推進している日本からすると、デフレの進行を助長する恐れもあるため、海外投資家のリスクオフに伴う円買いは日本経済にも悪い影響を与えると専門家も言っている。激しい市場の動きが落ち着くまでのしばらくは、悪くなる（東京都）。
		タクシー運転手	・良い材料は感じられない（東京都）。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・英国のEU離脱問題から、世界的に株安、円高の状況となっており、消費者の先行きに対する感覚が大分厳しくなってきた。そういった意味で、今後この状況が続くと3か月後の景気は冷え込むのではないかと心配している（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・まだ中小企業の景気が回復していないところへ、英国のEU離脱問題という不安材料が発生したため、今後どのように影響を受けるか分からないものの、景気が良くなる材料は何も見当たらない。今後は参議院選の結果がどのように影響してくるのだが、景気が良くなるとは思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人関係の仕事以外に、店頭には個人客も来店する。実印の場合は必要に迫られて作るということが割と多いが、今月あたりから、1人で3本、家族の分もギフトとして使うというのを見かける。どうしても必要というのではないが、作ってギフトにする客が増えているため、やや良くなると現場では感じている（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・工期等をみても、しばらくこの状態は続くため、やや良くなる。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・新規契約の見込みがあるため、今よりは良くなる（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・案件が減っているわけではなく、むしろ増えている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・今は少し悪いが、一時的、心理的な物のような気がする（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	・景気の良くなるような話題がない。
		化学工業（従業員）	・毎月、定期的に入っていた注文が、2～3か月に受注間隔が伸びており、先行きが不安である。中国大陸向けは順調なため、トータルではプラスマイナスゼロである。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・参議院選、都知事選等の終わった後に、どういう動きになるか読み切れない部分があるため、景気は大きく変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・賃上げ分をカバーできる売上がなく、一部業種を除いて仕事量は減ってきている。
		金属製品製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題がどのような結果になっていくかが現時点では分からない。しかし、現状を維持できる方向で動くのではないかと希望的観測も含めて、変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・当社は自動車部品の取扱いが多いため、7～8月にかけては、お盆休業もあり、それほど良くない。秋にかけては新規受注もないので、変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・相変わらず電気を十分に使えない状態が続く、電気を消費する高級機種が設計の段階で除かれる。国内では売れないため、海外で販売する努力をしているが、時間がかかる（東京都）。
		電気機械器具製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題は、相当不安定な要素が波及するので、今後の見通しは一段と悪くなる（東京都）。
		建設業（経営者）	・世界経済にもあそばれている感があり、消費意欲が低迷している。
		建設業（経営者）	・英国のEU離脱問題から、世界経済がより大きく揺れるのではないかと。
		建設業（営業担当）	・英国のEU離脱問題で円高や株価の下落が懸念され、一部の取引先は発注を控えている。消費税増税の再延期や参議院選、衆議院の解散の心配など、目まぐるしく報道されるなかで、多くの客は設備投資を控え始めている。
		建設業（経理担当）	・駅前や駅近の貸しビルや、ロードサイドのテナントなども空室が目立ち、増加するばかりである。新たに進出する企業も見つからず、これから空室が増えそうである。
		通信業（広報担当）	・しばらくはこの状況が続く見込みである（東京都）。
		金融業（従業員）	・取引先の中小企業でも、製造業を中心に海外取引の比重を高めて売上を伸ばしている企業は少なくない。ただし、英国のEU離脱問題以降、円高による取引状況の悪化が懸念される（東京都）。
		不動産業（経営者）	・新築物件がこのような状況とは考えられない。当社は一切おすすめていない（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・当社所有の賃貸ビルは、概ね好調に推移するとみているが、一部テナントの退室が予定されており、その後継テナントがなかなか決まらない。競合するビルも多く、賃料交渉で大幅な譲歩が必要となっている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・新規受注はないが、減少もない。増減の変化が止まったように感じる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士	・これまで言ってきたアメリカの景気が良いとか、中国バブルが弾けそうであるということ、また、英国のEU離脱問題、これらによって円高が進むとか、世界経済と日本が連動している。国内ではアベノミクスが引っ張っていると言っていたが、円高が進みそうだし、どんな展開になるか分からない。リーマンショックの再来、あるいはそれ以上になるとも言われており、読めない。円高によって3～4年前の形になって行くかと思っており、3か月前より悪くなるかもしれない(東京都)。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない(東京都)。
		経営コンサルタント	・下請部品メーカーの社長は、「発注先と年度初めに契約内容の見直しを行っているが、今年度は思うような見直し内容とならなかった。世界経済の不安定要素が多いからだろうが、発注先の慎重姿勢が目立ち、この状態は当面続くのではないか。」と話している。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕(経営者)	・現状が好転する要素は、取引先からあまり聞かない。さらにここに来て、ユーロ圏を震源とする経済不安がどのように影響してくるか心配である。
		その他サービス業〔情報サービス〕(従業員)	・受注量を大きく増減する要因は見当たらないため、今後も変化はない。
	やや悪くなる	食料品製造業(営業統括)	・英国のEU離脱問題の影響がどれほど出るのか不透明で、少なくとも兆しが明るいとは言えない。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・当社特有の季節的要因もあるが、受注量が増え景気が良くなるという傾向にはない(東京都)。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・円高の影響で外国人観光客の爆買いが一服し、頼りにしていた化粧品容器の受注が減少するとの情報が入り、警戒している。
		その他製造業〔靴〕(経営者)	・当社に関係のあるところや、一般的な周囲の状況でも、検品が厳しくなっている。今までは何でもなかった物が、返品になることがあるので、やや悪くなるような気がする。
		その他製造業〔化粧品〕(営業担当)	・景気の良い影響が一番遅く、悪い影響が一番最初に来る業態のため、世界経済の不安、円高、株安の影響が夏から秋に出てくる恐れがある(東京都)。
		建設業(経営者)	・世界的な景気の減退や国内政策の実効性が不十分のため、やや悪くなる。
		輸送業(経営者)	・海外での大きな出来事があり、それによって非常に金融関係も大きな打撃をこうむることが予想されるため、当分の間は、景気を支えていくという力に欠けて、押し流されてしまうような展開になるのではなかろうか。
		輸送業(経営者)	・前年同期の売上を下回る現状から、例年売上の落ち込みが大きい8～9月は更なる悪化が危惧される(東京都)。
		輸送業(総務担当)	・取引先より物流コストの見直しによるコースの減少や荷量の減少の話が出ている。また、人件費やガソリン価格の上昇、さらには、英国のEU離脱問題による市場動向の変化など先行きに不安もあり、厳しい状況は続く。
		金融業(統括)	・為替相場がこれだけ動いており、ユーロも落ち着かない状況にあるため、今後も下降傾向にあると思う。
		金融業(支店長)	・英国のEU離脱問題報道により、輸出企業にかなり影響が出ると見込まれ、国内景気の減速懸念が出始めている。
		金融業(営業担当)	・英国のEU離脱問題で円高、株安が当面続くのであれば、観光客向け売上減が予想され、小売業全体で売上が減少する。株安によりすべての業種に不景気感が及び、先行きに対する不安からも景気は落ち込む(東京都)。
		金融業(役員)	・少し上向きかけた景気が一気に減速し、設備投資計画を凍結する動きが出始めている。
		広告代理店(営業担当)	・英国のEU離脱問題により、市場の動きが変わる可能性がある。円安によるインバウンド客の恩恵を受け、売上を伸ばしていた取引先が多く、今後、円高になれば、それら企業の売上が減少し、宣伝費に反映するのではないかと(東京都)。
		経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題は、何らかの形で国際経済へ影響があるとみている。
		税理士	・英国のEU離脱問題も持ち越しているが、参議院選の与党以外の政策を聞いても、何ら景気の回復につながる要素は感じられない。与党の現在の政策のままでは、英国のEU離脱問題に引きずられてしまいそうである。新たな起爆剤がないと円高傾向に歯止めがかからないのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題が世界に影響をもたらしそうと、今後が不透明である（東京都）。	
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・例年、夏場は発注が控えられているが、特に今年は、円高や株安などで不安材料が多く、取引先でもあまり景気が良いという話は聞かない（東京都）。	
	悪くなる	繊維工業（従業員）	・英国のEU離脱問題により、世界経済が不安定になっている。日本も急激な円高、株安によって、消費者心理が冷え込んでいる。また、企業の収益面から、賃金の低下につながる恐れがある状況で、厳しいのではないかと（東京都）。	
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・自動車系広告案件が前年末から急激に減少し、今年のボーナス商戦時期に多少の回復を期待していたが、前年の半分近くに落ち込んでいる。回復の兆しが一向に見えない。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題により急速に円高となり、株価も下がり年末まで不安感が強い。また、11月まではアメリカの次期大統領も誰になるかが焦点になるため、良い材料がない。これらを受けて日本のメーカーの事業縮小などが予測され、不安感が強い。	
		輸送業（総務担当）	・鉄鋼関係の荷主の出荷量は、今後も国内は低迷状態が続く、輸出は英国のEU離脱問題で円高が続けば、出荷はほとんどなくなると考えている。	
		広告代理店（経営者）	・契約打ち切りになった分を補てんする商材が、現時点ではまだ見出せていないため、悪くなる。	
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・今後、英国のEU離脱問題による悪影響が及ぶ（東京都）。	
雇用 関連 (南関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・今期中に社員転換方針を確定させ、運用していく可能性が高い（東京都）。	
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・問い合わせが増えている（東京都）。	
		民間職業紹介機関（経営者）	・季節の変わり目は、はっきりしている方が良い。気持ちが変わり、環境や状況の変化を受け入れ易くなる。暑い夏を期待する声が多くなっている（東京都）。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・経営者の方々と話をしたが、参議院選に向かって、今のところ景気の良くなる話は何もなく、さらに英国のEU離脱問題等の話もあり、円高が進んできて、アベノミクスは何をやっているんだと、非常に不信感を持っている方が多い（東京都）。	
		人材派遣会社（社員）	・人材不足の状況が解消される見込みはない。	
		人材派遣会社（社員）	・景気回復の要因となりそうな事柄が見当たらない（東京都）。	
		人材派遣会社（支店長）	・派遣は受注増だが、派遣登録数は増えず、成約数は横ばいが続くとみている（東京都）。	
		職業安定所（職員）	・求職者の減少傾向もあり、人手不足業種を中心に求人倍率は上昇傾向で推移している。事業者にも求人募集の理由を聞くと、従業員の高齢化に対応した人材確保の募集との回答が複数ある。求人倍率の上昇は、景気状況というよりも、若年者等の人材確保のためである。	
		職業安定所（職員）	・企業の求人意欲は強いものの、求職者の減少傾向が続いており、応募者、就職者共に、減少している（東京都）。	
		民間職業紹介機関（経営者）	・国内の短期的な景気回復への期待は弱く、他の多くの不安要因が強く影響している。企業でも景気回復時の人材確保を常に考慮し対応は取っている（東京都）。	
		民間職業紹介機関（職員）	・新卒採用が一段落し、今後は中途採用に移行していくが、円高、株安の心理的側面がどう影響するかはまだ見えず、今のところ大きな変化はみられない（東京都）。	
		やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題により海外市場が不安定になっている。国内でも株価下落、円高等が長期化すれば景気減退の要因となり、先行きが不透明な状況にある（東京都）。
			人材派遣会社（営業担当）	・今は参議院選の特需で短期的な採用が増えているが、選挙が終われば、その分採用数は減少する（東京都）。
	人材派遣会社（営業担当）		・人材採用は、落ち着いてきている。例年夏場は求人、求職者の動きが鈍くなる傾向がある。3～4月ごろに求人が多く動いた反動もあり、求人景気は落ち着いて、若干悪くなる可能性がある。	
	人材派遣会社（支店長）		・英国のEU離脱問題により円高、株安等、商社、メーカーの派遣活用の減少が心配される。	
人材派遣会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題が原因で、景気は衰退する（東京都）。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・毎年6月以降の3～4か月間は求人広告数が増えるが、今年に限り15%ほどマイナスになっている。この時期にマイナスということを見ると、景気の上昇は考えにくい。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の前年度と比べた増加率が、下がってきている。また、高水準である有効求人倍率も、高止まりの状態となっている。
		職業安定所（職員）	・英国のEU離脱問題による株価低下と円高傾向のため、やや悪くなる。
	悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・一部企業の減速感に加えて、英国のEU離脱問題を敏感に感じた大手企業の様子見など、予算執行を見送る動きが加速すると予測する（東京都）。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・株価がここ数日で変動しているため、取引先等に影響がかなり出るのではないかと（東京都）。
		職業安定所（職員）	・英国のEU離脱問題の影響が進んでいくとみている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・英国のEU離脱問題による影響で、悪くなる（東京都）。

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)	良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・夏休みを控え、伊勢志摩サミットの効果も続く。
		乗用車販売店（従業員）	・オークションでの車の成約率が高く、良い価格で売れる車がたくさんある。客の動きが活発になってきている。全体的な雰囲気として、良くなっていくという印象である。
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・伊勢志摩サミットが終わり、国内外に地域の情報が発信されたので、夏休みはにぎわうものと期待する。
		スーパー（総務担当）	・お中元商品の販売予約数が、前年より出足が良い。
		スーパー（販売担当）	・夏休みに向けて、子連れ客の購買意欲が高まる。
		コンビニ（エリア担当）	・店舗の設備投資がほぼ完了し、日配食品等の生活必需品の品ぞろえが拡充している。テレビCMによる効果も期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の回復傾向が好材料である。
		家電量販店（店員）	・ラニーニャ現象の影響で暑い日が長く続くという予報なので、エアコンや冷蔵庫の販売が前年に比べて良くなる。前年が冷夏だったので、今年は良くなるように思われる。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・来年の新しい大型商業施設の開業に向けて準備が進み、地区の人口も増える。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・夏休みになり、人の動きが増える。
		旅行代理店（経営者）	・参議院選挙が終わり、特に悪い材料もないので、少しは景気も良くなる。
		タクシー運転手	・英国のEU離脱問題や円高、株安等、経済の先行きがわからないので、何ともいえないが、例年8月は、夏場の暑い時期やお盆シーズンで利用者も売上も増え、当業界の景気は良くなる。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・障害者の生活介護支援制度を利用する人が増加している。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の再延期により、駆け込み需要はなくなったが、今後は低金利のメリットから、購入客が増えると考えられる。
		その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・夏期休業中に改装工事をしようとしている企業が数件あり、現在、見積りや改装計画に立ち会っている。
	変わらない	商店街（代表者）	・全体的には良くなりつつあるが、世界経済の動きから先行きが見えなくなり、どちらともいえない。
		商店街（代表者）	・リオオリンピックを控え、AV商品の動きが良くなると期待していたが全く手ごたえがなく、むしろ悪くなっているように感じる。梅雨明けのエアコン販売に期待はしているが、良くて前年程度と見込まれる。
		商店街（代表者）	・必要以外の物は買わない状況が続く。自家用の商品が売れない。
		商店街（代表者）	・良くなる要素が見当たらない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・良い要素が全くなく、このままの状態が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・英国のEU離脱問題で円高となり、不安定な経済状況では消費に金が回らない。
		一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・夏のセール期に入り、ボーナスシーズンでもあるので期待は大きい。買物客は大都市に行ってしまう。大都市は新しいビルの開業で魅力が高まっているが、当地方には新しい目玉となる物が何もない。
		一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・夏期に向け例年並みの注引量が期待される。
		百貨店(経理担当)	・英国のEU離脱問題で世界的な金融危機や経済減速が懸念される。消費者の心理は、引き続き冷え込んだまま推移する。
		百貨店(販売担当)	・販促企画があるので集客や売上の目途は立つが、大きな好転は見込めない。
		スーパー(経営者)	・景気は、海外からのマイナスの影響で良くならない。円高は続き、輸入品は良いが輸出品はもうからない。英国のEU離脱問題は世界経済の足を引っ張り、長期的に影響を及ぼす。中国等の新興国の経済が良くないため、原油価格は引き続き安値が続く。原価の面ではプラスになるが、デフレ傾向が続き景気回復には貢献しない。9月ごろには夏物商材のバーゲンが本格化し、秋物商材に替わるが、消費者は消極的で売上は伸びない。
		スーパー(店長)	・今後大きく好転するような材料が見当たらない。客は、先行きに非常に不安を感じて必要な物しか買わず、非常に難しい。どうしても欲しい物には、多少高くても金を出すが、そうでない物にはほとんど手を出さない。
		スーパー(店員)	・ここ何か月、販売数量には変わりがなく、良くなる方向にはない。客の購入量は少なく、最低限の買物がずっと続いている。
		スーパー(店員)	・今年は例年以上に暑くなるそうなので、その影響がどう出るかによる。飲料やアイスクリームの売上は順調であろうが、肉や野菜等の売行きに不安がある。
		スーパー(企画・経営担当)	・先行きは参議院選挙の結果次第である。
		スーパー(販売担当)	・現状からは今後も変わらない。平日には競合対策の販促活動を始め、少しでも良くなればと思っている。
		スーパー(人事担当)	・円高傾向ではあるが、過去の例からも、急激に一層の円高にならなければ、現状と変わらない。
		コンビニ(企画担当)	・大幅に良くなる要因が見当たらないため、現状のような勢いの若干弱い傾向が続くと思われる。
		コンビニ(エリア担当)	・足元と変わらない状況が当面は続く。
		衣料品専門店(経営者)	・なじみ客の高齢化に伴う健康面が不安である。
		衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	・社会全体でみても、今より良くなる要素はないが、これ以上悪くなる要素もないと思われる。英国のEU離脱問題の影響が、実際にどの程度あるかは不安がある。
		家電量販店(店員)	・売上の内容は、最小限の買換え需要が多くを占めており、底を打っている。円高と株価の下落が不安要素である。
		乗用車販売店(営業担当)	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響で、販売台数の落ち込みが続き、回復する材料が見当たらない。
		乗用車販売店(経営者)	・取り立てて変わる要素があるようには感じられない。
		乗用車販売店(従業員)	・参議院選挙も終わり、リオオリンピックが始まるころには良い状態になると期待しているが、東京都がこのような状態では、オリンピックも白けたムードになり、とても不安定な状況が続く。
		乗用車販売店(従業員)	・新車の発表等もなく、増加が期待できる要素はないが、前年並みの販売台数は見込める。
		乗用車販売店(従業員)	・しばらくはこのまま低調な状態が続くように感じる。主力客層のファミリー世代が軽自動車に移ってしまい、普通車種が売れにくくなっている。わずかだが団塊世代の最後の買換え需要があるので、いかに取り込むかが重要となる。
		乗用車販売店(総務担当)	・暑い夏という予想で、消費は盛り上がりそうだが、英国のEU離脱問題が長引くと、消費者心理への影響が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経理担当）	・相変わらず消費者は節約志向が強く、将来に備えて出費を抑えるため、急激には変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・英国のEU離脱問題により、買い控える客も出始めている。今後どうなるかは不透明である。
		住関連専門店（営業担当）	・客は、本当に必要な物以外は購入を見合わせている。特に、新築住宅・マンションの購入や改修工事については、将来に対する不安で、もう少し様子を見ようという動きがある。ちょっとしたぜいたくという小規模な工事はあるものの、大きな買物については、買い控えがみられる。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・梅雨に入って売上が前年よりも1割ほど落ち込んでいるが、夏休みに向けてイベントを計画し、売上アップを目指す。夏休みはレジャーへの支出が増えるので、あまり期待できないかもしれないという不安もある。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・株価が下がり、宝石への関心がなくなりつつあると実感している。ただし、金製品には動きがあり、先行きも期待が持てる。
		高級レストラン（役員）	・夏のボーナス支給後に期待したいが、予約状況には勢いが無い。
		一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・自動車関連業の景気が良くないようなので、売上は現状から変わらないと見込まれる。
		一般レストラン（経営者）	・夏の間はイベントが多いため、良い状況が続くと見込まれる。
		一般レストラン（従業員）	・参議院選挙の結果にもよるが、一段落してみれば、それほど現状と変わらないと思われる。
		観光型ホテル（経営者）	・8～10月も団体需要は比較的好調に予約が入っている。県下での新たな話題としては、新東名の区間開通や伊豆地方の新しいつり橋くらいだが、比較的来客数は増えており、レジャー需要は潜在的にあると感じる。
		観光型ホテル（販売担当）	・夏のディナーショーには集客の目途が立ち、夏休み期間の企画商品次第ではあるが、前年並み以上を目標としている。当地域は製造業が多いため、英国のEU離脱問題の影響は少なからず出てくると思われるので、一般宴会・宿泊客の動きには注意している。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から先行きも変わらないと見込む。
		都市型ホテル（支配人）	・為替等の影響で、外国人観光客の動きが読めない。国内出張も同様である。
		都市型ホテル（経理担当）	・宿泊・宴会の予約状況は前年同期並みである。
		旅行代理店（経営者）	・予約の入り方は、例年よりも悪いようにも感じる。
		旅行代理店（経営者）	・ターミナル駅前の再開発で一時的には業績が良くなるが、長続きはしない。規制緩和が遅れば遅れるほど、新たな産業やサービスが生まれなくなってしまう。
		旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題では、我が国の経済への影響を懸念するニュースもあり、輸出関連の客層では、先行きの不安から財布のひもが固くなるような渋い話が出ている。
		旅行代理店（従業員）	・英国のEU離脱問題で、欧州への渡航者は一段と減る。リオオリンピックは、行政の視察見直し報道の風評被害の恐れもあり、観戦旅行客も少なく、経済効果は今一つである。
		タクシー運転手	・アベノミクスで格差が広がっている。
		通信会社（企画担当）	・大手自動車メーカーの燃費問題の影響も多少あるように思われるが、夜の繁華街は外国人でにぎわっており、当面は今のよう状況が続くと思われる。
		通信会社（営業担当）	・この先半年くらいは、現状のままの状況が続く。
		通信会社（サービス担当）	・工事費減額や月額利用料の割引等のキャンペーンが終了するため、新規契約の獲得は難しくなる。より安いサービスへの乗換えも増えてくる。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス時期であっても変化がみられないので、悪い状況のまま変わらない。
		テーマパーク（職員）	・足元の景況感のままで変わらずに、夏休みに入りそうな気配である。
		ゴルフ場（企画担当）	・入場者数の予約は、前年同日比よりもやや悪くなっている。8～9月は暑い時期なので、それほど入場者数は増えない。このまましばらくは、今とあまり変わりなく、予算的には少し足りない水準での推移が見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・消費税増税の再延期はプラスとなる。英国のEU離脱問題はありますが、国内だけでみれば、引き続き緩やかな回復が見込まれる。
		美容室（経営者）	・足元では雨が多かったので客足が鈍く、過去最低の売上が続いている。2～3か月先は真夏に入るが、暑くなってこれ以上客足が悪くなるのは困る。
		美容室（経営者）	・客の予定等を聞いても、決まってない人が多く、先行きもあまり変動はない。
		設計事務所（経営者）	・業務の総量にはあまり変化はないが、内容には若干の変化がある。耐震補強や住宅性能評価の依頼が増え、一般的な設計業務が減っている。
		住宅販売会社（従業員）	・英国のEU離脱問題も、2～3か月ではそれほどの影響はないと思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・新築住宅の建築よりもリフォームの物件が多い。不動産の売買は増えてきているという情報があるものの、新築住宅のニーズは少ないと思われる。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・消費税増税が再延期となったので、客足は遠のいたままである。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・あまり暑くなると消費は伸びない。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・英国のEU離脱問題で、株安や円高の基調がこれからも続く。景気としては徐々に悪くなる。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・最近あまり変わらない状況が続いていたが、英国のEU離脱問題で円高となり、大企業でも輸出関連企業は給与が上がらない。財布のひもは固くなり、一層節約の方向に向かい、贈答品を買わなくなる。
		一般小売店〔惣菜〕（店長）	・参議院選挙の影響で、ギフト商品の販売量が落ちる。
		百貨店（売場主任）	・高額商品には動きがなく、今ある靴を修理して履く人が増えており、新しい靴を買う客は少ない。売上はだんだん厳しい状況になってきている。インターネットの検索結果から当店を訪ねる客が増えているが、ネットの情報が更新されておらず、取扱のない商品の問い合わせも多い。
		百貨店（企画担当）	・中間層の衣料品離れが前年から続いているが、消費税増税の再延期の背景にある国内消費の低迷、英国のEU離脱問題をきっかけとした世界的な株価低迷、急激な円高等により、先行きへの不安から消費マインドは、今以上に冷え込む。
		百貨店（経理担当）	・為替相場や株価が不安定なため、消費マインドは低下していく。
		百貨店（販売促進担当）	・インバウンドの減少と株価低迷により、景況感の悪化が当分は続くと思込んでいる。
		百貨店（販売担当）	・英国のEU離脱問題により、景気の先行きには不透明感が増しており、富裕層の買い控えが進む。中間層等の一般客についても、消費を刺激する要因に乏しく、消費税増税が再延期となっても、購買意欲が減退している状況から、この先も好転するとは考えにくい。
		百貨店（計画担当）	・来客数、購入客数共に減っており、富裕層の購入単価も低下してきている。
		スーパー（経営者）	・先行きが良くなると見込める理由がない。
		スーパー（店長）	・恐らくどこも営業数字が厳しいためと思われるが、近隣の競合店舗では、主力商品の価格設定がかなり低くなっている。自店でも客を奪われるわけにはいけないので、応戦する予定である。
		スーパー（販売促進担当）	・英国のEU離脱問題等で、株価や為替等に影響が表れており、国内の景気にも悪い影響を与える。
		スーパー（支店長）	・英国のEU離脱問題等、経済の先行きには不透明感があり、企業業績も厳しい状況となりかねない。一般消費者にも少なからず悪影響が広がり、景気回復の鈍化が見込まれる。
		スーパー（商品開発担当）	・売上は前年実績を下回ることが多く、来客数も、最も悪かった5月に次ぐ悪さであり、客単価や1品単価も緩やかに下降している。回復する見込みがなく、景気はやや悪くなると思う。
		スーパー（営業企画）	・英国のEU離脱問題の影響で為替や株価が不安定となり、特に、輸出産業が中心の当地区では、生活防衛心理が強まる恐れがある。
		スーパー（ブロック長）	・英国のEU離脱問題で株価は下がり、円高傾向でもあり、先行きには不安材料が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（企画担当）	・リオオリンピックが近づいているが、英国のEU離脱問題はマイナスである。円高を克服して人や物の動きをより活性化させるような話題が欲しい。
		コンビニ（店長）	・消費税増税が再延期となり、景気回復が期待されたが、英国のEU離脱問題に伴う円高で、輸出企業の業績低下が懸念される。特に当地域は、自動車産業に頼るところが大きく、消費にも大きく影響すると思われる。
		コンビニ（店長）	・高齢者の購買意欲は以前とは変わらないが、子育て世代の客層は、決まった物以外は買わない傾向が、一層強くなっている。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・商品の製作依頼も減っており、全体的に悪くなっているように思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車種の投入効果も徐々に薄れ、ハイブリッド車受注の先行具合もそろそろ落ち着いてきている。足元では7～8人乗りの車種の受注が伸びており、ワゴン車の需要をテコに車に関心を持ってもらえればと期待する。
		一般レストラン（経営者）	・先行きがあまりに不安定で、生活者は外食等への支出に抵抗感がある。
		都市型ホテル（経営者）	・円高に伴うインバウンドの減少を心配している。英国のEU離脱問題もあり、景気は悪くなる。
		都市型ホテル（営業担当）	・為替や株式の状況によって、製造業を中心に祝賀会や接待等が、若干縮小傾向になっていくと思われる。
		旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題は円高に作用し、業界にとってはプラス材料であるが、景気全体には大きな影を落とす。どこまで影響するのかが見えないため、当面は、やや悪くなると見込んでいる。
		テーマパーク（職員）	・今後の世界情勢が見えない。
		テーマパーク職員（総務担当）	・これから夏にかけては、例年より暑くなる予想であるため、来客数が伸びない可能性がある。
		観光名所（案内係）	・この夏は、天候は良くない恐れがあるため、観光客の消費に影響する。
		パチンコ店（経営者）	・客先では、主力機種種の撤去等、監督官庁からの制限要請が何度か行われている。
		その他レジャー〔プロスポーツ〕（経営管理担当）	・円高の進行により企業収益が悪化し、広告収入に影響する。
		理美容室（経営者）	・客との話では、ボーナスは出るかどうかもわからないようで、あまり景気は良くない。
		美顔美容室（経営者）	・例年7～8月は、夏休みで来客数が減少する。
		美容室（経営者）	・当地域は人口流出で本当に大変である。若い女性の就職先がなく県内には戻らずに都会で就職するため、どんどん人口が減っている。若年人口が減ることは、経済的にはやはり良くない。
		設計事務所（職員）	・経済情勢も円高基調で、政策的な話題でも、景気が良くなるような話は聞かない。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の再延期、英国のEU離脱問題で、先行きは不透明である。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・時期的な要因で売上はあるが、新規契約の案件は内容が細かくなるばかりで、利益は減少している。足元の動きは前年実績を下回っており、景気が良くなっているとは考えられない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・足元の良好な売上も一時的なもので、恐らく好調は長く続かない。2～3か月先には、いつもどおりの水準に戻る見込みである。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・平日の飲食店では来客数が増える材料がなく、店主からは、来客数を増やす方法や他店での取組等についての相談を、行く先々で受けている。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・参議院選挙後には景気対策の実施も見込まれるが、英国のEU離脱問題の影響が大きく、先行きがほとんどわからない不安感から、景気は悪くなる。
		コンビニ（商品開発担当）	・年金や給料の支給日の前は売上が非常に低迷する。セール品の動きは良く、酒類でもアルコール度数の高い割安な商品の動きが良い。商品の選び方や買い方から、客には余裕がないことが伝わってくる。更に英国のEU離脱問題が株価の低迷を招き、一層の消費の冷え込みを招くと見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・世界経済の先行きには不透明感が強まり、実態経済にも悪影響が及ぶことを懸念する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		その他専門店〔雑貨〕 (店員)	・円高の影響が懸念され、実際にどの程度で落ち着くかはわからないが、消費マインドには非常にマイナスである。	
		一般レストラン(経営者)	・好転する要素が見つからない。	
		スナック(経営者)	・株安でますます節約を考えるようになり、景気回復は見込めない。	
		その他飲食〔仕出し〕 (経営者)	・世界経済がより一層不安定になれば、国内経済もその影響を免れない。	
		理容室(経営者)	・地方では、まだまだ景気が良くなるとは思えない。	
企業 動向 関連 (東海)	良くなる	-	-	
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・客先の生産計画が、上向きになっている。	
		輸送用機械器具製造業 (デザイン担当)	・仕事の受注が増えてきている。今後も増えそうなので、やや良くなると見込んでいる。	
	変わらない	食料品製造業(営業担当)	・業況が回復する要因がなく、現状維持が精一杯と感じる。	
		食料品製造業(経営企画担当)	・英国のEU離脱問題に伴う円高や株安等、重苦しいニュースばかりが目立ち、先行きは消費マインドの冷え込みが心配される。	
		化学工業(営業)	・現状以上に原料の仕入れ価格が下がる見込みがない。	
		化学工業(総務秘書)	・英国のEU離脱問題の影響は、まだ市民にまでは広がらない。日本でも格差が広がっているといわれるが、デパートや100円ショップに行くと、客層の違いからそのように感じる。	
		金属製品製造業(従業員)	・プロジェクトが動き出すことに期待をしているが、すぐに忙しくなる状況ではないという声が多い。	
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・受注量、生産量共に大きな変動はない。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・業種によっては、回復基調にあると感じる客もあるが、全体的には下降傾向が続く。中国向けの輸出等は、若干回復の感もあるが、国内向けは相変わらず低迷が続き、国内の設備等についても今一つである。	
		建設業(経営者)	・消費税増税の再延期はプラスであるが、消費者の先行きに対する不信心は根強く、しばらくは様子見が続く。デフレ脱却は容易ではない。	
		建設業(営業担当)	・点検業務等を行う上では、下水道の普及で対象施設が減っていくため、業況は悪くなる。会社としては、付帯設備の修理を取り扱っていく方針であり、この先2~3か月では表れないかもしれないが、変化は徐々に出てくる。	
		通信会社(法人営業担当)	・英国のEU離脱の正式な決定は9月以降のようだが、先行きは全く見通しが立たない。	
		金融業(従業員)	・今のところ大きな動きはなく、客先の生産量等も変わらない。この先も景気の推移は横ばいである。	
		広告代理店(制作担当)	・景気が良くなりそうな材料は見つからず、良くて現状維持という状況が、しばらくは続きそうである。	
		公認会計士	・英国のEU離脱問題で円高が進み、輸出型企業の業績悪化が予想される。労働者不足による人件費の上昇についても、解決は見込めない。	
		その他非製造業〔ソフト開発〕(経営者)	・為替相場は予想以上に円高となり、この先2か月ほどは不安定な状態が続きそうである。企業としては、引き続き開発を続けていく必要性を感じている。	
		やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品 製造業(総務担当)	・英国のEU離脱問題を受けて、今後も円高、株安が進み、その影響で景気はやや悪くなる。
			印刷業(営業担当)	・中小企業では、給与が上がらない会社、ボーナスが出ない会社や廃業するところが見受けられる。大手企業と中小企業との差が、かなり出てきている。このまま格差は広がり、中小企業はどんどん減っていく。
			窯業・土石製品製造業 (社員)	・急激な円高により、海外製品の価格が安くなりつつある。値下げによる対応を余儀なくされる可能性が高い。
		鉄鋼業(経営者)	・リオオリンピック等、良い要因もあるが、目先の具体的な仕事としては、地域の中小企業が感じられるような好材料が見当たらない。	
		一般機械器具製造業 (営業担当)	・円高になっているが製品の価格を上げることができず、利益を圧迫している。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・客先のチェーン店での店舗リニューアルが一段落し、当社製品の出荷が少なくなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ 今後は円高の影響が顕著に表れてくる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・ 英国のEU離脱問題により円高が進行しており、経営に重くのしかかりそうである。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・ 英国のEU離脱問題が、世界経済に対してマイナスの影響を与える。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・ 輸出依存度が高いため、今後円高が更に進めば、大きな影響を受ける。
		輸送業（従業員）	・ 世界的な不況への懸念があり、国内景気の冷え込みが、更に加速しそうである。物の動きは悪くなる。原油価格の変動による燃料費の増減が、物流業者の業績を左右するが、やや落ち着いていることが救いである。
		輸送業（エリア担当）	・ 世界情勢が非常に不安定になってきたので、心理的に荷動きが悪くなる。
		輸送業（エリア担当）	・ 人手の集まりが悪く人件費が増加し、経費の増加が売上の伸びを上回っている。
		通信会社（法人営業担当）	・ 英国のEU離脱問題は、我が国の経済に直接は影響しないと考えるが、世界的な金融不安の余波が、景気にも影響を与える可能性がある。
		金融業（法人営業担当）	・ 円高基調が見込まれ、自動車輸出の減少が、国内の自動車部品メーカーの受注減につながることを懸念する。
		金融業（企画担当）	・ 英国のEU離脱問題の影響で今後の相場が不透明なことから、個人の投資家は様子見となる。含み損を抱えている人も多く、個人の購買意欲が衰えていくように感じる。
		不動産業（経営者）	・ 今後も売買価格の低下や買い控えが続くと考えられる。
		不動産業（用地仕入）	・ 英国のEU離脱問題の金融市場への影響が懸念される。
		企業広告制作業（経営者）	・ もしEUを離脱する国が続けば、世界情勢はいっせいに保守的傾向を強める。自国主義は経済発展にとってマイナス要因でしかない。為替相場の推移も不透明で、株価も下降傾向にあり、景気の回復を見込むのは難しく、足踏みか、やや悪くなると考えるのが妥当である。アベノミクスは、一貫性に欠け実体が伴わないことがつかわれる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・ 世の中の雰囲気、金を使わない方向に、また戻っているように感じる。
		行政書士	・ 貨物量が少ないため、荷主を探しているとの業者の声を聞く。
	会計事務所（職員）	・ 東京都知事による政治不信や英国のEU離脱問題に伴う株安や円高が進めば、企業の業績は大きく落ち込み、賃金の減少や一層の消費意欲の減退につながりそうである。	
	会計事務所（社会保険労務士）	・ 自動車関連業の客先では、ここ2～3か月は売上が減少している。夏の賞与に影響すれば、賞与による消費も減少しそうである。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・ 他に仕事がないために公共案件に参加する会社が増えており、低い単価で落札し始めている。	
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（代表）	・ 消費税増税は再延期になったが、英国のEU離脱問題に伴う円高、株安の影響が当面は続く。消費者の節約志向は一層強まり、結果的に売上也落ち込む。
		化学工業（人事担当）	・ 英国のEU離脱問題により、世界的な混乱が当面は続く。円高が長期化すれば企業業績を悪化させ、株安により人々の不安も増し、景気はしばらく低迷すると思われる。
金属製品製造業（経営者）		・ 引き合いが減少しており、先行きは悪くなると思われる。	
輸送業（経営者）		・ 生産財系の物流量が国内、輸出入共に低めという見通しが出たところに英国のEU離脱問題があり、荷主は、世界景気に対して弱気な見方を持つ。一方で、運転手等の現業職員の不足は、更に深刻になっている。	
輸送業（エリア担当）		・ 英国を始めとする欧州での動きが、我が国の経済に及ぼす影響を考慮せざるを得ない。国内には景気の低迷、下降要因は見当たらないが、海外での大きな動きが不安要因として国内経済に与える影響もあり、先行きは悪くなる。	
雇用関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ 今年度の新卒採用者の教育が一段落し、派遣社員の活用や中途採用の動きが出てくると見込んでいる。下期に向けての採用計画も動き出すものと考えている。
		人材派遣会社（支店長）	・ 求人数の動きが好調な一方で、求職者の確保は難航している。しかし、前年同期比で1割程度の採用数の増加が続いていくと見込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当）	・製造業や運輸業の採用説明会では、外国人留学生も対象とされてきており、採用数の拡大と企業の積極性を感じる。
		人材派遣会社（社員）	・法人関係の大口予約があり、現状から引き続き、良い状況が続く見込みである。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・英国のEU離脱問題や円高傾向等で、自動車輸出の先行きは不透明である。一部の国内自動車メーカーに対する信頼感が薄れ、受注減につながっている。
		職業安定所（所長）	・業績は、決して高い水準ではないが安定しているという声が聞かれる。改善や上昇という声は、このところ聞かず、今後についても明るい展望を持っているといった情報には接していない。
		職業安定所（職員）	・求人数や求職者の減少が続いている。
		職業安定所（職員）	・足元の動きはしっかりしているが、円高が急速に進み、自動車部品製造業では景況感は悪くなっている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・難易度が高い求人案件ばかりが残る傾向から、今後も変化は特にないと見込んでいる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題の影響は今一つ読めないが、大手自動車メーカーの業績が地域経済を左右するので、先行きは少し悪くなると見込む。
		人材派遣会社（社員）	・企業の要望を満たす人材の不足で採用活動が滞るため、企業の生産性が落ち込む可能性がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・円高局面では、景況感に少なからず不安が生じる。英国のEU離脱問題も絡み、為替が不安定になることで、輸出に関連する製造業では、経費予算を絞り込む可能性があり、様々な業種・業態への悪影響が必至と考える。実際にどれほどの影響があるかは見通しが立たないため、差し当たり、やや悪くなる程度と見込む。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワンコインランチの時代から更に進み、300円弁当の人气が続けば、間違いなく飲食店は減少する。弁当店の行列を目にすると、景気が良くなるとは考えにくい。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・不安定な株価も要因となって、設備投資も少なくなる。
		職業安定所（職員）	・中国経済の減速や熊本地震の影響があるなかで、英国のEU離脱問題によって、先行きが更に不安定な状況となっている。
		職業安定所（職員）	・熊本地震と大手自動車メーカーの燃費不正問題が、今後中小企業に影響を及ぼす懸念がある。当所管内にある大手メーカーの処分次第では、雇用調整を行う企業が出てくることも考えられる。
民間職業紹介機関（支社長）	・円高が製造業の業績に影響する。		
悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題により、景気の先行きが読めない。	

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	スーパー（店長）	・特にこう変わるという具体的なものはないのだが、客の状況を踏まえた商品展開や売場展開を今後は進めていこうと考えている。この夏は店への客の支持を集めていこうと考えている。
	変わらない	商店街（代表者）	・例年通りの動きである。
		商店街（代表者）	・これといった消費活性化策もなく変化の兆しが無い。前回の消費税増税までは景気は上向きだったのだから、消費税を減税するなどの思い切ったてこ入れでもしない限りこの傾向は覆らない。
		商店街（代表者）	・参議院選挙、及び英国のEU離脱問題などの景気への影響が心配されるが、当面は大きな変化はないと考える。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・今月は売上が順調に伸びているが、今後、円高が加速するとインバウンド客が減ってくる。今後については不透明な点が多い。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・数か月先の見込み案件が少なく、商談の掘り起こしもあまり期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	・急激な消費の増加は見込めないが、落ちることも考えにくい。ただ、このところの英国のEU離脱問題による急激な円高がインバウンド客に影響が出なければとの懸念はある。
		一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・現状が続けば良いという状況で、魅力的な新商品もなく、よくなる要素が見当たらない。
		百貨店(営業担当)	・セールがスタートするが、安くなったからといっても客単価は低くあまり期待できない。
		スーパー(総務担当)	・英国のEU離脱問題で大きな影響はすぐには出ないと考えている。また、求人に対する応募がないことから、依然として新幹線効果もあって景気は維持されており、当面は変わらないと考えている。
		スーパー(店舗管理)	・来客数が減少傾向で前年と同程度の確保が困難な状態である。
		コンビニ(経営者)	・今の品ぞろえの強化に関しては、予算の補てんがあることからできていることで長続きするとは言えず、今の現状を維持するのが精一杯である。また、客もついでに買うというのは少なく目的の商品を買っていく。それだけを買っていくという客が相変わらず多いのが現状である。
		コンビニ(経営者)	・今年の夏は非常に暑くなると予想されており粗利率の高い飲料の伸びを期待しているのだが、ほかの面で基本的な状況に変化はみられない。
		コンビニ(店舗管理)	・来年の新卒の求人活動も難航している。人手不足から、店内調理品の製造削減も視野に入れる。
		衣料品専門店(経営者)	・英国のEU離脱問題を懸念している声をよく聞く。元々、景気の悪い地元の小売業界でどのような影響があるかは見通せないが、向う3か月の予想としては現状を継続する見込みである。
		家電量販店(店長)	・残暑が続けば期待も上がるが、必要品しか買わない傾向が強くなりそうである。
		家電量販店(店長)	・前年比で季節商品の動きが早く実績は伸びているが、その他の家電の実績が低迷している。実績が季節要因によるものなので、これからの消費の伸びに対しては不安がある。
		乗用車販売店(経営者)	・軽自動車の販売比率が大きい地方都市なので、2か月くらいは自動車販売の落ち込みが続く状況である。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車に期待しているが今のところ問い合わせなどは多くない。
		乗用車販売店(役員)	・景気は別としてマイナーチェンジ車が2車種程あるので当面はしのげるであろうし、修理部門が堅調に推移しているので前年並みには行けると見込んでいる。
		自動車備品販売店(役員)	・例年の同時期と比べて見込み客数、予約件数が下がっている。節約志向が強く金額に敏感でボーナス商戦の期待が感じられない。
		住関連専門店(役員)	・直近では来客数や買上点数の増加などの回復傾向がみられたが、ここ数か月の激変する世界経済による先行き不安や相変わらず高騰している原材料費によって店頭価格が上昇しているため、消費マインドの足踏み状態は依然継続するものと考えられる。
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・これ以上は悪くならないのではないか。世界情勢が右往左往しているが自分たちのところまでは影響がないと考える。
		高級レストラン(スタッフ)	・前年度は北陸新幹線の開業効果で全国大会や学会などの大型コンベンションがあったが、今年に入りコンベンションなどはあっても規模が小さく集客効果は薄くなっている。
		観光型旅館(経営者)	・7～8月も先行予約が前年以上の数になっている。
		観光型旅館(スタッフ)	・6月以降の予約状況は前年比で77%～83%で推移している。昨年の勢いはなくなり通常の予約になっている。
		都市型ホテル(役員)	・宿泊部門は、北陸新幹線開業以降は順調に推移してきたが、円高の影響が今後懸念される。宴会部門は大型の会合開催で微増の見通しで、全体では変わらないと見込んでいる。
		旅行代理店(所長)	・オリンピック開催が迫っているが特に問い合わせもなく新しい動きが見られない。
		タクシー運転手	・観光客を中心に大きな変動はない見込みである。平日は利用客が少なく週末や休日のタクシー利用に期待がかかる。
		通信会社(営業担当)	・販売量がほぼ横ばいで推移しており、前年比で変動がみられない。
		通信会社(役員)	・高速通信に対するニーズは今後も継続する見込みで、光通信サービスの獲得件数は現状の好調さを当面は維持できると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		通信会社（営業担当）	・最近では故障修理の客が多く、なるべく長く今の機種を利用したい意向が目立つ。	
		通信会社（店舗統括）	・新商品の予約状況はまずまずなので期待したいところだが何とも言えない。	
		通信会社（役員） その他レジャー施設（総支配人）	・2～3か月先で上振れになる要因があまり見当たらない。 ・夏の子供向け特別教室の募集を開始したが、とても出足が鈍く追加の販促が必要になってくるかも知れない。	
	やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・英国のEU離脱問題に伴う世界同時株安及び円高急進など今後の先行きが不透明であり、消費を刺激する好材料が見当たらない。	
		百貨店（営業担当）	・これから夏休みやお盆で、行楽などが本来活発になる時期であるが、景気の低迷で消費自体は必要最低限度のもの以外は買わない状況である。富裕層といわれている層についても同様で、おそらく高額品がほとんど動かなくなるため先行きは大変厳しい状態である。	
		スーパー（店長）	・天候不順で長雨が続き、生鮮品の相場も安定せず、今後もその影響が懸念される状況である。	
		スーパー（総務担当）	・景気が良くなる要素がなく、来客数、買上点数の減少がしばらく続く。	
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず売上は低迷しており上向く様子が見えない。店頭は非常に厳しい状態が続いている。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・昨年度の競合店オープンの影響がこの夏で1年経過するため、それ以降は前年比は改善すると思われるが前々年の水準までは改善しないと考える。また、広域からの集客では隣県の駅前商業施設のリニューアルの影響が出ると考えられる。	
		一般レストラン（店長）	・選挙もあるため人があまり動かない。また、英国のEU離脱問題などの影響も少なからず悪い方に出ている。	
		一般レストラン（統括）	・英国のEU離脱問題による株安円高傾向のニュースが流れることで客の心理的不安要素が働き始める。これは外食産業にとって再び低価格競争を引き起こして利益を圧迫するなど悪い影響を与える方向でしかない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・急激な円高でインバウンド客の減少を懸念している。	
		タクシー運転手	・このところの急激な円高と株安の影響か、少し節約ムードになっているようである。	
		競輪場（職員）	・業界全体としては良くなる材料はなく来客数が減少傾向にある。	
		美容室（経営者）	・英国のEU離脱問題で消費者心理が冷え込んでいく。	
		住宅販売会社（従業員）	・技術者や職人不足が顕著になってきており、今年の完工高は予定通り工期が守れるかにかかっている。また、客の動向が今一つ読み切れず、今後計画通りの受注量確保は難しい局面になってきている。	
		住宅販売会社（従業員）	・新規客の動きが少ないが、金利低下に敏感な客が動いている。景気の悪化を懸念する話が多く様子見の雰囲気が強くなりそう。	
		住宅販売会社（従業員）	・英国のEU離脱問題による円高株安で不安や戸惑いがあり、客の動きが鈍くなる。	
		悪くなる	コンビニ（店長）	・英国のEU離脱問題など、景気が悪くなる情報が盛り沢山である。また、自店舗では売上の横ばいが続いているが、同一チェーン店の県平均売上はどんどん下がっている。数年前までは県全体で上位2割に入る程度の売上だった自店舗が、周りの売上減により県内ベスト5位程度にまで押し上げられている。同業者からは景気が良いよう見られるが横ばいが続いただけである。そういった状況のため、やはり不景気慣れが景気回復と混同されているのではないかと考えさせられる。横ばいが続く現状を好景気と感じてしまうほど現状の景気は悪いと判断する。
			その他小売〔ショッピングセンター〕	・海外の不安要素の情報が多すぎる。国内の景気対策や市場への直撃が心配だ。
スナック（経営者）	・国外の要因により、マイナスの連鎖反応がすぐに起こる時代。先々のマイナス要因が多く感じられることから、少し希望が持てない。			
通信会社（職員）	・身の回りどころではなく経済に素人の自分にも、英国のEU離脱問題による円高、株安が中小企業に直接ではなくても影響することは分かる。また、熊本地震や選挙による停滞に輪をかけて景気への不透明感、不安感の増大は想像に難しく、さらに停滞することは避けられない。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（役員）	・国内の団体、インバウンド客の予約数は前年と比べると2桁の減少になっており、さらに円高になる予想もあるため状況は悪くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・景気の先行き不透明感が、個人所得および個人消費の減少につながり、販売高が減少する見通しである。
企業 動向 関連 (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（役員）	・販売価格の改定が秋から実施されることと、原材料価格が下がってくることから状況は良くなっていく。
		化学工業（総務担当）	・受注量が増加予定である。
		建設業（経営者）	・景気浮揚のためには上半期の公共工事の発注に本腰を入れざるを得なくなるであろうと期待している。
		通信業（営業担当）	・大規模、中規模企業が通信環境の整備を図っているようである。顧客情報、会社情報を守るための投資が徐々に出てきている。中小規模でもその後つながってほしい。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・英国のEU離脱問題が世界各国の株価、為替市場に影響を与えているが、今後の行く末は全く未知数であり、今回の市場の反応は一過性のものとする。各国において今回の出来事をネガティブに捉えれば以前より厳しい状況となるが、必ずしも各国の経済環境は悪くないと思えることから、回復基調で推移するのではと考える。
		輸送業（配車担当）	・円高、政治の先行き不透明な現状では急速に景気は良くなるとは考えにくい。
		司法書士	・抵当権設定のほとんどが借換案件で、新しい資金の需要によるものが少ない。
		税理士（所長）	・これから先は年度変わりの予算執行が本格化してくる。円高によるマイナス、あるいは消費が伸びないマイナスに対して公共関係の投資が増えてくることから、その面での生産、あるいは中小企業の業務が増加するということがありプラスマイナスで変わらないのではないかと考える。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・先行きが不透明な状況で受注環境が厳しい。特に衣料分野ではデフレが続いており、価格面で苦戦を強いられている。
		繊維工業（経営者）	・英国のEU離脱問題で円高、株安が当面は続く見込まれるので受注状況は非常に厳しくなる見通しである。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・全体として非常に不透明だが、英国のEU離脱問題による影響はマイナスに振れる可能性が大きいと考える。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合から判断した。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・半期で国内、北米市場は昨年並みの受注であるが、今回の英国のEU離脱問題により欧州市場は更に悪化し、国内と北米市場も低下するのではと懸念している。
	精密機械器具製造業（役員）	・不安定な国内外マーケットの状況に加え英国のEU離脱問題で、更なる円高や株価などへの悪影響、ユーザーの購買意欲の低下などが懸念され、好材料は一向に見えない状況である。	
	建設業（役員）	・特に当地域においては受注価格競争が徐々に拡大する傾向で、さらに受注環境の悪化が見込まれる。	
	輸送業（配車担当）	・円高が止まらず先行き不透明な状況である。	
	金融業（融資担当）	・英国のEU離脱問題が特に欧州景気のネガティブ材料である。当地区に依存する輸出産業のみならず、円高の影響で機械、繊維機械、建機などの製造業、それに連なるサプライヤーへの悪影響は避けられないという声も出ており、心理的にも厳しくなる。	
	不動産業（経営者）	・最近法人需要で動きがあり、少しずつではあるが個人でも問い合わせが始めている。しかし、一時的なもので、この先は厳しい見通しである。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・2008年の米国の大手金融機関の破綻後、折込チラシの出稿量は一気に下がり落ち込みが戻らない状況に至っている。今回の英国のEU離脱により以前と同じくらいまで出稿量が落ち込むのではないかと懸念している。	
	悪くなる	金融業（融資担当）	・英国のEU離脱問題で円高が進行している。自動車関連業種は自動車メーカーの単価引き下げ要求が厳しくなると思われている。
雇用 関連 (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・求人、求職は現状において悪化する要因が見当たらない。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・受注先には一定期間就業した場合に派遣社員から正社員登用を依頼しているが、思うように進んでいない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・短時間や短期、単発勤務の求職登録者は多いが、長期のフルタイム勤務の登録者は少ない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用につながる話が出てこない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・社会情勢は不安定ではあるものの就業者数は高い水準にあり、消費状況は大きく変わらないと考える。
		職業安定所（職員）	・受注は増加しているが利益が上がらないという事業所の声も多く、景気が良くなったという実感が少ない事業所が多い。
		職業安定所（職員）	・5月の有効求人倍率は1.51倍と、依然高い水準にある。一方で英国のEU離脱問題による株安や円高に対して不安視する声が聞かれたが、まだ影響は出ていない。ただ、不透明なことは確かである。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人は、しばらくは4月入社の要員などで充足されているようであり活発でなかったが、夏場以後で増加の可能性はある。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・円高傾向にあり、本学の学生の主な就職先である製造業に影響が出てくると考える。求人件数の出方も6月に入ってあまり伸びていないのが気になる。また、英国のEU離脱問題もあり世界経済の不安定な状況がこしばらく続き、製造業に影響が出てくると考える。
	悪くなる	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題や、参議院選挙によって、生活にどれほどの影響があるのかが分からない。ただし、夏休みに入れれば、インバウンドの動きも激しくなってくるため、景気が悪化する要素は少ない。
(近畿)	やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街に客足が戻り、通常の動きとなっている。なお、商店街では客の来店頻度を上げるために、偶数月にスタンプラリーによる抽選会を行い、奇数月に使用できる各商店のクーポンを配るなど、客の確保に努めている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新規得意先の店舗オープンや新規ギフトの受注があり、売上の増加が見込まれる。
		スーパー（企画担当）	・野菜の相場が少し上向きになっていることに加えて、夏物衣料の動きも良い。
		スーパー（企画担当）	・7～8月は売上も増える。6月後半からは若干であるが回復基調にあるほか、気温の上昇や天候の回復に合わせた売場の展開、夏物商品に対する客のニーズへの対応などで、更にも上積みできる。状況に応じた対応が重要である。
		コンビニ（経営者）	・ファーストフードや弁当、サンドイッチのほか、コーヒーの売上がまだまだ伸びそうで、客単価、客数共に上向くことが期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今年は猛暑ということで、ひきたてアイスコーヒーやフラッペ、カフェラテなどが多く売れ、来客数が増えると同時に、プラスワンの購入にも期待できるため、売上に貢献する。
		コンビニ（店員）	・梅雨が終われば、来客数も普段どおりに戻る。ボーナスの時期なので、もう1品を購入する客が増えることも期待できる。
		コンビニ（店員）	・暑さで飲料、アイス類の購入が増えており、外国人観光客も増えている。
		家電量販店（店員）	・去年は冷夏であったが、今年の夏は暑くなるという予報であり、エアコンの需要増が期待される。冷蔵庫のほか、リオオリンピックの関係でテレビの需要も増える見通しのため、景気は上向きになると推測される。
		高級レストラン（スタッフ）	・本格的な夏に向けて、ビールやシャンパンなどの消費が増え、客単価も上がる。
		観光型旅館（経営者）	・先の予約については、まだ動きがみられる。
		旅行代理店（経営者）	・消費税増税の先送りのほか、英国のEU離脱問題に伴う円高傾向は、消費者目線でいえば海外旅行の需要拡大につながる。
		タクシー運転手	・暑さでタクシーの利用率は少し上がるが、景気が良くなったわけではない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・地方経済が再び失速し始めているように感じるが、今後は、格安なインターネットサービスや、自宅でのテレビ視聴が再度盛り上がってくることが予想される。
		競艇場（職員）	・売上全体もほぼ順調で、全国発売されたスペシャルグレード競走の売上も好成績であった。今後も上向くことを期待している。
		美容室（店員）	・今夏の気温は高くなることが予想されるなかで、当店は顧客の年齢層が高く、夏場は外出を控えるとの声が多く聞かれるため、秋口に来店が集中すると予想される。
	変わらない	一般小売店〔時計〕（経営者）	・予報では、今年の夏は猛暑になるといわれている。今以上に人の出足が鈍くなりそうで、かなりの落ち込みが予想される。また、地域の商店街でも夏祭りを企画するなど努力をしているが、子ども中心のイベントでは、親の財布を緩めるには程遠い。暑さに立ち向かえるだけの材料は見当たらず、かなり厳しい。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・選挙が行われる月はなぜか消費が低迷するため、夏休みへの影響が気になるが、ゴールデンウィークなどの様子をみてみると、食品販売に関する景気は決して良くならない。特に、競争が激化している分野でもあるため、悪く感じているのかもしれない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・変わる要素が全くない。
		百貨店（売場主任）	・百貨店の中・小型店や郊外店を取り巻く環境は厳しいため、今後については楽観視できず、少しでも食料品を中心に前年レベルの確保を目指したい。
		百貨店（売場主任）	・円高、株安傾向のなかで、消費マインドの回復には時間がかかる。
		百貨店（企画担当）	・前年にインバウンド売上が急増した反動の影響は、今年の10月ごろまで続くため、売上の減少傾向が続くと予想される。
		百貨店（営業担当）	・セール商戦は前倒しとなるが、今までの状況から現状維持が精一杯である。改装後の新ブランドによるセールに期待したい。
		百貨店（商品担当）	・争点が決まらない参議院選挙や、英国のEU離脱問題など、消費税増税の延期による景気浮揚効果を持たずに、厳しい状況となっている。中国経済の先行きや米国の大統領選挙など、内需の先行きを含め、決して楽観できない状況は今後も続くと思われる。
		百貨店（営業企画）	・世界経済の混迷や、米国の利上げの見送り懸念のほか、円高、株安など、外部環境が非常に悪く、個人消費が低迷する。ただし、英国のEU離脱問題は比較的早期に落ち着くとも考えられ、政府や日銀の主導による景気回復を期待している。
		スーパー（経営者）	・リオオリンピックは開催されるが、英国のEU離脱問題による景気の先行き不透明感のほか、円高による企業業績の悪化が懸念される。参議院選挙もあるものの、社会保障などの将来不安の払しょくは難しく、財布のひもが緩くなる可能性は極めて低い。その一方、ラニーニャ現象による梅雨明け以降の猛暑予想が、過去2年続いた夏物商戦の不振の反動増につながると期待する。
		スーパー（店長）	・今月の伸びは一時的なものである。2か月前までは昨年を少し下回る推移であったため、その動きが今後も続く予想している。
		スーパー（店員）	・これからはスイカや桃などのフルーツがよく売れ、野菜も単価が下がる一方、雨が続きと値上がりする可能性もあるため、あまり変わらない。
		スーパー（社員）	・今後も競合が厳しくなることが予想され、店舗の売上は大きく伸びないという危機感を持っている。そのなかで、当社を含めた各社が積極的な需要喚起に取り組んでいるため、全体的な消費は当面堅調に推移すると考えている。
		コンビニ（店員）	・まだまだ節約志向が続くため、大きな変化はない。
		コンビニ（店員）	・景気がこの先も良くなっていく気配がない。
	衣料品専門店（販売担当）	・客の購入頻度は上向かず、現状維持のまま推移する。	
	家電量販店（経営者）	・消費者の財布のひもが緩くなる要素が見当たらない。当面は消費を抑制する傾向が続くと感じる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（企画担当）	・今年の夏は良くない経済環境にあるものの、猛暑の予報であり、季節家電を中心に動きが出てくることで、結果的には相殺される。
		乗用車販売店（経営者）	・車検や新車の予約台数が伸びず、一般修理の入庫台数も少ない。
		乗用車販売店（営業企画）	・変わらないというよりも、分からない。
		乗用車販売店（販売担当）	・販売台数が安定してきている。
		住関連専門店（店長）	・受注案件は増えているが、単に当社が宣伝営業を強化したからであり、景気回復の影響ではない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・7月は参議院選挙があるため、落ち着かない。そのほかの環境にも良い材料は少ないが、ボーナス時期であるため、化粧品、健康食品には力を入れて販売していきたい。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・経済的に良くなる気配はないので、食品業界も良くなれないと思われる。更に下降する可能性の方が大きい。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新しいカタログも出るため、しばらくはこの状態が続く。
		一般レストラン（企画）	・英国のEU離脱問題による日本経済への影響がどの程度になり、それが個人消費にどのような影響を与えるかが分からない。大きくは変わらないものの、やや悪くとも予想している。
		一般レストラン（店員）	・来店客には、仕事を持っている人よりも、年金をもらっている年配層が多いため、今後も来客数は大きく変わらない。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・単価を上乗せしても、消費者にはすぐに見抜かれていると感じる。商品価値を高める必要があることはよく理解しているが、原料高などを考えると、なかなか案が出ない。景気が上向きような材料も見当たらず、厳しい状況が続くと思われる。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今夏は猛暑の予報であるが、猛暑になると外出が減るため、自動販売機にはあまりプラス材料がない。
		観光型ホテル（経営者）	・7～8月はインターネット予約などで、ある程度は順調に先行予約が入ってきている。ただし、最終的に前年並みにまで伸びるかどうかは、予断を許さない状況である。
		観光型旅館（経営者）	・天候に左右されるが、比較的良いと思われる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会や食堂部門は、予約数も明らかに上向いているが、宿泊部門の予約は伸び悩んでいる。今後のインパウンドの動向に左右される部分はあるが、国内旅行やビジネス利用に関する企画によって集客していきたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は増収で、宴会は停滞という状況が続く。特に、宴会の先行予約が悪く、既存客による会合の動きが鈍い。
		都市型ホテル（客室担当）	・夏休みの需要などに昨年ほどの力強さが無いほか、円高によるインパウンドの低迷が重なるため、厳しい状態が予想される。宿泊は何とか持ちこたえているが、宴会、レストランは苦戦している。
		都市型ホテル（管理担当）	・海外からの宿泊者は好調であったが、中国経済の減速、英国のEU離脱問題、円高などの不安要素が山積している。また、民泊なども不確定要素の一つといえる。
		旅行代理店（支店長）	・参議院選挙が終われば動きが出てくるが、客の冷え込んだマインドが戻るのか、旅行意欲がわいてくるのか、疑問が残る。世の中の不安定要素を、客は敏感に察知している。
		旅行代理店（営業担当）	・個人消費の復活に期待したいが、先行きは不透明である。
		タクシー運転手	・タクシーは必要最低限の利用となり、アクシデントや天候不順の場合に増える程度である。
		タクシー運転手	・一般客や企業関係の予約の動きを期待していたが、特に大きな増減はなく推移している。
		通信会社（経営者）	・英国のEU離脱問題による国内への影響が不透明である。
		観光名所（経理担当）	・今月は天候の影響が、来客数、売上共に良くなく、前年比で売上は6.5%減、来客数は3%減となっている。台湾や中国からの観光客の来場に変化はないが、あまり購買にはつながらず、景況感は良くない。
		観光名所（企画担当）	・状況に変化はなく、どちらかといえば前年よりも厳しい。夏から秋にかけての集客に期待しているが、現状維持が精一杯とみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
やや悪くなる		遊園地（経営者）	・乗客数、販売量共に横ばいで推移しており、先行きにも明るい材料がないため、現状維持が妥当と判断される。
		その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・プロ野球の交流戦は終わったが、今後も人気球団の公式戦が行われるほか、多くのコンサートが開催されるため、多数の来場者を予想している。
		美容室（経営者）	・今月は天候が悪い。年配の客が多い店であるため、来客数が前年比で1割減となった。来月はその分増えると思うが、カットが増える季節のため、売上はあまり期待できない。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・オイルを使ったボディマッサージのため、暖かい時期になると来客数が増加する。
		その他サービス[学習塾]（スタッフ）	・生徒数は増えているが、受講する教科数が減っていることもあり、不安定で楽観視できない。
		その他サービス[ビデオ・CDレンタル]（エリア担当）	・夏のキャンペーンに向けての販促企画や、新店オープンの時期でもあり、売上アップを目指したい。
		住宅販売会社（経営者）	・英国のEU離脱問題などが、どのように景気に影響してくるのか判断しかねている。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・消費税増税の延期により、期待していた駆け込み需要もなくなったため、展示場の来場数は昨年並みとなる。
	一般小売店 [珈琲]（経営者）	一般小売店 [花]（店長）	・これから夏本番で花屋には厳しい時期であり、売上も期待できない。
		百貨店（売場主任）	・英国のEU離脱問題など、世界経済が非常に不安定であり、先行きが不透明な状況にある。国内においても、更なる株安や円高の影響が予想され、消費を支えていたインバウンドや高額所得者の需要が更に低下することが予測される。国内の消費全体は元々活発な状況ではなかったため、現状よりも良くなる要素が見当たらない。
		百貨店（売場主任）	・高額品の購入客にも、不要不急の支出を控える傾向があるなど、先行きの不透明感に不安を感じる動きが、あらゆる層で出てきている。
		百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題に伴う円高、株安のほか、企業業績の悪化、先行き不透明感の広がりなど、富裕層の消費環境の更なる悪化が予想される。
		百貨店（営業担当）	・世界的な政情不安による株価低迷で、富裕層の優良顧客による高額品の買上が手控えられる。2～3年前に高級ブランド品や美術品を購入した顧客からも、この1年は買い控えるとの声が聞かれる。
		百貨店（販促担当）	・英国のEU離脱問題で株価の下落や円高が進むことで、上得意客はもちろん、世間一般にも警戒感が広がり、消費意欲の後退につながりそうである。リオオリンピックの開催のほか、気温が高くなることで外出も減るため、状況は厳しい。政策によって景気を押し上げるなど、日本経済は悪くないと思わせる動きに期待したい。
百貨店（サービス担当）	・来月からの夏物クリアランスセールは、競合する在阪百貨店と同じ時期での開催となる。ただし、円高や景気の先行き不透明感により、前年実績の確保に苦戦する状況には変化がない。		
百貨店（販売推進担当）	・英国のEU離脱問題や、株価の下落、円高による影響が出る。		
百貨店（外商担当）	・欧州の政情不安により、株安が進み続ける。それによって富裕層を中心とした消費マインドの冷え込みが予想される。		
百貨店（マネージャー）	・英国のEU離脱問題による金融市場の不安定化により、各方面に心理的な影響が出る。結果として、国内消費を支えている消費者の購買心理も更に悪化し、様子見状態が続く。また、団塊の世代をはじめとする購買力の強い世代が将来への不安を感じ、消費への慎重姿勢が更に強くなる。		
百貨店（売場マネージャー）	・英国のEU離脱問題の影響で円高傾向になれば、インバウンドが激減すると思われる。国内需要だけではカバーしきれず、かなり厳しい状況になる。		
百貨店（マネージャー）	・参議院選挙に伴う政局の混乱や、英国のEU離脱問題による円高、株安などに伴う、景気の下振れが懸念される。特に、百貨店の中心顧客である富裕層の消費意欲の減退には注意が必要である。価格帯ごとの商品の構成比を見直すほか、消費意欲を喚起させる販促施策を検討し、実施する方針である。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・英国のEU離脱問題で金融不安が広がる。
		スーパー（店長）	・ファミリー層の人口流出、高齢者の死亡などによる人口減が止まらない。
		スーパー（店長）	・英国のEU離脱問題による金融不安、米国の大統領選挙など、世界経済の先行き不透明感が強いいため、生活防衛意識が更に強まる。
		スーパー（店長）	・経済への不安が払しょくされておらず、英国のEU離脱問題による余波も予想されるため、消費者の節約志向はますます強まっていく。
		スーパー（経理担当）	・英国のEU離脱問題による円高、株安傾向は、今後のマイナス要因となる。猛暑予測はどちらかといえばプラス要因であるが、当面はマイナス要因の方が強く影響しそうだ。
		スーパー（開発担当）	・英国のEU離脱問題の動向次第で、どう転ぶかわからない。
		スーパー（管理担当）	・参議院選挙を控えているほか、英国のEU離脱問題によって世界経済に良い影響が出るとは考えにくいいため、更なる景気の悪化が懸念される。夏に向けて、消費の落ち込みに拍車がかかりそうだ。
		スーパー（企画）	・急激な円高、株安、英国のEU離脱問題、参議院選挙、社会保障財源、高齢化、人口減少問題など、先行きに対する不安は尽きず、生活防衛のために消費は増えない。
		コンビニ（店長）	・同じエリアに競合店がオープンするため、来客数に影響が出る。
		コンビニ（広告担当）	・参議院選挙の動向や、英国のEU離脱問題による円高など、不安定要素が多く、一般消費者にとって明るい話題が少ない。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・夏物スーツやシャツ、ジャケットのオーダーは順調に増加しているが、今後は英国のEU離脱問題や、国内政治の変化による影響を受けるかもしれない。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税ができなかったのは、それほど個人消費が力強くないからだと思われる。今後は英国のEU離脱問題が、株や為替の大きなマイナス要因になる。
		乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱問題によって金融市場が混乱している。株価の下落や円高が、日本経済、特に輸出関連企業に影響を及ぼしているため、しばらくの間は景気が上向かない。
		乗用車販売店（営業担当）	・6～7月以降はキャンペーンも終了し、客の購買意欲も元の低調な状態に戻る。最近では先行きの不透明感から、景気対策への不安が、不信へと変化したユーザーの声をよく耳にする。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・株価の低迷などのマイナス要因が次第に影響し、客の購入姿勢がより慎重になってくる。
		高級レストラン（企画）	・経済の情勢不安による企業収益の悪化や、円高によるインバウンド関連の受注減少を懸念している。
		一般レストラン（経理担当）	・当面は、企業心理や消費者心理の悪化が重荷となりそうである。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・英国のEU離脱問題により、米国の大手金融機関の破たん後のように景気が落ち込む。
		観光型ホテル（経営者）	・この先は婚礼の予約があまり入っておらず、例年ほどは関連売上が見込めない。
		観光型ホテル（経営者）	・経済的な変動の影響が、これから大きく出てくる。これまではインバウンド客の増加で安心していましたが、これだけ円高になると今後は期待できない。
		観光型旅館（団体役員）	・春から始まっている耐震工事などで、ホテルの客室数が地域全体で不足する状態が、2年近く続くのではないかと思われる。その間に、温泉目当ての客が他地域に流れていくことへの懸念が強い。
		都市型ホテル（支配人）	・英国のEU離脱問題による影響はかなり出てくると思われる。国内景気は上昇する材料が見当たらず、しばらくは停滞が減退傾向になる。
		旅行代理店（店長）	・今は経済環境が厳しく、旅行先にも不安があるため、安定するのを待っていると感じる。
		タクシー運転手	・今後は修学旅行も下火となり、従来の流し営業となる。
		通信会社（企画担当）	・英国のEU離脱問題による株価低迷や、円高の動きが気になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・伊勢志摩サミット後の経済の出鼻をくじくように、英国のEU離脱問題が発生している。今後の混乱を考えると、打ち出す必要のある対策はいくつもあるが、参議院選挙を控えた状況では、結果的に後手に回らざるを得ない。落ち込みを防ぐというよりも、損失の穴埋め的な意味合いが強くなりそうである。
		その他レジャー施設 〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・観光に関する動き自体は大きく変わらないものの、消費単価がやや低下している。
		美容室（店員）	・残暑の影響にもよるが、涼しくなると髪を伸ばす傾向になるため、来店周期が延びる。
		住宅販売会社（経営者）	・顧客数の減少が今後の売上に響いてくる。
		住宅販売会社（従業員）	・大阪市内のタワーマンションの主な購入層である投資家が、英国のEU離脱問題などの世界経済の先行き不透明感から、様子見の動きとなる。
		住宅販売会社（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響で、株価の下落や円高が進んでいる。先の見えない状況で、高額品の購入の買い控えにつながると判断される。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・英国のEU離脱問題により、円高が進む。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・EU内での混乱や、離脱国が追加発生することへの懸念のほか、その対策に労力が割かれることで、経済にはマイナスの影響が出る。
	悪くなる	商店街（代表者）	・非常に雰囲気が悪く、買物にも消極的になってきている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・確実に悪化が進んでいる。全体的な悪化傾向に加え、6月は極端な株安が響き、大口の顧客が財布のひもを閉じ始めた。過去の苦い記憶が頭をよぎり始めている。
		一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・英国のEU離脱問題による影響が出る。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・来店した消費者から、将来への不安の声がよく聞かれる。来客数、販売数が前年を下回っていることもあり、消費者が将来への不安を口にする、今後の景気が良くなるとはどうしても思えない。
		一般小売店〔酒〕（社員）	・インバウンド消費の減少と、英国のEU離脱問題による円高の進行により、消費意欲の減退が見込まれる。
		百貨店（マネージャー）	・英国のEU離脱問題により、世界経済の不安定さがより一層強まった。当面は為替や株価が不安定な値動きとなることが予想される。現状は苦戦が続く中間層に加え、逆資産効果による富裕層の消費減退も懸念される。
		スーパー（店長）	・足元で個人消費が足踏みとなっているほか、7月末からは昨年のプレミアム付商品券の反動が出てくる。また、英国のEU離脱問題による円高、株安で、富裕層の消費が減退するほか、中間層のボーナス商戦にも影響が出てくる。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題への報道が、オオカミ少年のような効果を生み、財布のひもがより固くなっている。気分転換に都心に出てくること自体を自粛している。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題による、株価暴落や円高などの影響は少なからず出てくる。ただし、昨日は円が一時99円台になったが、最後は102円まで戻したこともあり、どれだけの影響が出るかはまだ不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年よりも来客数、売上が2～3割落ちている。今後も悪くなる要因は多く、消費者の間で不安感が高まっているのが現状である。
		乗用車販売店（経営者）	・そろそろボーナスを見込んでの商戦となるはずが、動きが全くない。大手自動車メーカーの燃費不正問題も含め、爆弾に頭を抱える日々がいつまで続くのかが分らない。
		乗用車販売店（販売担当）	・英国のEU離脱が決定し、株安、円高が進んでいる。日本経済の先行きが不安である。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・英国のEU離脱問題や中国の景気後退が、国内の株安や円高につながることで、様々な面での投資意欲の減退が更に進む。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・円高が進むなかで、金相場が上がってきているため、コストに対する価格の設定が合わなくなってくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・飲食店は天候に左右されるが、この夏は猛暑といわれており、商店街の人通りが減るため、来客数が増えることは期待できない。
		観光型旅館（管理担当）	・英国のEU離脱問題による様々な影響が取りざたされ、顧客層の財布のひもは更に固くなる。
		都市型ホテル（総務担当）	・訪日外国人、国内の旅行者共に、予約件数が減少傾向にある。それに加えて、英国のEU離脱問題に伴う円高の影響が懸念される。
		競輪場（職員）	・英国のEU離脱問題により、為替レートや株価に深刻な影響が出てきそうである。これらの不安要素による国内景気の悪化が懸念される。
企業 動向 関連 (近畿)	良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・今後は受注量、販売量共に増加し、売上、利益の増加が見込まれる。
	やや良くなる	建設業（経営者）	・下半期に向けて、今の状況がしばらく続く予想される。
		食料品製造業（営業担当）	・梅雨が明ければ、猛暑になると予想されているため、飲料水の売上が伸びてくる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・関東方面からの受注が伸びている。関西圏内の伸びは見込めないが、それをカバーする以上の動きがある。仕事がパンク状態にある関東の受け皿になっている形ではあるが、しばらくはこの動きが続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・安倍政権が壁にぶつかり、少し慎重に行動するようになるのではないかと。特に安倍総理は慎重な人なので、一時的に善政を行うため、少しは秩序が良くなる。
		通信業（管理担当）	・ボーナス商戦が本格化する。
		金融業（営業担当）	・東京オリンピックに関する動きは良いが、特徴のある業種が優位に立つ形となっている。一方、英国のEU離脱問題に伴う今後の動向には注意が必要である。
	変わらない	繊維工業（団体職員）	・昨年よりも増産傾向ではあるが、需要そのものの動きは特に良くなっていない。
		繊維工業（総務担当）	・工夫や改善がなければ、客を集めても販売が伸びる催事にはならないため、今こそ企画力が重要になっている。
		家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・受注量に変化がない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・良くなる要因が見当たらない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・夏の需要は年々低下傾向にある。今年も今のところは前年並みであるが、特需も見当たらない。売上全体も昨年と同様の推移であり、特に伸びが目立っている業種もない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・中小のメーカーは、電気やガスの料金の变化に大きく左右される。これは中小企業の努力の範囲を超えた部分であり、景気は悪いと感じる。
		金属製品製造業（管理担当）	・大手電機メーカー関連の受注量が不透明なため、先行きが不安である。関西では目立った案件の情報がない。
		金属製品製造業（営業担当）	・売上が増える話もあるが、反対に減る話も出てきている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・大型案件に伴う出荷が続くので、ここ数か月は安定した売上が見込める。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・上向きや下向きの変化はあると思うが、全体ではプラスマイナスゼロになりそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今のところは不透明感が漂っているが、今回の英国のEU離脱問題があり、各企業が戸惑っているため、しばらくは静観して対応を考えていきたい。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・最近の状況においても、良くなる要因が見当たらない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・2か月先も猛暑が続いていると予想されるなか、季節要因による活発な荷動きが続く期待もあるが、エアコンは8月になると荷動きが落ち着く傾向にあるため、景気には変化はない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・航空機関連の受注がどの程度入ってくるかが、キーポイントになってくる。
		その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・新商品の受注にもそれほど変化がないため、変わらない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・個人消費の減少により、百貨店などの売上が伸びておらず、靴メーカーへの発注も減っている。
		建設業（経営者）	・大手企業の株主総会の時期である。好決算の企業は引き続き設備投資が期待されるが、技能労働者の確保や賃金が高騰するなかでの競争が予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
		輸送業（営業所長）	・大きな変化が見込まれる配送案件が少ない。		
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・英国のEU離脱問題がどの程度影響するかにもよるが、結局は短期間で落ち着き、限定な影響にとどまると予想される。		
		不動産業（営業担当）	・将来的にも神戸から事業所や事務所が流出すると思われるため、厳しい状態が続く。		
		広告代理店（営業担当）	・取引先は、季節の変化や、近隣商圏のニーズに合った商品を展開しているが、店舗の改装効果が薄れてきている。		
		広告代理店（営業担当）	・しばらくは、広告の発注増が続きそうな雰囲気がある。		
		広告代理店（営業担当）	・今年に入ってWeb媒体、紙媒体共に、前年の売上を下回っている。		
		司法書士	・英国のEU離脱問題がどう影響するか分からないが、先月からは状況に大きな変化がないため、2～3か月先も変わらない。		
		経営コンサルタント	・アジアからのインバウンド客の関心が、買物から体験へとシフトする兆候があり、ここに新たな商機を見出そうとする小売業、サービス業が増えている。ただし、英国のEU離脱問題など、我々の手には負えないマイナス要素もあり、事業意欲にブレーキがかかっている。本当に先行きは分からない。		
		コピーサービス業（店長）	・問い合わせの動きにも変化がないため、しばらくは現状維持で推移する。		
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・中国に人気テーマパークが開業した影響は一過性であり、数か月後には関西のインバウンド需要は回復すると予想される。2005年に香港でテーマパークが開業した際も、数か月はダメージが出たが、その後は大幅に回復した。		
		やや悪くなる		食料品製造業（従業員）	・英国のEU離脱問題もあり、一時的には為替も動いたが、それ以前から徐々に荷動きが悪くなるなど、業界全体が良くない。以前は一部のメーカーの売上が落ちて、ほかのメーカーの販売が伸びるなど、業界全体でバランスが取れていたが、最近では極端な目玉商品を出さないかぎり、売上増となることはない。
				食料品製造業（経理担当）	・英国のEU離脱問題による円高や、参議院選挙後の不透明感など、中小企業や消費者にとっての好材料がない。
				繊維工業（総務担当）	・消費者の間で靴下の購入意欲が減退している。今後、この傾向は更に顕著になってくる。
				化学工業（企画担当）	・夏季の食品需要低迷期に突入する。円高の影響で、海外原料のコスト低下メリットが発生するものの、効果が出るのは秋以降となる。
電気機械器具製造業（営業担当）	・英国のEU離脱問題による影響が、どう出てくるかは分からない。				
電気機械器具製造業（営業担当）	・先月よりも受注は増えているが、必要量には届かず、まだまだ不足している。				
建設業（経営者）	・人手不足による工事量の減少と、人材確保のための人件費の上昇により、利益の減少が予想される。				
輸送業（営業担当）	・お中元の贈答をやめる企業が増えているようで、百貨店からの配送予約が減っている。				
輸送業（商品管理担当）	・お中元の季節となり、受注量は増加しているが、2～3か月でまた元に戻る。				
その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・周囲から良い話が聞かれない。				
その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・世界の経済環境がおかしくなり、状況が悪化している。英国のEU離脱問題が大きいと思われるが、今後は更に状況が変化してくる。				
その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・製品開発の遅れが、不調の主な要因と考えたいが、競争力もなくなっている。				
悪くなる				化学工業（経営者）	・現在、得意先に今後の見通しについてのヒアリングを実施しているが、美容とロボット業界以外は、非常に悪いとの声が聞かれる。
				化学工業（管理担当）	・英国のEU離脱問題による、世界的な為替市場の不安が当分続くと考えられる。
		金属製品製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題による世界的な株価、為替の変動で、経済に影響がどれだけ出るのが、製造業にとっては大きな問題である。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント	・アベノミクスもメリットとデメリットがはつきりしない状況であったが、英国のEU離脱問題に伴う、円高、株安の影響は非常に大きい。今後は日本の大企業から零細企業にまで様々な悪影響が出ると予想されるため、先行きの見通しは良くない。
		その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・英国のEU離脱問題で株安や円高が進むなか、先行きが全く見通せない。日本の金融政策も具体的ではなく、マイナス金利の影響も含め、現状の課題を克服するような政策が見当たらない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・建設日雇い求人数は大幅に落ち込んでいたが、平年並みの落ち込みにまで回復しつつある。
(近畿)	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今回の英国のEU離脱問題が株価、為替に影響し、その結果、企業業績も悪くなる。ただし、安倍首相の消費税増税の再延期もあって、人材は幅広い業種で必要となり、特にIT関連では人材不足となる。
		人材派遣会社（支店長）	・やや良くなる傾向が、当面は継続する見通しである。
		職業安定所（職員）	・このところは新規求人数が増加している一方、新規求職者数は減少しており、雇用失業情勢は改善傾向で推移している。また、管内事業所への今後の展望についてのヒアリングでは、現状維持とする事業所が多い。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向にある一方、新規求職者数は減少傾向が継続している。それに伴い、新規求人倍率は上昇しているが、大多数の事業所は今後も現状維持とみている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・慢性的な人材不足となるなか、今後は英国のEU離脱問題の影響が、日本の雇用および経済全体に及んでくる。ただし、すぐに影響が出るかどうかは不透明である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・参議院選挙や英国のEU離脱問題など、先が読みにくい。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・経済が停滞し、景気が安定しない状態が長く続けば、雇用条件も不安定となり、離職者の増加が予想される。
		人材派遣会社（支店長）	・英国のEU離脱問題による急激な円高、株安の影響で、更に悪くなるのが予想される。
		人材派遣会社（役員）	・企業の採用者数をみると、優秀な若年層は採用するが、そのほかの労働者の採用意欲は落ち込んでいる。一時の企業のおう盛な採用意欲は後退している。
		アウトソーシング企業（管理担当）	・仕事が減り、単価の安い仕事ばかりという状態が続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・英国のEU離脱問題による影響がどう出るのか、全くの未知数である。
		職業安定所（職員）	・英国のEU離脱問題が、世界経済に与える悪影響が懸念される。特に、為替が円高方向に進む見込みが高いことから、製造業をはじめとする輸出産業の業績悪化が懸念される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・英国のEU離脱問題に端を発し、急激な円高による企業業績の悪化、欧州の不安定化などの問題が世界に波及し、採用の抑制につながると考えられる。2～3か月では、やや悪くなる程度であるが、年単位でみると悪くなる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新入社員の入社で人手不足が充足されたほか、季節的な変動もあり、求人数が減少している。
		民間職業紹介機関（マネージャー）	・英国のEU離脱問題による円高の進行で、メーカーの採用が慎重になる可能性がある。
		学校〔大学〕（就職担当）	・採用者数を絞る企業が増え出したことから、中小企業の新卒採用が可能になるものの、景気の先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・英国のEU離脱問題は、巨大なダメージを世界経済に与える。株価は1,300円近く下がり、円相場も一時100円を切る形となった。輸出企業がダメージを受ければ、それを支えている関西の中小企業にも大きなダメージとなるため、今後は日本の景気が間違いなく悪くなる。

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)	良くなる	競艇場（職員）	・8月中旬に女子レース、9月初旬にはG1競争があるので売上は確保できる。
	やや良くなる	スーパー（店長）	・異常気象でなければ、夏に向かって気温が上がり、物の動きが出てくる。
		スーパー（販売担当）	・店の売上は天候に左右される。気温の高い日は売上が伸びているので、猛暑の予報が出ている今夏は期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・気温上昇とともに、飲料や中食商品の動きが活発になり、景気はやや上向きになる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・米国大統領訪問や地元プロ野球チームの活躍などで当県が注目されていることが多く、引き続き県外客が増える。
		家電量販店（店長）	・客が前年に比べて減少している。
		乗用車販売店（業務担当）	・8月から新商品の投入が決まり、販売増加に期待できる。
		乗用車販売店（統括）	・7月より軽自動車の販売が可能となるので期待が持てる。
		一般レストラン（店長）	・8月は平和学習関連でのインバウンドや学生などが多く見込める月であり、目下のインバウンドの伸びが非常に良いので、ある程度期待できる。既に団体予約も前年以上に入ってきている。
		都市型ホテル（企画担当）	・英国のEU離脱問題により一時的な景気の停滞は予想されるが、足元では夏季の集客期間であり、高校総体などの大型イベントが開催されるので景気動向は良化する。
		通信会社（工事担当）	・客の様子からやや良くなる。
		通信会社（総務担当）	・新規契約が見込めるエリア開拓を行っており、販売量が増える見込みである。
		テーマパーク（業務担当）	・夏期休暇で集客時期になり、景気回復が見込める。
		住宅販売会社（営業担当）	・梅雨明けから販売量が伸びる。
	住宅販売会社（営業所長）	・当社が購入した土地は人気エリアなので、契約棟数が増加する見込みである。	
	変わらない	商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題で騒がれているが、末端の商店街ではそんなに変化がない。景気の回復感はないので、しばらくはこのままで推移していく。
		商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題の影響やそれに伴う円高株安が心理的にもマイナス要素となり、2～3か月先の景気は今年同様に厳しくなる。
		商店街（代表者）	・客は余計なものを購入せず、引き続き財布のひもが固い。
		商店街（理事）	・商店街の空き店舗が増えつつあり、景気が良くなる要素がない。客の財布のひもが固い状況は続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・今後の予想がつかない。
百貨店（経理担当）		・前年より早く、7月1日よりクリアランスを開始するので、お中元商戦とともに売上増に取り組んでいく。ほかには大きく売上増につながる要素がなく、今の状況がまだ続きそうである。	
百貨店（営業担当）		・クリアランスセールの前倒しは金額では大きいものの、売上総額が前年と変わらないため、このまま厳しい状況が続く。	
百貨店（営業担当）		・8月に大きなウエイトを占めるセール売上であるが、取引先の在庫圧縮によりセール商材が前年と比較してもかなり少なく、晩夏、秋物新商品を早期に立ち上げることが厳しい。	
百貨店（営業推進担当）		・円高、株価下落などの報道での心理的影響は大きい。また衣料品などの売上の回復が鈍く、今後も好材料がない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場担当）	・熊本地震の影響で秋物展示会の来場者数が少なく、専門店を中心に受注も少ない状況である。衣料品については夏物セールの動きが期待しにくい状況なので、しばらくは店頭が回復する様子はない。
		百貨店（購買担当）	・アパレル業界では何がヒット商品になるかについて思案しており、展示会に行っても目新しいものがない。天候や今後の選挙で客が買い控えることは間違いないので、厳しい状況は続く。
		百貨店（人事担当）	・大手自動車メーカーの工場が再稼働するので、やや上向き傾向となるが、英国のEU離脱問題による影響も計り知れない。
		スーパー（総務担当）	・来客数が減少あるいは横ばい状態で、現状が続く。
		スーパー（業務開発担当）	・これから暑さが増すと冷商材や関連商品の動きが良くなってくる。
		スーパー（営業システム担当）	・気温の上下が激しく天候が不順になり、主に青果ギフト商材が急遽販売休止になったりしているため、目立った利益上昇は見込めない。
		スーパー（管理担当）	・必要な商品のみを買う客の傾向は変わらず、消費者マインドの改善はまだ見えてこない。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数を伸ばし、客単価を上げて売上を確保していく方針である。ただ英国のEU離脱問題もあり、その影響が地方にも波及して、悪い方向に行く可能性もある。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数は前年並みであるが、客単価が低下しており、この傾向は続く。
		コンビニ（支店長）	・来客数は回復傾向である。
		衣料品専門店（店長）	・紳士服業界で売上が伸びる要素はない。
		家電量販店（店長）	・客の財布のひもは固く、なかなか購入に至らない状況が続く。
		家電量販店（企画担当）	・良くなる理由が特にないので販売量は変わらない。
		乗用車販売店（店長）	・経済状況は先行き不透明で客の動きは鈍く、良くて現状並みである。
		乗用車販売店（営業担当）	・客それぞれの仕事で、現業維持か右肩下がりの話が多く聞かれる。株や為替の取引をしている客からも良い話は聞かない。
		乗用車販売店（営業担当）	・特別に売れる政策がない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・上向きへの要素が見当たらない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・国内経済は人口減少に比例しており、以前のような景気浮上とはならない。株価や為替レートに関係なく地方経済の景気は戻らないので、金融オペレーションを変えるしかない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・これからボーナスで客の購買意欲が向上してくる時期ではあるが、景気が不安定なため良くなる見込みがない。
		高級レストラン（宴会サービス担当）	・前年より予約状況は悪い。今後どのくらい伸びるかによるが、現在はまだ不明である。
		一般レストラン（経営者）	・夏の賞与の期待が少ないため、節約志向の客が多くなる。
		一般レストラン（経営者）	・参議院議員選挙の結果で少しは変化するが、あまり大きな期待はできない。
		スナック（経営者）	・景気がこれから良くなる要素が何もない。
		旅行代理店（営業担当）	・参議院議員選挙終了後に大きな潮流の変化は期待できず、世界情勢も不透明な状況が続く。
		タクシー運転手	・参議院議員選挙があると客の出足が悪くなり動きが鈍るので景気回復の兆しもみられない。
		タクシー運転手	・参議院議員選挙のときは売上が悪化する。
		通信会社（社員）	・ボーナス時期であるが、販売量増につながる兆候がない。
		通信会社（総務担当）	・英国のEU離脱の動きがあるものの、国内市場への影響は急激にはない。
		通信会社（企画担当）	・既存メニューの値上げ案内を出したところ、現時点では客から解約など特別ネガティブな反応はない。
		通信会社（販売企画担当）	・好調要因が見当たらない。
		テーマパーク（管理担当）	・熊本地震後、九州地区からの集客が微減している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（営業担当）	・客の様子は今とあまり変わらないが、シーズンに入るため底上げになる。
		美容室（経営者）	・単価を下げれば来客数は増えるが売上が伸びず、どのような施策をして良いか検討中である。景気が向上く様子はな
		美容室（経営者）	・景気がすぐ悪くなることはないが、ゆとりがなくなる不安がある。
		美容室（経営者）	・アベノミクスの影響で大手の景気は良いかもしれないが、中小零細企業としてはまだまだ厳しい現状が続く。
		設計事務所（経営者）	・来客数は変化しない。
		設計事務所（経営者）	・好転材料がなく、インターネットによるショッピングが増えるなか、地元での発注がますます減少する。
		設計事務所（経営者）	・金利が安く投資物件が動いているが、消費者は景気の動向を気にするため工事決断の動きが悪そうである。
		設計事務所（経営者）	・消費税率は据置きが決まったものの、景気の先行き不安から、客は建築のような大型の購入を見合わせる。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げの延期が濃厚となり、しばらくは景気を左右する大きな話題がないため現状維持が続く。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・7月半ばから観光シーズンに入るが、現在の円高、株安の状況が続くと売上増加は難しい。
		商店街（代表者）	・バーゲンでも客は買わない。より安くよりタイムリーに購入する姿勢であるためデフレ傾向は続く。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	・観光客数によって売上が変動するので安定しない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・英国のEU離脱問題で円高、株安の影響を受けて景気が悪くなる不安がある。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・円高、株安の影響で企業収益の悪化が懸念され、大手自動車メーカーの燃費不正問題で関連企業の収益が悪化し、若干の販売量低下が懸念される。
		百貨店（販売促進担当）	・円高、株安報道は美術品や貴金属など堅調であった富裕層の高額品購買にマイナス影響を及ぼすため、今後消費動向はマイナスに転じる可能性がある。
		百貨店（売場担当）	・円高やアベノミクスの終焉等により株価の下落が続いている状況で、客の金の使い方が変わってくる。高額品は稀に売れるが、中心価格帯の状況が悪くなる。
		スーパー（店長）	・英国のEU離脱問題など不安情勢があり、客の生活防衛が始まる。
		スーパー（店長）	・地元企業の業績が先行き不透明で、そこで働く人々の消費意欲が冷え込んでいく。
		スーパー（店長）	・景気が良くなる材料がない。
		スーパー（店長）	・株安で経済的に不安定な雰囲気は景気に影響しそうである。
		スーパー（店長）	・参議院議員選挙でギフト需要が落ち込むとともに、円高で影響の出る商品は価格競争が激しくなる。
		スーパー（販売担当）	・客は必要な商品しか購入せず、少しでも貯蓄に回す傾向である。景気が良くなる要素はなく、来客数も減少していく。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響がある。
		衣料品専門店（経営者）	・地方はなかなか景気が良くならず経済は大変である。
		家電量販店（店長）	・客との話題で英国のEU離脱問題が出るが、なぜ日本に影響を及ぼすのかほとんど理解していないようである。マスメディアの報道で不況になる様子がうかがえる。
		家電量販店（販売担当）	・オリンピック需要が起こる。
		乗用車販売店（総務担当）	・ボーナス商戦に期待していたが、想定以下の販売状況で推移している。数か月先は半期決算の時期であるが、現状を考えると苦戦が予想できる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・地方の公務員が地方に合った活性化を考えない限り、地方活性化は無理である。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・旅行会社やバス会社からの情報では、当港の立寄客が増える状況ではない。
		一般レストラン（外食事業担当）	・大手チェーン店が4店舗増えて初めての夏を迎える。狭いマーケットの中で客の分散化やすみ分けが激化すると考えられるので、売上は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕(店長)	・サービスエリア沿線の高速道路の交通量が減少しているため来客数が少ない。
		観光型ホテル(宿泊担当)	・同業者からは昇給や賞与の話がほぼ聞かない。
		観光型ホテル(営業担当)	・円高の影響でインバウンドの集客が落ち込む。
		都市型ホテル(スタッフ)	・英国のEU離脱問題で、企業や団体客のマインドが悪化する。
		都市型ホテル(企画担当)	・英国のEU離脱問題で株価が大幅に下落し、世界経済の先行き不透明感が強まっている。企業、個人共に消費の悪化が見込まれる。
		都市型ホテル(総支配人)	・英国のEU離脱問題による円の急騰や株安などで先行きに不透明感があり、インバウンドの減少や国内需要の低下が懸念される。
		旅行代理店(経営者)	・英国のEU離脱問題の影響、日本の景気状況、燃費不正問題を起こした大手自動車メーカーの関連企業の存在など、あまりに悪い環境にある。
		タクシー運転手	・参議院議員選挙の影響で飲み客が減少する。
		通信会社(広報担当)	・客は常に安いものを求めており、新商品の販売時期ではあるが全く動きがない。逆に何かのタイミングで価格が下がれば突然販売数が増加し始める可能性もある。
		通信会社(営業担当)	・英国のEU離脱問題による影響が輸出産業に打撃を与えることで、市場環境が一気にマイナスに振れる。
		テーマパーク(営業担当)	・今夏は猛暑の予報が出ており、客が日中の外出を敬遠する。
住宅販売会社(営業担当)	・消費税率引上げ延期に伴い、持ち家を検討していた客が先送りし、来場者数も減る。		
悪くなる		一般小売店〔眼鏡〕(経営者)	・円高の影響が懸念される。
		百貨店(営業担当)	・英国のEU離脱問題の影響が心配である。
		スーパー(販売担当)	・メーカーの希望小売価額が低下してきている。また店頭の商品ぞろえも低価格商品が増える傾向にあり、完全にデフレに戻っている。現時点では消費税率引上げの先送りがマイナスに働いている。
		スーパー(財務担当)	・大手自動車メーカーの生産開始の予定は決定したが、下請企業等を含め、従業員の収入増加は見込めないで節約が続く。
		自動車備品販売店(経営者)	・販売量が改善する要素はなく、期待も持てない。アベノミクスは大手企業中心の政策で、中小企業をより苦しめるものであり、地方での企業間格差は広がる一方である。昨今の世界の経済停滞でますます今後の先行きは不透明で、大手企業も沈没し、あまり良い未来は描けそうもない。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業(経営者)	・新車種が立ち上がって増産の可能性があるので忙しい状況は続く。
	やや良くなる	広告代理店(営業担当)	・7月から販売促進を拡大進行する話題が多くあり、客獲得販売強化戦略での販売量の拡大が見込める。
(中国)	変わらない	食料品製造業(総務担当)	・英国のEU離脱問題の動きによって変わるが、現状では変わらない。
		食料品製造業(総務担当)	・秋商戦の内容は不明であるが、前年並みの売上は確保する。
		窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	・鉄鋼向け生産は現状水準が続き、建設案件の製造も継続するため多忙な状況が続く。
		鉄鋼業(総務担当)	・急な円高で、輸出関連企業の国内での活動水準などは当面先行き不透明な状況が継続する。
		非鉄金属製造業(業務担当)	・スマートフォンの新機種動きが本格化するが、短期間との情報もある。それ以外に好転情報もないので景気は変わらない。
		金属製品製造業(総務担当)	・ものづくり補助金の採択結果が発表されたが、予想より得意先の採択数が少ないので、受注量の増加は見込めず、現状の厳しい状態が続く。
		一般機械器具製造業(総務担当)	・受注量や販売量の動きに変化はない。
		輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	・受注量の減少傾向が気になるものの、大幅な減少とはならない見通しである。しかし英国のEU離脱問題による円高で、輸出競争力の低下が大いに懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（総務担当）	・対応が手いっぱい現状を考えれば、発注の遅れが好影響を及ぼす。
		輸送業（支店長）	・発送個数の伸びが非常に堅調で、今後も上昇傾向である。通信販売関係を中心に伸びる。
		通信業（営業企画担当）	・英国のEU離脱問題による製造業への影響が不明で、設備投資等の見直しによる景気減速のリスクがある。
		不動産業（総務担当）	・賃貸物件の需要時期ではないため、あまり変わらない。
		会計事務所（職員）	・飲食店や日用品関連の小売業は相変わらず業績が振るわなない。これからの夏場商戦に期待するところであるが、英国のEU離脱問題の影響がどのような形で出るのか、不安な要素が多い。
	やや悪くなる	木材木製品製造業（経理部次長）	・英国のEU離脱問題により、円高や株価の下落で景気が冷え込み、客の購買意欲が低下する。
		化学工業（経営者）	・中国経済の減速からの回復の兆しは不透明であり、また英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響は非常に大きい。景気後退感に対する不安がより一層増長し、直接的な影響も現状では不透明である。
		化学工業（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響で先行き不安があり、内需は冷え込む。
		鉄鋼業（総務担当）	・マイナス金利や英国のEU離脱問題がどう影響するのか注視が必要である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響は計り知れない。現時点では景気にプラスになる要因はなく動向を注視していく。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・円高傾向にあり、海外向け商品を中心に受注が減少する。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・海運市況の悪化に加え、英国のEU離脱問題により先行きは一層不透明となり、キャンセルや納期延期なども増加する。
		建設業（総務担当）	・英国のEU離脱問題で短期的にはマイナス傾向である。
		輸送業（経理担当）	・真夏を控え、飲料などが堅調に動き出す時期であるが、今のところ天候の影響で動きが鈍く、今後も期待できない。
		輸送業（総務担当）	・景気は変わらないが、今後英国のEU離脱問題やスコットランド独立の動きなどが全世界に大きく影響する。
		通信業（営業担当）	・円高に歯止めがかからず、金融政策もおぼつかなく、景気が回復する見込みは当面ない。
		金融業（貸付担当）	・英国のEU離脱問題による円高株安の影響が出てくる。夏季ボーナスの支給は増加する見込であるが、個人消費を回復させるまでには至らない。消費税率引上げの延期は国内景気の足元を鈍化させる一方、マイナス金利は影響が及ぶのに今しばらく時間を要する見込であることなどから、今後の景気はやや悪くなる。
		金融業（融資企画担当）	・英国のEU離脱問題による円高進展など、自動車販売を取り巻く環境は厳しくなり、自動車部品メーカーの受注は伸び悩む。
	悪くなる	農林水産業（従業者）	・海水温度の上昇が影響し、アジとサバの漁獲量と水揚げ金額の低迷が顕著である。沖合底引き網漁が資源保護の観点から5月末から8月15日まで休漁するので、しばらく港は寂しくなる。
		その他製造業[スポーツ用品]（総務担当）	・英国のEU離脱問題で、今後の世界経済の先行きは非常に不安定な要素を数多くはらんでいる。それに伴い景気の悪化は避けられない。
雇用関連 (中国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（産業雇用情報担当）	・求人数の大幅増加と求職者数の減少により、有効求人倍率は前年を上まわり直近で1.45倍、正社員の有効求人倍率も0.9倍まで回復しており、この状況はしばらく続く。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画担当）	・求職者数は順調に推移している。業界柄、需要と供給のバランスを見た運営が重要なため、一概に景気云々は言い難い。求人側と求職者側双方のニーズを今以上に把握し、コーディネートして深層でのマッチング推進が重要である。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・訪問先の企業からの情報では景気は変わらず、次年度の採用予定数もほぼ今年度並みである。ただし今後技術系の採用はますます競争の激化をたどることになり、企業間での争奪戦が予想される。文理男女別の内定獲得状況では、理系女子が55.7%と最も高い。
	新聞社[求人広告]（担当者）	・景況の様子見が当分続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題により、各社ともリスクヘッジを進めるため、雇用や投資を引き締める。
		人材派遣会社（支店長）	・英国のEU離脱問題の影響は円高へとつながっており、輸出入を行っている企業を中心に景気が悪くなる。
		人材派遣会社（支社長）	・景気の先行きの不透明さから、新規採用には慎重になる企業が多くなる。
		職業安定所（所長）	・医療福祉で慢性的な人手不足が続いている一方、前年に比べ新規卒求人出足の鈍いなど、多くの業種でこれまでのような盛んな求人意欲が薄らぎつつあり、求人全体でも今後は横ばいもしくは下降気味で推移していく。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・管内に大きな動きはないが、今後円高がどのような影響を及ぼすか危惧している。
		職業安定所（雇用開発担当）	・円高で自動車等の輸出に影響が出てくると、徐々に雇用にも影響が出てくる。
		民間職業紹介機関（職員）	・英国のEU離脱問題の影響が出てくる。円高基調での輸出メーカーの苦戦や株価低迷による更なる投資意欲減退などが懸念される。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・大手自動車メーカーの燃費不正問題とともに天候に大きく左右される状況なので、当県としてはマイナス要素が大きい。
		学校〔大学〕（就職担当）	・英国のEU離脱問題から経済の先行きに不安がある。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	・英国のEU離脱問題の影響で景気はより悪くなる。	
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大手自動車メーカーの工場の生産停止による雇用不安や協力企業の受注不安などがあり、消費マインドは低迷している。また円高や株価の下落基調に追い打ちをかけるように英国のEU離脱問題などのマイナス要因が多々あり、プラスに転ずる見通しが立たない。

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（店長）	・客の購入シーンにゆとりが感じられる。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税の再延期も決まり、少しは景気が良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・バーゲンの出足も良く、ボーナスの時期も重なるので、梅雨が明けたら良い感じになっていくのではないかと期待する。
		乗用車販売店（役員）	・衝突回避システム搭載車への買換え需要が今後も増えると思われる。搭載車と非搭載車の事故率データの開示や保険割引の適用が開始されると、買換え需要が活発になっていく。
		タクシー運転手	・梅雨が明け、ボーナスも支給されているため、夏休みで遊ぶ気持ちと自由になるお金ができたという気持ちで、人の動きはあると判断する。
		通信会社（営業部長）	・夏商戦の時期で、新機種在庫も潤沢になる。
		通信会社（企画）	・例年ワールドカップやオリンピックの開催前に加入が増えるので、良くなる。
		設計事務所（所長）	・不動産への投資が若干増えてきたように思う。また、東京から地方都市への投資が増えている。
		変わらない	商店街（事務局長）
	商店街（代表者）		・有効求人倍率は過去最高というが、地元の大手企業に人材を取られてしまい、商店街内では飲食店を中心に人手不足の傾向が続いている。時給を上げてもなかなか人が来ない状況が続いており、専門店やアパレルを中心に厳しさが続く。
	一般小売店〔文具店〕（経営者）		・売上が改善されるような要素が見当たらない。
	スーパー（店長）		・今夏は猛暑が見込め、夏物に続いて、秋物、冬物が売れていけば、現状を維持できるのではないかと思います。
		スーパー（企画担当）	・安価な商品を求めて買いまわり先を増やしている客が多く、既存の店の来客数が伸びる要素はあまりない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（総務）	・天候や気温次第であるが、猛暑になれば大きく売上が増加する。
		コンビニ（商品担当）	・企画を打ち続けても横ばい状態が続いており、回復する兆しは見えない。
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦も盛り上がりには欠け、良くなる気配も感じられない。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナス時期ではあるが、客の動きに変化はない。
		乗用車販売店（従業員）	・選挙ムードとなり、購買意欲をそそるニュースは少なくなる。夏のボーナス商戦も盛り上がりには欠けている。
		乗用車販売店（営業担当）	・消費税増税が再延期になったことから、増税に伴う駆け込み需要は見込めず、市場は更に低迷する予想。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・必要な物しか購入しない姿勢が強く、現状維持が続く。
		観光型旅館（経営者）	・熊本地震の影響は少なからずあるだろうが、全国との競争のなかで四国はなかなか厳しい。しばらく今の状態が続く。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況を見ると、宿泊については、若干良くなっている。県外宿泊客は若干伸びるものの、県内の動きが非常に悪く、宴会、レストランといったところは、ちょっと落ち込む。
		旅行代理店（営業部長）	・英国のEU離脱問題で、円高による海外旅行の一般個人企画旅行には期待するが、法人関係に影響が懸念され、景気全体への影響が非常に心配。
		通信会社（営業担当）	・市場が活性化する期間が短くなってきている。
		通信会社（支店長）	・海外の動向が国内に与える影響は未知数であるが、現時点では大きな動きは無さそう。
		観光遊園地（職員）	・観光客が増えてきているが、今後の経済状況など外部的要因により不安がある。
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況の推移を見ると、現状とあまり変わらない。
競艇場（職員）	・7月のイベントや8月のお盆を除き、大きなレースは開催されず売上増加は期待薄だが、人気選手のあっせん、地元選手の活躍等が売上増加の鍵を握っている。		
やや悪くなる		商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題があり、円高株安など経済が不安定な状況になり、顧客の動向及び消費に影響すると思われる。消費税増税の再延期による将来への不安も感じられる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・週に一度の夜市は、晴れると商店街にもたくさんの人出があるが、その他の日は歩行者が少なくなっている。繁華街に来る人が減ってきているのを実感している。
		百貨店（営業担当）	・株価が低迷している影響があり、今後やや悪くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・日本経済の失速感に加え、英国のEU離脱問題など不安材料・先行き不透明感が増している。
		スーパー（財務担当）	・猛暑の期待があるも、株安等で客の節約志向はさらに強くなる。
		衣料品専門店（総務担当）	・英国のEU離脱問題による株価の大幅な下落があり、直接的な影響を受けなくとも購買意欲はさらに低下するのではないかと感じている。顧客との会話のなかでもマイナスの話題が多くプラスになる要素があまりない。
		乗用車販売店（従業員）	・燃費性能が良くなっているため、ガソリンの値下げよりも、円高、株安などで消費者心理を冷やすことの方が自動車販売への影響が大きい。
		住関連専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題によって、株安・円高に振れているので、今後は買い控えが起こるような感じがする。
		一般レストラン（経営者）	・節約志向が定着しているなか、世界的な不確定要素の高まりのなかで、現状維持を保ってその様子をみているような状況である。異常気象による野菜の高騰で、商品が流れていない。
		タクシー運転手	・夏の間は、お遍路の仕事もほとんどなく、街も厳しいと聞いている。お遍路が始まるのは9月末から10月にかけてなので、それまでは悪くなる。
悪くなる		美容室（経営者）	・夏が終わると来客数が減る。
		商店街（代表者）	・東京一極集中か、アイデンティティーによる地方再生か、この方向性も英国のEU離脱問題と共通する大きな課題をはらんできた。あらゆる状況が経済環境にとって不安定な時代に入っていく可能性が出てきた。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・英国のEU離脱問題に伴い、これからの日本経済への影響が心配。もっと不景気になるのか。消費者の節約志向は継続する。
		コンビニ（店長）	・大手のボーナス支給は終わっているが、一向に購買力の向上の気配はなく、消費意欲が感じられない状況にある。余分な買物は無くなったのかも知れない。
		衣料品専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴い景気不安定になる。
		美容室（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴う景気の悪化がアベノミクスの恩恵をまだ受けてはいない地方に大きな影響を与える可能性がある。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（総務担当）	・梅雨が明け、夏野菜の売出し等が活発になり、好転することを期待する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・キッチンペーパー等の製造設備が完成したら、売上、利益とも増加していく。
		電気機械器具製造業（経営者）	・「バンブーバイオマス発電」のいろいろな案件が決まりつつあり、これで、地方の景気を押し上げることができると思っている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・今後の景気は不透明である。
		木材木製品製造業	・足元は比較的堅調と判断しているものの、先行予測は非常に難しい。
		電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注量や発注予測の量に、依然として大きな変化が感じられない。また、市場のトピックや新製品動向等の変動要因も乏しい。
		建設業（経理担当）	・民間工事の受注がやや増加しているが、受注残については減少しており、競争も厳しく、変わらない。
		建設業（経営者）	・公共工事次第だが、あまり期待できない。
		建設業（経営者）	・今年度は、公共事業予算規模が前年度横ばいであるが、上半期に重点発注したため、悪くならないと見込んでいる。同業者においても、悪くなるイメージの話は出ていない。
		輸送業（営業）	・夏から秋にかけては行楽シーズンであり、例年であれば季節商材を中心とした一般消費財の消費拡大が期待できるが、昨年まで2年続きで天候不順（多雨）に見舞われた事を加味すると天候次第である。
		通信業（総務担当）	・変動する要素が見当たらない。
		金融業（副支店長）	・取引先企業の資金需要は設備資金・運転資金とも鈍く、景気の先行きに不透明感を感じてか投資に慎重な姿勢が見受けられる。現状は好転・悪化とも材料に乏しく当面はこの状態で推移する。
		広告代理店（経営者）	・地方は消費低迷が続いている上に英国のEU離脱問題が決定的になり、得意先の販促に対するマインドが低くなっている。従って多くの得意先の販促費削減傾向は続くため、あまり変わらない見込みである。
	やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響で株価の下落、円高が予想される。
		鉄鋼業（総務部長）	・少ない受注案件に入札が集中し、受注価格も下落傾向にある。
		輸送業（経営者）	・報道が景気不安定をあおっていると感じる。
		通信業（営業担当）	・テレビ広告の出稿において業種に片寄りがあり、全体的に伸びてこない。
		不動産業（経営者）	・今回の英国のEU離脱問題に伴う不景気が予想され、不動産業にとって、かなり大きな影響がある。
		公認会計士	・熊本地震や円高を非常に気にされている経営者が増えていく。設備投資には非常に消極的で、資金繰り等を心配する方も増えてきており、景気はやや悪い方向に向かっているのではないかと心配している。
悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・英国のEU離脱問題の影響がどうなるのか見極めが必要であるが、予測困難な局面になっている。	
	輸送業（支店長）	・英国のEU離脱問題による影響が大きくなる。円高による輸出の減少や株安による企業マインドの冷え込み、収入減少による消費の減退で、ますます物量が減る。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・英国のEU離脱問題や参議院選挙結果が日本の景気にどのよう影響するかは経過観察が必要であるが、夏季賞与や夏休みなどを考えてみると、現状の景気の良さを体感できるようなイメージである。就業条件も非正規雇用から正規雇用への登用や、募集も増えてくる。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・例年通り10月の異動時期に向けて求人が活発になってくると予想される。
		職業安定所（職員）	・賃金等の上昇はまだ見られないが、常用雇用での採用意欲が聞かれるようになった。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・人材不足は当面続く一方、直接雇用に向けた企業の動きは引き続きおう盛なものと思われる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現状、良くなる要素はない。かと言って下がる具体的な要因も今はない。
		職業安定所	・5月の有効求人倍率は1.28倍で、4月と同じ数字となった。
		民間職業紹介機関（所長）	・新卒を順当に採用出来ている企業の割合が多いように思われるが、高校生の採用が出来ないという企業が製造系を中心に多い。今後の少子化を見据えた場合に人員を充足出来るかどうかの不安感を持っている。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用活動は活発であるが、景気の変動とはあまり関係がなく、計画的な人員充足の一環と思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・経済は不安定なので、生産の変動が気になる。派遣に登録するスタッフの数も少なくなっており、需給バランスが崩れていく可能性が気になる。
	悪くなる	求人情報誌（営業）	・県内製造業へのヒアリングでは、円高により海外への輸出が見込めなくなることと、全体的な景気低迷で大手の設備投資等が控えられることが予想されるため、部品加工や機械製造の業種で特に景気が悪化する見通し。

10. 九州（地域別調査機関：公益財団法人 九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	良くなる	観光ホテル（総務）	・少しずつだが、復興が進んでいる。
		通信会社（企画担当）	・今年度もインバウンドの動きが活発で、国内向けも多い。例年よりも予算の動きが活発な印象である。また、熊本地震の影響で予算が急ぎょ動き出しているため、受注に絡んだ対応が多い。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・政府や自治体が具体的な政策を打ち出す可能性があるの で、それを期待しており現在よりは上向く。
		商店街（代表者）	・商店街の空き店舗も埋まりつつある。少し景気が回復している。
		百貨店（企画）	・消費の底打ちを感じており、ボーナス商戦への期待感も高まるが、依然として先行きが不透明である。
		百貨店（店舗事業計画部）	・夏休み期間は、熊本地震直後に出控えた層の九州への旅行が増えることが期待でき、現状に比べプラスが見込める。さらに長期予報で長く暑い夏になる見込みを踏まえると、梅雨明けが遅れた昨年に比べ盛夏物も回復する。
		スーパー（経営者）	・熊本地震の影響での買い直しや、土木工事関係者等から景気が良くなっていく。
		スーパー（店長）	・熊本地震の影響により大型店やショッピングセンターがまだ閉店しているが8月以降に閉店予定になっている。その後は今までと変わらない状況になるが、今月は珍しく天候に左右される衣料品が絶好調である。
		スーパー（店長）	・3か月予報で猛暑とされているので、盛夏商品を中心に売上が期待できる。ただし、競合店の相次ぐ出店による環境の変化もあり楽観できない。
		家電量販店（総務担当）	・オリンピックの特需で映像関連商品の伸びが期待できる。
		家電量販店（従業員）	・暑くなり冷房器具の需要が増える。
		家電量販店（広報・IR担当）	・AV関連商品等がオリンピック需要により多少上昇する。
	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・客の流れは前年と変わらない。地震から2か月経過したが、今から夏にかけて夏物ギフトシーズンになり進物用のコーヒーが出るので期待できる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今年度に入り、少しずつ客の購入意欲、また施設の売上、客数ともに上昇してきている。
		居酒屋（経営者）	・当県に限ってだが、夏に向けて観光客を取り戻す為の政策の効果が少しずつあらわれている。
		都市型ホテル（副支配人）	・熊本地震後、当地でのスポーツ、文化団体等の大会が8～9月に予定されており、また修学旅行が10～11月に移行してきたため、予約は例年以上に入っている。
		タクシー運転手	・秋の10兆円の大型補正予算の効果に期待している。
		観光名所	・熊本地震の影響で、例年と比較して来客数・売上等が減少したが、熊本地震から2か月を経て来客数が戻りつつある。熊本地震直後から取り組んでいる熊本からのアクセス確保、情報発信等の成果が、長期休暇に入ることでより発揮される。
	変わらない	商店街（代表者）	・世界の動き、色々なニュースにおいてもこれからの年金が減っていくというような情報が毎日続いているので、先の心配をする方が多くなってきている。食事をしながらもそういった話がよく聞こえてくる。買物の意欲につながらないような気がして不安である。
		商店街（代表者）	・暑い夏に期待したいところだが天候の不順もあり、あまり期待できない。報道等で収入の増加があるものの販売量が低下しているのは先行き不安から購買欲がない結果を表わしている。
		商店街（代表者）	・来客数が減少しているので、現状と変わらない。
		商店街（代表者）	・真夏の時季に入り、食中毒注意月間なので商品の管理・賞味期限の問題がかなり深刻になる。売上よりも時季的なことを考えて伸び悩んでいる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・もう少しで梅雨が明けるとの長期予報である。その上、野菜も高騰し、購買心をくすぐるようなプラス材料もなく9～10月までの状況が続く。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・時化があるので、安定しない。来月30日は土用のうしの日でウナギが売れるが、今年も高いため、中国産の輸入物に流れる。魚屋受難の時である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・夏場は生花の売上が多少落ちることが多いが、8月15日からのお盆時期の注文がそれなりに入る。今後熊本地震の影響で注文が減ることを心配している。
		百貨店（営業担当）	・長雨により来店客数が前年割れである。購買への慎重な姿勢が続いている。自社クレジット催事の開催、お中元ギフトセンターに物産催事を同時開催し来店促進を図ったが豪雨で交通機関へ影響が出たため、招客効果が発揮できなかった。紳士・婦人雑貨と特選ブランドや化粧品は好調。紳士・婦人衣料と従来は堅調なりビング用品が苦戦しているとみられ、購買への慎重さは継続している。
		百貨店（業務担当）	・被災地では、まだ自分の生活に戻れない客も多い。そうしたなかで、ファッション商品よりも、住宅や家財道具への支出が優先される。衣料品や雑貨に対してはその次になる。
		百貨店（経営企画担当）	・消費税増税の再延期も発表され、消費意欲のマイナスは回避できるのではという認識であったが、英国のEU離脱問題等海外経済の下振れ、それに伴う株式・為替の変動等、先行き不透明感が広がっており、今後、消費はますます厳しくなっていく。
		スーパー（総務担当）	・売上は昨年を上回る推移で継続しているが伸び率はあまり上昇傾向が見られない。
		スーパー（経理担当）	・天候不順による変動は解消する。
		コンビニ（経営者）	・客の購買動向に余裕が見られない。必要なものを必要なだけ購入している。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数と客単価は現状が続くが3か月後の天候次第では上がる可能性がある。これ以上の激減はない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・近くの大型店舗の閉店はしばらく続くが、1～2か月後に開店すれば、客数が前年並みに落ちる。近くに競合店ができるのでその影響もむしろとって出してくる。
		衣料品専門店（店長）	・梅雨明けの7月半ば以降が夏物の勝負時期であろうが、参議院選挙期間中となる割に人の動きは少なく、熊本地震が消費マインドを冷やしている。
		衣料品専門店（店長）	・2～3か月後の様子は英国のEU離脱問題が日本経済に与える影響が気になる。様々な影響がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店(店員)	・旅行シーズン前には、必ず旅行用に新しい洋服を買う客があったが、近ごろはめっきり減っている。購買にとっても慎重になっている。
		衣料品専門店(チーフ)	・紳士服の物販の動きも、スーツ需要の大幅な減少により前年に比べて低迷している。団塊世代のスーツ需要が離れていく分、スーツに偏った需要は見込めない。
		衣料品専門店(取締役)	・円高のニュースがあり、ボーナスが出ている所も多いが、景気が良くなる材料が見当たらない。
		衣料品専門店(総務担当)	・現在の当地における競合状況において、当商店街が駅ビルその他の新しい施設に対して優位に立てる可能性はほとんどない。シニア層の購買意欲の減退からも景気は良くならない。
		乗用車販売店(代表)	・変わる気がしない。
		住関連専門店(経営者)	・消費税増税の再延期により消費者は安心して消費に向かう。反面、福祉等への財源不足で、高齢者は年金に不安を感じ消費より貯蓄にまわす。地方の景気回復感は感じない。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	・今後の燃料油の小売価格の推移は不透明であるが、ボーナスの見通しについては、客によると昨年より増加する。ボーナス支給が実施され、カーケア商品の販売に期待する。
		ドラッグストア(部長)	・熊本地震によって減ったインバウンドの客の数の回復を期待しているが、英国のEU離脱問題により円高傾向に拍車がかかっており、インバウンドの客の来店・購入が期待ほど伸びない恐れがある。
		その他小売[ショッピングセンター](広報担当)	・英国のEU離脱問題の影響が不安材料である。円高株安と政府の思惑と真逆の動きである。米国の大手金融機関の破たんの再来か、とも言われるなか今後の経済環境変化に不安材料がある。消費マインドに影響がなければありがたい。選挙の動向も気になる。
		その他小売の動向を把握できる者[ショッピングセンター](統括者)	・外国人来場は回復してくるが、外国人客単価の減少傾向は変わらず、売上回復は厳しい。
		高級レストラン(支配人)	・予約状況を見る限りの判断である。
		観光型ホテル(スタッフ)	・熊本地震の終息が出ない限りこの状況は続く。
		都市型ホテル(販売担当)	・劇的に変化はなさそうだが、良くなる傾向が見られない。
		旅行代理店(従業員)	・九州域内は助成金を利用したツアーの販売で上向きが予測されるが、消費者が九州域内に目を向けるため、京阪神、東京方面への旅行者の減少が懸念される。
		旅行代理店(企画)	・具体的な理由がはっきりしないため、まだ見通しがたない。
		タクシー運転手	・夜の繁華街の客の出入りが良くないが、昼間の稼働率が大変良くまだまだこの状況が続く。
		タクシー運転手	・英国のEU離脱問題等、複雑な世界経済で円高・株安が続けば海外からの観光客の減少が懸念される。地元老人のタクシー需要が減少している。
		タクシー運転手	・東九州自動車道が大分～北九州でつながったので月初は悪くても月末の夏休みに期待が持てる。
		通信会社(営業担当)	・変わる要素がない。
		通信会社(営業)	・新商品の投入や革新的なサービスの拡充がないため、現在の販売戦略では市場に与えるインパクトがさほど大きくなく、現状維持となる。
		競馬場(職員)	・現時点で今後変わる要素が見当たらない。
		理容室(経営者)	・当県は人口が少しずつ減っており、若者が地元で就職しないということで新規の若い客が来ない。夏に向けて来店回数が増えてきているが考えているとおりにはなっていない。
		美容室(経営者)	・真夏になると当業界は横並びで売上アップを望めない時季になる。この時季は横ばいか少し下がる。
		美容室(店長)	・英国のEU離脱問題について世間ではいろいろ言っているが、身近なところではすぐには影響はなくあまり変わらない。
		住宅販売会社(従業員)	・イベント等来客数の動きも良くしばらくは継続していく。
		住宅販売会社(従業員)	・いまだ供給が多いという状況もあるが、良い物件は完売しており、投資目的や海外の投資は相変わらず進んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・当地域では、熊本地震の影響は大きく、今年中の消費は以前より劣る。いまだ開店出来ない店もある。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・夏場はどうしても人の動きも鈍くなる。定価の夏物商材は売行き好調だが日本茶は低迷気味のため売上は期待できない。
		百貨店（営業担当）	・特需は現時点で高止まり感があり、これからは落ち着いてくる。
		百貨店（販売促進担当）	・セールも終わり、定価商品展開にシフトするが、衣料品等は厳しい。
		百貨店（売場担当）	・客単価については非食品が2か月連続前年比をクリアしている。食料品は購買率が落ちているのが懸念材料である。昨年、プレミアム付商品券を発行したが、その反動で若干下がることが懸念される。衣料品が持ち直してきていることが朗報である。催事はこれまでにない悪い。
		百貨店（営業統括）	・英国のEU離脱問題、参議院選挙と景気動向を左右する動きがあり、厳しい環境になる。
		百貨店（マネージャー）	・不要不急商品の代名詞である紳士服の不調が続いている。景気が悪い時に、特に落ち込みが顕著に表れるので、しばらくは、消費動向が悪い方向に進んでいく。
		スーパー（店長）	・熊本地震以降、観光関係の企業の状況も悪く、客が来ない状況が続いている。
		スーパー（店長）	・今まで好調であった食品の売上が減ってきており、今後こういった状況が続くことを危惧している。
		コンビニ（店長）	・英国のEU離脱問題等、国際経済情勢がよくない。その影響が出てくる。
		家電量販店（店員）	・英国のEU離脱問題は米国の大手金融機関の破たんに匹敵する出来事であり、安倍首相が消費税増税の再延期を決定したが、結果的にこういった出来事も予測していたと考えられる。増税しないことは小売業としては良いことだが、明るい材料が見えない。円高が進むことによって製造業も大変になり、小売業にもボディーブローのように効てくる。
		乗用車販売店（総務担当）	・株価の下落等があり、客の購買意欲はますます減退する。高額商品である新車は買い控えの対象となる。
		その他専門店〔書籍〕（代表）	・アベノミクス、マイナス金利政策の失敗である。英国のEU離脱問題を理由とする将来への不安から生活防衛に走っている。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	・熊本地震の影響で高速道路が一時通行止めになったり、新幹線が熊本地震前の営業時間で運行できていない為、元に戻ってきても客足が伸びるか不安である。
		一般レストラン（経営者）	・会社関係、ファミリー層の利用が少なく、客単価も確実に下がっている。外食控えが目に見えて増えている。
		スナック（経営者）	・7月の参議院選挙まで客足が鈍る。理由は不明だが選挙前はいつも売上が下がる傾向にある。またオリンピックが開催され家でテレビを見る機会が増えるため、外食等家庭外での消費活動は鈍化する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・円高が進めば訪日観光客の減少につながる。
		ゴルフ場（従業員）	・7月は前年比2割ダウンの予約数で、8月は稼働の高いお盆の予約も前年の半分位しか入っていない。地方自治体の交付金の補助を受けながらのプランも出しているがまだまだ厳しい。香港や台湾のインバウンドは少しずつ好調になってきている。日本人客が増えないと活性化しない。7～9月は昨年より2割ダウンで苦戦を強いられている。
		競輪場（職員）	・業界としての年次売上や年度売上が前年を上回れない可能性がある。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・プライマリーバランスゼロに向けた社会保障費抑制方針を踏まえ、消費税増税の再延期による介護保険財源確保も困難と推測され、業界全体において失望感が生じている。
	音楽教室（管理担当）	・この時期から生徒数が増えることはない。	
	設計事務所（所長）	・英国のEU離脱問題に伴う株価の下落がやがて住宅や建築関係の景気へも影響してくる。	
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔住宅情報誌〕（経営者）	・マイナス金利が続いているが消費税増税の再延期で建築住宅の広告メリットが少なくなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	悪くなる	商店街（代表者）	・年金が増えることがない。ある程度の方たちは給料があまり上がっていない。収入が増えていないのに税や社会保険の負担が増えている。英国のEU離脱問題については日本経済への影響に関する報道次第で良い方向にも悪い方向にも影響する。	
		商店街（代表者）	・客の表情から、購買意欲が感じられず、より一層財布のひもは固くなる。	
		百貨店（営業担当）	・マクロの経済情勢に大きく左右される。しばらく様子を見ないと判断できない。参議院選挙もあり、ここでしっかりした政策が出てくれば若干変わってくるのかもしれないが、非常に厳しい状況が続く。	
		スーパー（統括者）	・英国のEU離脱問題が世界経済に大きな影響をもたらす懸念が生じる。	
		高級レストラン（経営者）	・7～8月は例年に比べて動きが鈍く、予約数が少ない。価格を抑えたコースを用意し、客層の幅を広げようとしているがまだ浸透しておらず予約に結びついていない。今後は先行きの見通しが見えない。	
		高級レストラン（専務）	・海外、関東・関西・東北等の本州の人たちは当県の状況が熊本の被害と変わらない、危ないと受け取っている。前年並みに戻るには簡単ではないが、これから年末にかけて客が増える時期に減るということは売上が大幅に減ることになる。	
		美容室（経営者）	・景気が悪くなる一方で、特に熊本地震や大雨や、今からは台風も来るが、うちのような店がどんどんつぶれていくのではないかと不安である。	
企業 動向 関連 (九州)	良くなる	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・熊本地震の影響で社外にて代替生産を行っていた工程を社内に引上げ本格的に熊本地震前のような生産状況に戻る。	
		経営コンサルタント（代表取締役）	・今月があまりにひどいのでこのまま続くとは考えられない。早く通常の状況に戻って欲しい。国策を含めいろいろな応援を県全体がいただいているが、観光等もいくらかは上向きになってくる。復興も本格的になればそれなりに経済的にプラスになる。	
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・7～8月は梅雨も明け、ピールの消費に合わせた食材が伸びる。特に焼鳥等は大いに期待している。熊本地震によりストップしていた冷凍食品加工メーカーが来月より順次動き出す為、需要が増えてくる。ただ、鶏肉相場については例年より生産が増え、輸入品も若干増えてきているため少し安い値動きである。英国のEU離脱問題による円高傾向による不安がある。	
		食料品製造業（経営者）	・加工、販売共に繁忙期に入っていく為期待している。	
		鉄鋼業（経営者）	・足元の受注量は停滞気味で減少している。このため受注価格も下押しの圧力がかかり、前月に比べて下がっている。2～3か月前に多く受注があった為の反動である。秋口に向けて多数の建築物件が予定されている為、夏場には商談が始まると予測される。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・今の所、客の引き合い等は順調であり、現状からは忙しくなる。	
		電気機械器具製造業（取締役）	・企業の投資行動において時勢の変動に柔軟に対応する必要が更に高まることが予想される。そしてそれが実現できる企業が生き残っていける。	
		建設業（社員）	・受注の偏りがなければ景気は良くなるはずである。積算が追い付かない位発注して欲しい。	
		輸送業（総務）	・復興のための物資、建築資材、がれきの輸送等復興に向けた経済活動が考えられる。	
		不動産業（従業員）	・商業施設やホテル部門の売上が順調に推移し継続する。	
		新聞社〔広告〕（担当者）	・熊本地震からの復興関連で、自治体や観光施設を中心に展開するプロモーションがどこまで新聞広告に流れてくるかがポイントである。旅行広告は海外のテロによる自粛ムードがあり、マイナス基調になることが懸念される。	
		変わらない	農林水産業（営業）	・今季予報されている猛暑で生産量・販売量共に影響が出る。
			繊維工業（営業担当）	・どこの工場も、人員は募集しているが全く来ないという状況である。繊維関連の工場では、8時間みっちり働くとして、別の業種の募集では、パートで時給が私たちが100円以上も高いものがある。どうしても、見かけが悪い。改善したいが、繊維関連の全体的な底上げが必要である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・全体的に地図購入については検討期間である。
		化学工業（総務担当）	・急激な円高の進行等、先行きが不透明である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・6～7月が底であると当業界では言われているが景気動向がつかめず、量販店、百貨店においても売場面積が狭くなり、輸出に頼るうとしても円高でままたまならない状況である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・従来、新年度に入り6～7月になると動き出すが、今年はその時期にちょうどいろいろな要因が重なり動きが鈍い。ユーザーもそこをつかみ切れていないので動きが相当鈍くなっている。それなりの動きはしなければならぬが予測できない。後はじっくり腰を据えて待つしかない。
		精密機械器具製造業（従業員）	・熊本からの応援製品の受注量が増産で、今月も引き続き忙しくなっている。
		その他製造業（産業廃物処理業）	・半導体製品の頭打ち予想や円高が進む予想もありあまり良い話がない。
		輸送業（従業員）	・これと違って良くなる要因もなく、食品の容量を少なくすることによる実質値上がりが起こっているため、消費者が敏感になっており、物が売れない状況になっている。
		通信業（職員）	・メガソーラー工事の受注が堅調に推移しており、2～3か月先の状況も大きな変化はない。
		通信業（経理担当）	・夏場に向けて特に新たなソフト開発の予定がなく、現状で推移する模様である。
		金融業（従業員）	・求人数が増加し続けている等、労働需給は改善傾向を示している。また、熊本地震に伴う公共工事の復旧工事もみられる。反面、訪日外国人を含め観光客が大幅に減少しており、百貨店等の売上は伸び悩んでいる。
		金融業（営業担当）	・熊本地震からの復興需要に関する九州圏内の動き及び参議院選挙結果と英国のEU離脱問題の動きが不透明であり現状は変わらない。
		金融業（調査担当）	・消費者心理を冷やすイベントが出てきたが、実感できるまでは時間が掛かる。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込受注枚数は前年同月比80%とかなり悪い数字である。ここ数か月は熊本地震の影響で娯楽のパチンコや通信販売、衣料品など新聞折込の主要品目が大幅に減少する結果となっている。半年前までインバウンドで景気の底上げが期待されたが、今回の自然災害で尻すぼみとなった。政府が消費のてこ入れをいろいろ検討しているが一刻も早い具体策の実施が望まれる。
		経営コンサルタント	・こちらのアプローチにも問題はあがるが、客の新しい動きが見えないのであまり期待できない。やり方を再考する。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・取引先に設備投資、人材投資及び売上等に関する今後の見通しを聞くと、大きな変化がないと回答する会社が多い。
		その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	・金利が低く、設備投資しやすい環境だが、実際には大きな投資に至っていない。社屋移転等の話はあるが、次年度以降ではないか。消費税増税前の駆け込み需要のようなものは出てくる。
やや悪くなる	金属製品製造業（事業統括）	・良くなるニュースが無い。英国のEU離脱問題の影響は各社様子見になれば、設備投資の意欲がそがれる恐れが大きい。	
	建設業（従業員）	・見積案件も多くあるが、英国のEU離脱問題で円安や経済が不安定になる為、業界も影響を受け資材等が高騰する。	
	輸送業（総務担当）	・円高傾向がどこまで続くか分からない。また参議院選挙の結果にも左右される。いずれにしても、世界経済の動揺による貯蓄・消費抑制傾向に流れが向くと物流の仕事としてはダメージを受けかねない。	
	金融業（従業員）	・夏枯れ状況が例年よりも大きいと予想している企業や個人事業主が多い。	
	金融業（営業）	・英国のEU離脱問題の影響は大きい。円高が進めば、国内景気には大きなマイナス。景気の低迷が長期化する恐れもある。	
	経営コンサルタント（社員）	・新商品でカバーしようとしているがうまくいっていない。	
	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	・市町村の6月補正予算が少ないところは、新たな業務の発注が見込めないことから、建設コンサルタントの受注は少なくなる。設計や建設関係の予算は、当初予算から少ない傾向にあるため建設コンサルタントの受注できる業務量が少なくなり、景気が更に悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる		
雇用 関連 (九州)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・期間更新のタイミング的には登録者や求人数の動きがある時期で、新卒採用で埋まった後の社員不補充枠での依頼が増えてくる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・補助金、支援金等も回りだし、ここ数か月の状況よりは回復する。7月から秋にかけてショッピングセンターの再オープンも予定されており、消費にも回復が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・6月も前年同月比で新規求人数は増加、新規求職者数は減少しており、管内事業所における雇用保険の被保険者数も前年度から増加傾向で推移している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・お中元時期も終わり、特に需要が見込めない時期になる。新規注文も増えていないので、変わらない状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・熊本地震が落ち着いたかなければ景気の向上ということにはなりそうもない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・特徴的なことは特にない。熊本地震や水害など九州への観光客も減少傾向にある。これから夏休みを迎えるが、まずは人が動くことに期待したい。
		職業安定所（所長）	・求職者が減り、新規求人が増える傾向は、景気の変動がない限り、しばらくは変わらない。
		職業安定所（職員）	・熊本地震からの復旧が進み、事業再開に関わる情報が入りつつあることから回復傾向にあるが、良くなるにはもう少し時間がかかる。
		職業安定所（職業紹介）	・一部では熊本地震の影響も懸念されるが、全体では有効求人倍率が今後も高い水準で推移する。
学校〔大学〕（就職支援業務）		・前年度の採用状況を踏まえ、各企業は順調に採用活動を行っているが、景気そのものと関係があるとは明言できない。	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・新規コールセンター設立の話があるが人材確保が難しく、採用コスト増大、賃金見直し等人件費の高騰が企業収益の減少を招いている。	
	人材派遣会社（社員）	・円高の影響で輸出企業が低迷する。	
	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題により円高株安傾向となっている為、企業が採用を手控える可能性が高い。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新卒の内定が好調だ。インターンシップの学生から内定の連絡が多く、比較的大手は堅調のようだ。ただ中堅以下は厳しく、総合的には一部の印象で景気が良い感じがしない。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・円高の影響がある。	
悪くなる	民間職業紹介機関（支店長）	・人材需要が小さい。	

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・今のところ、予約の状況は今月、来月、再来月と順調に推移している。前年をかなり上回る予約状況でかなり良く、天変地異が無い限りは大丈夫ではないかとみている。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・観光客の増加に伴い来客数が増加し売上高が伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も暑さが続き、観光客も増加傾向のため、来客数は増える。反面、店舗側は人手不足による品出し不足でチャンスロスも見られるが、しばらくは客数増による恩恵がある。
		衣料品専門店（経営者）	・この暑さが続けば当方のような商売には良い。
	観光型ホテル（マーケティング担当）	・夏場の予約状況は好調で、今後2～3か月先の稼働率は前年同月実績を大きく上回る見込みである。	
住宅販売会社（代表取締役）	・当社では完成工事高、利益率とも好決算を迎えられそうである。また、既に来月以降の繰り越し工事の建築請負契約額が年度予算分を超えており受注は順調である。ただし、現場代理人や現場作業員の人出不足が懸念される。		
変わらない	一般小売店〔菓子〕	・円高、熊本地震などにより沖縄への来客数が減少する可能性がある。	
	スーパー（販売企画担当）	・バイヤー等からの情報に、健康志向による高単価品の伸びが一部で出ていることや原材料の高騰している商品の値上がりなどがあり、単価アップは続くとみられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず、景気の良くない状態が続いている。街には人はいるが、観光客がほとんどのようで、地元客の回遊が少ない状態が続いている。地元客が買物しないと、当方の商売は難しい。景気の回復は先なようで、まだまだ様子見である。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・外国人観光客が更に増えてきている印象があるが、全体の販売量は特に変わらない。
		通信会社（店長）	・キャッシュバックなどの施策も無くなったことから、客は分割が終わる2年は端末を持ち続けることが予測できるため、販売数、来客数とも変わらぬ状況が続くのではないかとみられる。
	やや悪くなる	百貨店（店舗企画）	・衣料品の動向は今後も厳しいとみられる。これまでけん引してきたインバウンド効果も徐々に薄れてきていることから、やや悪くなると予測している。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・外国人観光客は増えている。しかし、日本の観光客はリピーターが多い。どちらも購買力は減少している。
		旅行代理店（マネージャー）	・特に話題性のあるものは無く、急激に販売が伸びる要素が無い。
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税増税の再延期の影響により、住宅計画に時間をかけたいとの声が聞こえた。
	悪くなる	商店街（代表者）	・当商店街では、特に婦人衣料関係が大変苦戦しているみたいで、2～3日も売れない店もあると聞く。飲食店が少し増えているようであるが、これもあくまで飲み食いだけの話で、小売全体の売上から見ると、底上げはできてない。国全体から見たら、底上げされているということであるが、末端の零細小売企業は毎月売上が大変落ちていて、相当危機感を持っている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・労働集約型の飲食業ではよほどのヒットが無い限り、営業効率が非常に悪くなっている。大型店舗が減って、2～3名で回せる専門店が増えてきている。
	企業 動向 関連 (沖縄)	良くなる	-
やや良くなる		建設業（経営者）	・申込及び仮契約の客が増加傾向にある。
変わらない		食料品製造業（総務）	・為替や株価の乱高下や昨今の経済ニュース等による先行きが見えない不安感により消費者心理も慎重になっているのではないかと。特売等の価格が安い時を選んで購入する傾向がある。業界もソーセージ、ハム、ベーコン等冷食類の競争が強まっている感じもする。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特に変動は無く、横ばいの見込みである。
やや悪くなる		輸送業（営業）	・大型量販店の出店や木造住宅関連物量が増える見込みで明るい兆しはあるが、逆に運行に必要な燃料費が徐々に上がってきている。海上輸送、陸送の経費圧迫が予測される。
		広告代理店（営業担当）	・英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響などを注視する傾向が強まるなかで、好調な沖縄観光をけん引するインバウンド市場に対する不安感が増しているように感じられる。それに伴い、県内企業の販促投資も緩やかに推移するものと感じている。
		輸送業（代表者）	・観光客でにぎわっている先島地区だが、リゾート関連の民間工事が本格化するのには時間が掛かる。宮古、石垣の公共工事も大きな変化は無く、与那国の陸上自衛隊工事も峠を過ぎている。
		会計事務所（所長）	・観光産業に、英国のEU離脱問題の悪影響が生じるとみている。
悪くなる		-	-
雇用 関連 (沖縄)		良くなる	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼数は徐々に増加してきているが、大きく伸びるという状況ではない。
		人材派遣会社（総務担当）	・県内経済は観光、建設関連業界を中心に好調であるが、どの業界からも人手不足が深刻で打開策を模索しているとの声が多く聞こえている。当社も少ない人材をいかにマッチングしていくかが最大課題である。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・7～8月は、件数は横ばいになるとみられる。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・学生の就職支援をするなかで、景気を象徴するような動きは特に感じない。しばらくは現状が続く予想の方が強い。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年7～9月は求人数が減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・英国のEU離脱問題が思った以上に早く影響を及ぼし、波紋を広げそうな感がある。
	悪くなる	-	-